

豊岡市新しい地域コミュニティ

平成 28 年度

# モデル地区事例集



豊岡市





## はじめに

平成 27 年 2 月に豊岡市新しい地域コミュニティのあり方方針が定まり、平成 29 年 4 月に地区公民館はコミュニティセンターへ一斉に変わりました。

また、地域コミュニティ組織設立に向け、モデル地区の取り組みを進めており、平成 26 年度に 10 地区（八条地区、中筋地区、奈佐地区、中竹野地区、西気地区、弘道地区、小野地区、資母地区、合橋地区、高橋地区）、平成 27 年度に 15 地区（豊岡地区、新田地区、港地区、神美地区、城崎地区、竹野地区、竹野南地区、八代地区、日高地区、三方地区、清滝地区、福住地区、寺坂地区、菅谷地区、小坂地区）、平成 28 年度に 4 地区（五荘地区、三江地区、田鶴野地区、国府地区）が「モデル地区」としての取り組みを開始しました。

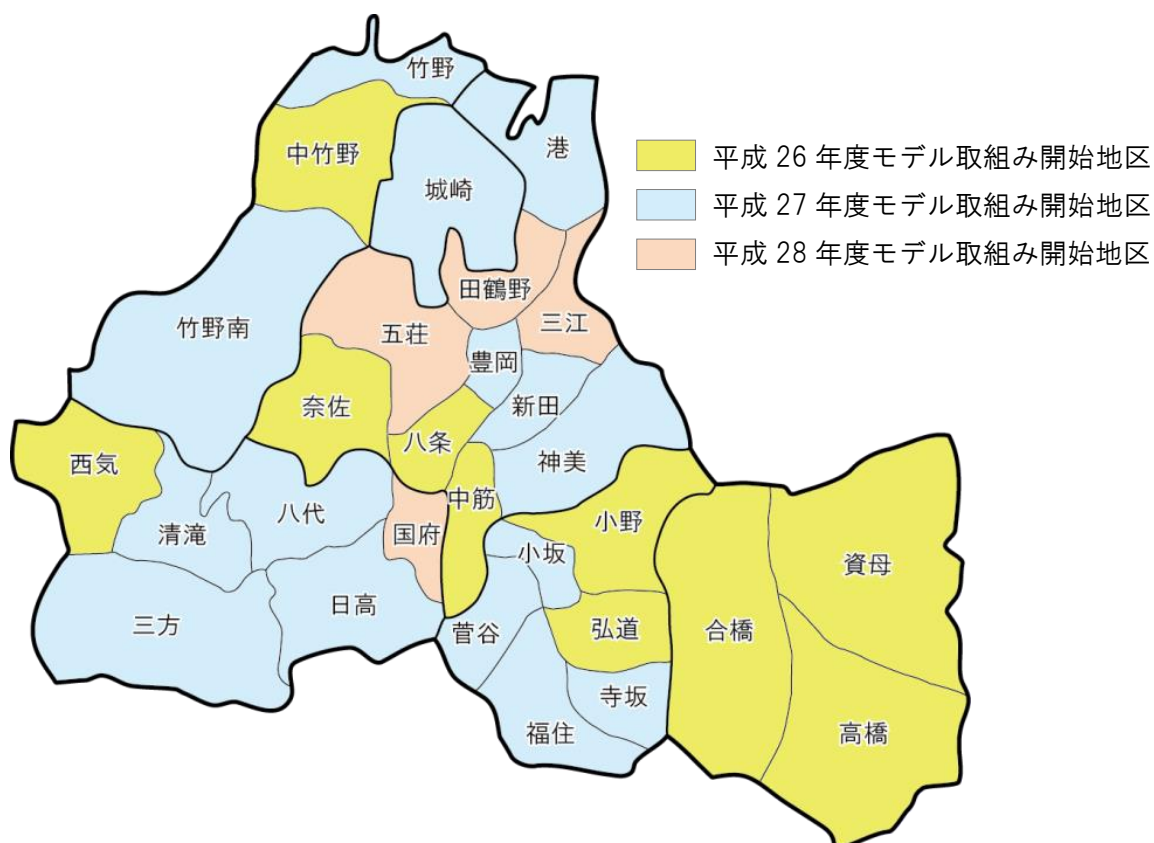
このモデル地区事例集は、組織設立までのモデル地区の経過記録として、また、モデル地区相互の情報共有の一助となるよう、各モデル地区の取り組みをまとめたものです。

市内 29 地区それぞれのやり方で地域づくりに取り組んでいただきますが、各地区の経過や内容などの実例を、一つの参考にしていただければ幸いです。

### 本紙掲載情報について

- ・地区の概況 平成 29 年 1 月 1 日現在
- ・組織の状況 平成 29 年 3 月 31 日現在

### 【モデル地区マップ】



# 目次

## 地域コミュニティ組織

豊岡地区	とよおかコミュニティ31	1
八条地区	八条コミュニティ	4
三江地区	三江コミュニティ	7
田鶴野地区	コミュニティたづるの	10
五荘地区	コミュニティ五荘	13
新田地区	コミュニティ新田	16
中筋地区	コミュニティなかすじ	19
奈佐地区	奈佐地区コミュニティ なぎさの会	22
港地区	コミュニティみなと未来	25
神美地区	神美コミュニティ	28
城崎地区	コミュニティ城崎	31
竹野南地区	竹野南地区コミュニティ わいわいみ・な・み	34
中竹野地区	中竹野地区コミュニティ	37
竹野地区	コミュニティたけの	40
国府地区	コミュニティこくふ	43
八代地区	八代おもいやりネット	46
日高地区	日高地区コミュニティ「きらめき日高」	49
三方地区	コミュニティ三方	52
清滝地区	桜・清流の郷 きよたき	55
西気地区	西気明日のいしずえ会	58
弘道地区	弘道コミュニティ協議会	61
菅谷地区	はにの里菅谷協議会	64
福住地区	福住ふれあい協議会	67
寺坂地区	床尾の里てらさか	70
小坂地区	夢コミュニティ小坂	73
小野地区	小野コミュニティ	76
資母地区	資母まちづくり協議会	79
合橋地区	コミュニティあいはし	82
高橋地区	高橋振興対策協議会	85

# 地域コミュニティ組織



# とよおかコミュニティ31



## 地区の概況

人口	9,164 人	小学校	豊岡小学校（児童数396人）
世帯数	4,078 世帯	中学校	豊岡南中学校（生徒数570人） （豊岡北中学校区も含む）
高齢化率	35.7 %	幼稚園	豊岡めぐみ幼稚園（園児数23人） 豊岡ひかり幼稚園（園児数30人）
集落数	31	保育所	豊陵保育園（園児数143人）
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 27	9	第1回検討会	「新しい地域コミュニティ」づくりの内容などを知る。
	10	第2回検討会	検討会委員の検討
		第3回検討会	検討会委員の検討
		第4回検討会	設立準備会役員の検討
	11	島根大学作野先生との懇談会	「新しい地域コミュニティ」づくりの必要性とポイントなどを知る。
H 28		第1回設立準備会	設立準備会役員の承認、規約の承認
	12	第2回設立準備会	正式組織の姿の検討、設立総会に向けてのスケジュールの検討
	1	第3回設立準備会	地区カルテ・H28年度公民館事業計画で現状を確認
	2	第4回設立準備会	組織、部会内容の検討
	3	第5回設立準備会	組織、部会、今後のスケジュールの検討、ワークショップ
	4	第6回設立準備会	スケジュールの検討、ワークショップ・啓発事業等の検討
	5	第7回設立準備会	ワークショップの検討
	6	第1回ワークショップ	地区の魅力・課題の掘り起こし、盆踊りへの提言
	7	第8回設立準備会	盆踊り大会への取組みについて～自分のできることで協力～
		第2回ワークショップ	具体的な取り組みの絞り込み
		第3回ワークショップ	今後の取組み・はじめの第一歩計画を提案
H29	10	第9回設立準備会	公民館まつり取組み(景品付きもちまき大会)・設立総会日程決定
	11	第10回設立準備会	名称『とよおかコミュニティ31』決定、規約・組織図・規約等の検討
	2	第11回設立準備会	役員提案、組織・規約(最終案)、設立総会・予算案等検討
	3	とよおかコミュニティ31 設立	

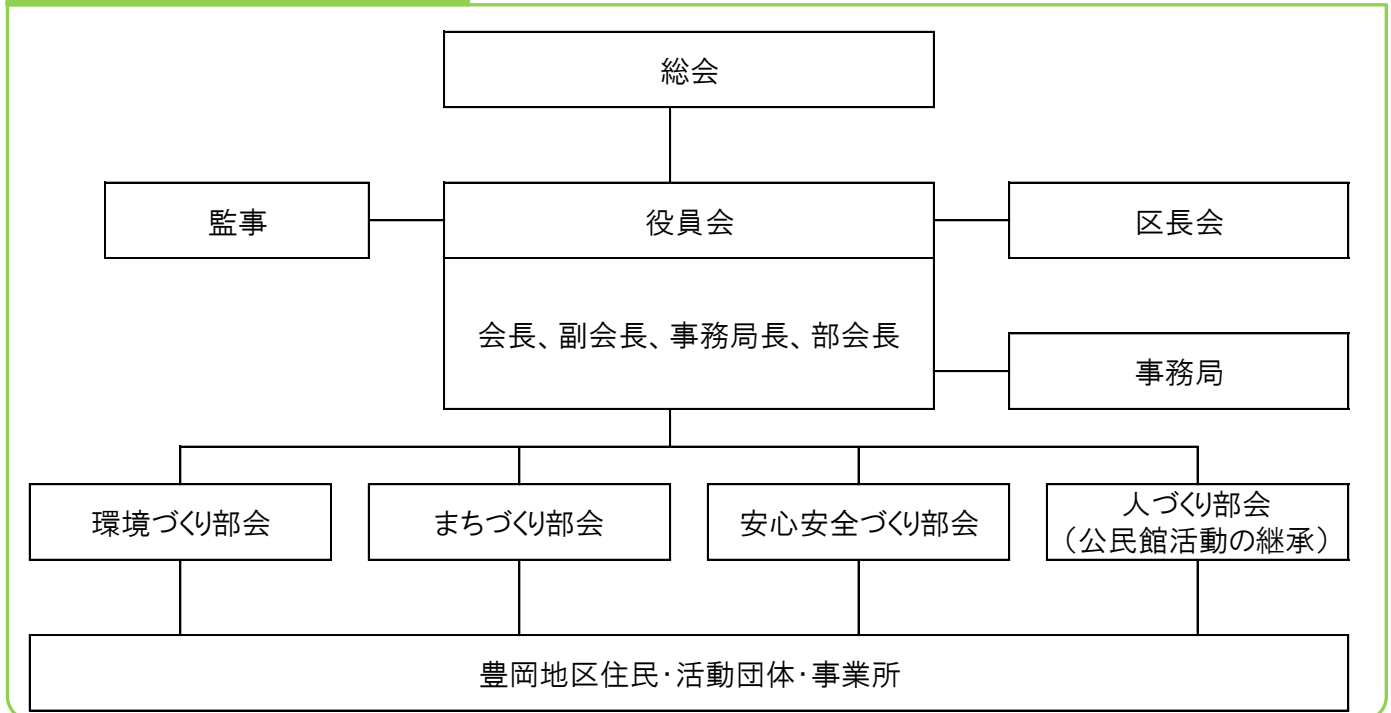
## 組織の状況

代表者名 芝地 邦彦

設立年月日 H29.3.26

役員体制 会長1名、副会長2名、事務局長1名、部会長4名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①豊岡盆おどり大会
- ②公民館まつり
- ③柳まつり・豊岡おどり・おはやし
- ④交通安全 だんじりパレード
- ⑤仮)豊かな川づくりの会
- ⑥312号線・ロータリー・新川・大磯運河等の清掃等

### 地域福祉

- ①民生委員・福祉委員による活動
- ②地区保健福祉委員による活動
- ③敬老会
- ④サロン活動
- ⑤支え合いマップづくり
- ⑥住民座談会
- ⑦福祉懇談会
- ⑧地域探検隊 (いいところ再発見)
- ⑨玄さん元気体操

### 地域防災

- ①消防団・自警団による活動
- ②防犯ボランティア
- ③夏休み防犯パトロール
- ④豊岡防犯協会による活動

### 人づくり

- ①見て歩き
- ②新春かるた大会
- ③ソフトバレーボール大会
- ④グラウンドゴルフ大会
- ⑤卓球大会
- ⑥公民館学び舎講座・教室、チャレンジキッズ
- ⑦幼児親子活動事業
- ⑧乳幼児親子交流事業
- ⑨あいさつ運動
- ⑩夏のラジオ体操統一実施  
「ヤッホーの日 (8月4日)」
- ⑪学校図書ボランティア
- ⑫高齢者教室等公民館各種教室

## コミュニティの取組み



豊岡地区は 31 区で構成されています。地区には、大型商業施設、診療所等も複数あることから、生活に不便を感じないため、生活への危機感が薄い状況です。

しかし、豊岡地区においても近年は少子化・高齢化が進んできており、人と人とのつながりも希薄になりつつあります。

平成 27 年 9 月、地域コミュニティ組織の設立準備会を立ち上げ、地区内の共助のころや、地区民の連携の必要性を、区長会・公民館・地域の方々で議論を重ねてきました。

豊岡地区では「人づくり」「安心安全づくり」「まちづくり」「環境づくり」の 4 つの部会でワークショップを行い、新しい地域コミュニティのイメージを膨らませてきました。

まずは組織をつくり、これから地域の多くの方々に新しいコミュニティの活動に積極的に参加をいただき、元気なまちづくりを進めていきたいと考えています。

## はじめの第一歩計画



# 八条コミュニティ



## 地区の概況

人口	5,306 人	小学校	八条小学校（児童数394人）
世帯数	2,152 世帯	中学校	なし（豊岡南中学校区）
高齢化率	25.0 %	幼稚園	なし
集落数	9	保育所	なし
		認定こども園	八条認定こども園（園児数210人）

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H26	11	第1回準備会	「地域コミュニティ・モデル地区」について説明
	2	第1回八条地区ふれあいイベント	放課後児童クラブ・旧八条小学校お別れ会
	5	第2回準備会	組織図案検討・準備会構成メンバー・アドバイザー迎える
H27	7	八条コミュニティ、アンケート実施	
	9	第1回勉強会	”八条コミュニティについて考える会”
	10	第3回準備会	アンケート結果報告・意見交換、スケジュールの詳細検討
	12	第2回勉強会(ワークショップ)	
H28	1	第4回準備会	ワークショップ報告、八条コミュニティ規約(素案)検討
		第2回八条ふれあいイベント	八条コーラス 30周年ミニ記念コンサート
	3	第5回準備会	規約案の決定、28年度のスケジュール
	5	第6回準備会	規約の骨子決定、28年度スケジュールの立案
	7	第7回準備会	ワークショップ「コミュニティで、やるべき事・やりたい事」ほか
	8	コミュニティ役員会	「はじめの第一歩計画」重点実施事項などの提案
	10	第8回準備会	「ピオトープ八条」および「八条地区公民館のあゆみ」現況説明 「はじめの第一歩計画」の具体的実施項目&スケジュールを提案
12	第9回準備会	規約の訂正、組織図&第一歩計画の修正、予算(案)について	
H29	1	第10回準備会	八条コミュニティ発足会について
	2	八条コミュニティ 設立	

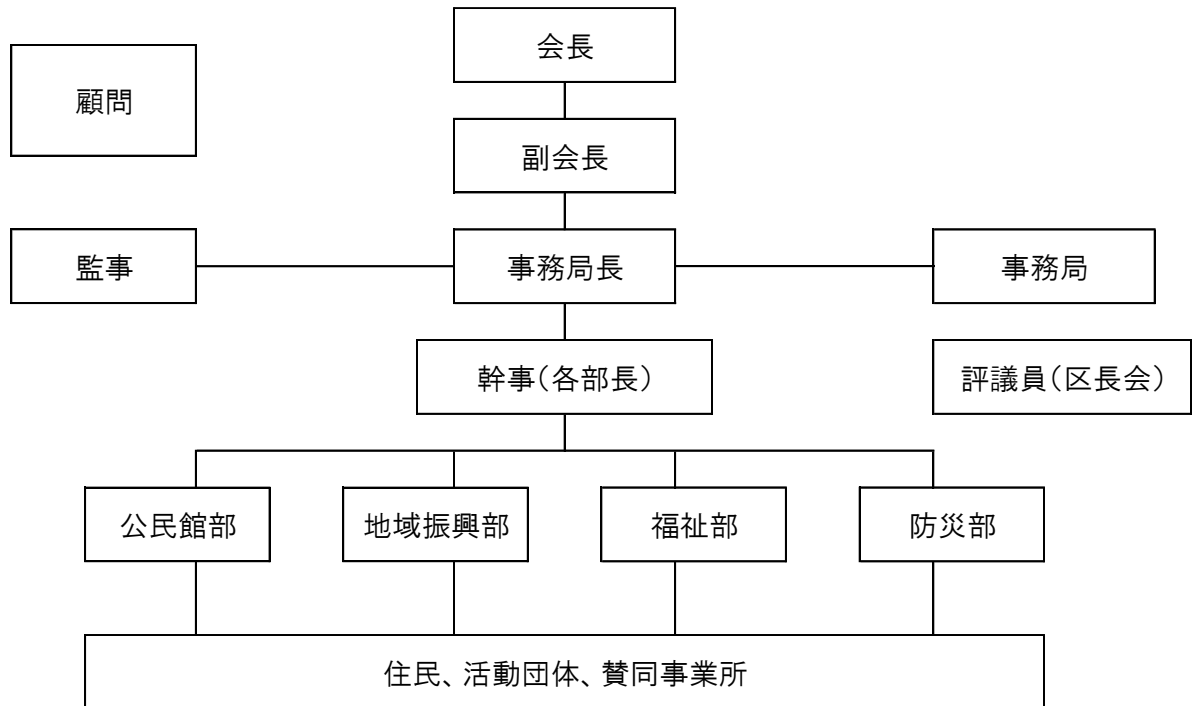
## 組織の状況

代表者名 佐野 守男

設立年月日 H29.2.5

役員体制 会長1名、副会長2名、幹事数名、事務局長1名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①八条地区ふれあいイベント
- ②子ども見守り活動
- ③防犯活動
- ④ピオトープづくり

### 地域防災

- ①消防訓練
- ②防災訓練
- ③消防団による活動
- ④自警団による活動

### 地域福祉

- ①敬老会
- ②ふれあいのひととき
- ③サロン八条

### 公民館

- ①体育祭
- ②ふるさとまつり
- ③八条リーグ ソフトボール大会
- ④ソフトバレーボール大会
- ⑤囲碁ボール大会
- ⑥囲碁・将棋・オセロ大会
- ⑦卓球大会
- ⑧早起き夏休みラジオ体操
- ⑨夏休みパトロール
- ⑩乳幼児親子サークル
- ⑪公民館各種教室

## コミュニティの取組み



平成 29 年 2 月 5 日、八条コミュニティ発足会を開催し、八条コミュニティのスタートを切りました。

準備会では、ビオトープ作りに取り組み、コウノトリが舞い降りる餌場を作り出しました。また、公民館がコミュニティセンターに移行する節目として、八条地区公民館 47 年の足跡を辿った「八条公民館のあゆみ」を発刊し、地区住民のみならず、地区外向けにも PR しました。

平成 29 年度からの新たな活動として「八条サロン」の準備を進めています。八条地区の老若男女が八条サロンに集い、楽しく語らうことで、親睦を深めることを目的に行います。この取組みを八条の地域づくりの第一歩としていきたいと考えています。

会長は「館長の意思を継いで、今までの公民館活動を継続しながら、各分野で“やるべき事・やりたい事”を計画立案し、協議・検討を重ねて『明るく元気で住みよい八条づくり』を確立していきたい」との今後の地域づくりへの意気込みを表しています。

## はじめの第一歩計画

### キャッチフレーズ 「明るく元気で住みよい八条づくり」

#### 基本方針

- ① 芸術・文化・スポーツなど生涯学習活動の充実
- ② 快適環境・地域振興の推進
- ③ 福祉・健康を考える
- ④ 防災、防犯活動の展開

#### 重点実施事項

- ① ホタルの乱舞、菖蒲咲く、泥鰌が棲んでコウノトリが行き交う「ビオトープ」づくり
- ② 「防災倉庫」の設置と機材類の整備・充実
- ③ 「サロン八条」の立ち上げー健康診断(測定)
- ④ みんなで育む公民館活動の継続

# 三江コミュニティ



三江地区

## 地区の概況

人口	3,387 人	小学校	三江小学校（児童数158人）
世帯数	1,371 世帯	中学校	なし（豊岡南中学校区）
高齢化率	31.1 %	幼稚園	なし
集落数	10	保育所	なし
		認定こども園	おもしろたのし みえこども園（園児数163人）

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 28	1	第1回検討会	準備会の設置確認
	2	第2回検討会	準備会構成員・準備会規約等の協議
	2	第3回検討会	準備会構成員・規約等の協議確認
	3	第2回コミュニティ説明会	あり方方針の説明61名参加
	3	第4回検討会	役員体制・準備会設立日程協議確認
	4	第5回検討会	事業計画・予算案の確認及び総会任務分担
	5	三江地区コミュニティ設立準備会総会	18名全員出席
	6	第2回準備会	組織設立期日・構成員・名称等打合せ
	8	第3回準備会	組織構成並びに名称協議
	10	第4回準備会	名称協議決定・組織図(構成員)の確認
	11	第1回コミュニティ規約検討会	規約素案の検討
	12	第2回コミュニティ規約検討会	規約素案・組織図の最終検討
H 29	12	第5回準備会	規約案・組織構成及び総会日程の確認
	2	第6回準備会	総会議案書の確認予定
	3	三江コミュニティ 設立	

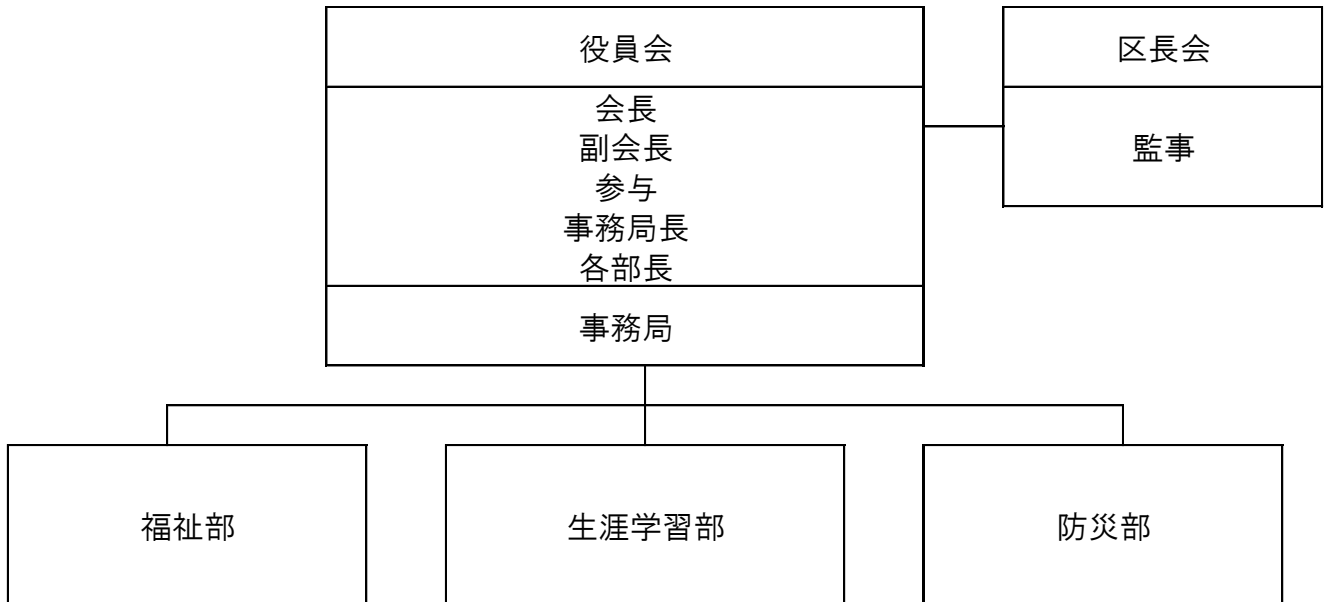
## 組織の状況

代表者名 黒坂 英輝

設立年月日 H29.3.6

役員体制 会長1名、副会長2名、参与2名、事務局長1名、部長3名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①子ども見守り活動  
(あいさつデー立ち番)
- ②防犯パトロール
- ③交通安全運動の実施

### 地域福祉

- ①敬老会
- ②ふれあい喫茶
- ③「とよおか歩キンピック」に参加

### 地域防災

- ①消防訓練
- ②防災訓練
- ③年末警戒パトロール

### 人づくり

- ①三世代グランドゴルフ大会
- ②男女混合ソフトバレーボール大会
- ③夏休みラジオ体操
- ④区民大運動会
- ⑤公民館文化祭
- ⑥乳幼児親子学習サークル  
「おでかけ広場」
- ⑦公民館各種教室

## コミュニティの取組み



平成28年4月からモデル地区の取組みを開始し、平成29年3月に3つの部会からなる「三江コミュニティ」を設立しました。それぞれの具体的な取組みに関しては今後考えていく段階ですが、中でも三江地区では交流事業と防災に力を入れたいと考えています。

交流事業としては、三江小学校の同窓会を2、3年に1回開催しています。これは地区で集まった際に住民から出た意見をきっかけに始め、毎回約60人ほどの参加があります。今後も継続していき、地区の交流につなげていきます。

また、三江地区の地理的特徴は、西部では水害、東部では土砂災害が起きやすい立地にあります。いざという時に備えて、各区自主防災組織同士の連携にとどまらず、地区住民一人ひとりの防災意識を高めていくことが重要と考えています。

## はじめの第一歩計画

# コミュニティたづるの



## 地区の概況

人口	2,780 人	小学校	田鶴野小学校（児童数161人）
世帯数	988 世帯	中学校	なし（豊岡北中学校区）
高齢化率	23.5 %	幼稚園	田鶴野幼稚園（園児数22人）
集落数	10	保育所	なし
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 27	7	第1回設立検討会	今後の進め方
	12	第2回設立検討会	区長会素案の報告
	2	第3回設立検討会	設立準備委員会の設置と事務局体制整備
	3	第4回設立検討会	設立準備委員会の設置案
	3	第5回設立検討会	設立準備委員会の設置案
	4	第6回設立検討会	設立準備委員会の開催
H 28	5	第1回設立準備委員会	準備委員会規約、名簿、役員の承認、28年度事業計画案、予算案
	6	視察	視察(島根県雲南市波多地区コミュニティ協議会)
	6	第2回設立準備委員会	今後のスケジュール
	7	第3回設立準備委員会	新組織の規約案、名称、組織構成案について
	8	第4回設立準備委員会	組織、部会、会計年度、役員任期
	9	第5回設立準備委員会	会計年度、役員任期と選出
	10	第6回設立準備委員会	部員、部会長選出/29年度事業計画案、予算案
	11	第7回設立準備委員会	自治会活動保険の取り扱い、29年度事業計画案、予算案等
12	第8回設立準備委員会	設立総会事前審議	
		コミュニティたづるの 設立	

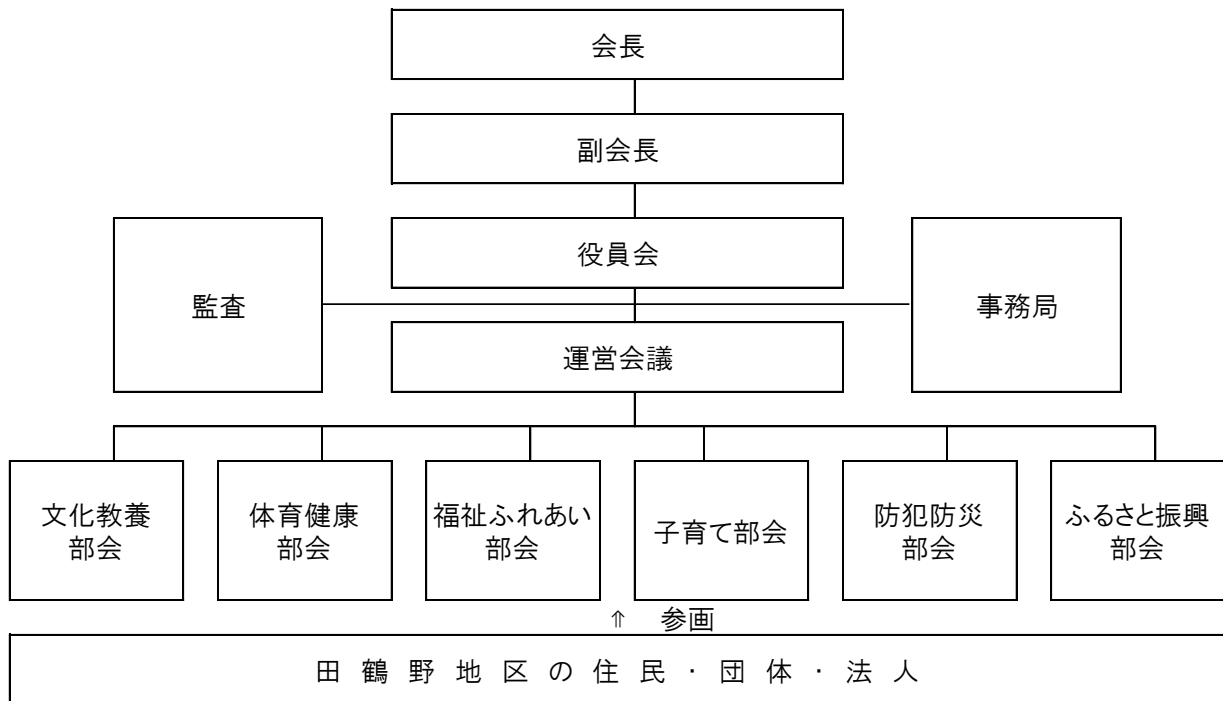
## 組織の状況

代表者名 矢崎 章司

設立年月日 H28.12.25

役員体制 会長1名、副会長2名（内兼事務局長1名）、会計1名、監事2名、部会長6名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ① ソフトバレーボール大会
- ② ソフトボール大会
- ③ コミュニティだより「愛宕」発刊
- ④ 地区大運動会
- ⑤ 地区文化祭

### 地域防災・防犯

- ① 防犯パトロール
- ② 防災訓練（消防署立ち合い）
- ③ 自主防災活動

### 地域福祉

- ① 高年部員日帰り研修
- ② 三世代グラウンドゴルフ大会
- ③ 高年部員教養講座

### 人づくり

- ① みんなでラジオ体操
- ② 運動会中学生ボランティア
- ③ こうのとりにマラソン大会
- ④ こどもフラワー教室（1回/1か月）
- ⑤ 柳祭り豊岡踊り子ども連参加
- ⑥ 田鶴野地区親善卓球大会
- ⑦ あいさつ運動（通年）
- ⑧ 健康環境ポイント マイレージ運動
- ⑨ スポクラ21グラウンドゴルフ大会
- ⑩ 歩こう会 JAハ社宮



## コミュニティの取組み



平成 28 年度は組織の土台作りを進めるため、島根県雲南市や広島県東広島市へ視察し、先進地事例を学びながら役員報酬や組織の部会などを定める上での参考とし、組織の基礎をつくりあげました。

モデルの1年目の平成 28 年度は、組織づくりを最優先としてきましたが、2年目以降は住民の意識啓発や具体的な事業計画策定へ向けた動きを行っていきます。

「コミュニティたづるの」の部会は、これまで公民館で行ってきた活動に加え、地域振興分野を担う「ふるさと振興部会」と地域で子どもを育む「子育て部会」を設置しました。子育て部会は、これまでの市の委託事業や地域で取り組んできた事業を取りまとめ、実行部隊として動いていきます。

これまでから公民館事業として地区内を回る「このとりマラソン」を行っています。円山川堤防沿いや地区内をみんなで風を切って走るこのイベントは、毎回 100 人近く参加するので、地区内交流のためにも地域コミュニティの取組みとしても続けていきます。

## はじめの第一歩計画

# コミュニティ五荘



## 地区の概況

人口	12,034 人	小学校	五荘小学校（児童数708人）
世帯数	4,873 世帯	中学校	豊岡北中学校（生徒数577人）
高齢化率	24.3 %	幼稚園	五荘奈佐幼稚園（園児数89人）
集落数	17	保育所	西保育園（園児数161人）、チャイルドハウス保育園（園児数155人）、テラスハウス保育園（園児数49人）
		認定こども園	こうのとりの認定こども園（園児数150人）

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 27	2	第1回設立検討委員会	地域コミュニティ組織の検討、事業見直し
	3	第2回設立検討委員会	
	5	第3回設立検討委員会	
		第4回設立検討委員会	
	6	第5回設立検討委員会	
	7	第6回設立検討委員会	
	8	第7回設立検討委員会	
	9	第8回設立検討委員会	
	10	第9回設立検討委員会	
	11	第10回設立検討委員会	
H 28	3	第11回設立検討委員会	「コミュニティ五荘」設立に向けた準備
	7	第12回設立検討委員会	
		第13回設立検討委員会	
	8	設立準備委員会設立会	
	9	第1回設立準備委員会	
10	第2回設立準備委員会		
H 29	10	第3回設立準備委員会	↓
	12	第4回設立準備委員会	
	1	地域コミュニティ説明会	
H 29	2	第5回設立準備委員会	↓
		コミュニティ五荘 設立	

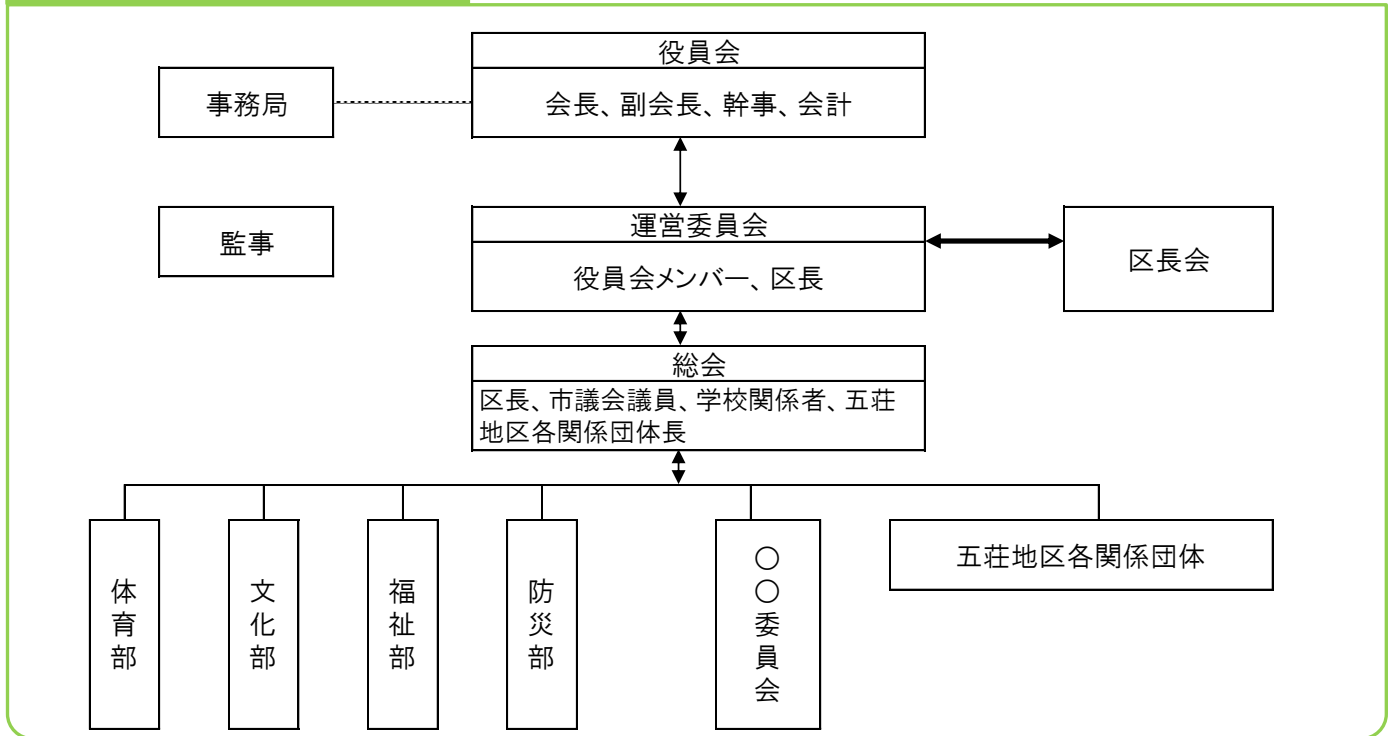
## 組織の状況

代表者名 岡崎 直美

設立年月日 H29.2.24

役員体制 会長1名、副会長1名、幹事1名、会計1名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

※平成 28 年度は公民館・区長会・他各団体と連携して実施

### 地域振興

- ①金婚式表彰式・金婚夫婦を祝う会
- ②五荘地区各関係団体連絡会

### 地域防災

- ①防災研修
- ②五荘地区一斉防災訓練
- ③防災訓練（各区）

### 地域福祉

- ①寝たきり高齢者慰問
- ②五荘地区公民館文化祭ふれあいバザー
- ③やよい交流会

### 人づくり

- ①舞台スタッフ養成講座 ②幼児教育学級
- ③虹っ子 ④サマーコンサート
- ⑤くらしの学習会 ⑥もちつきぜんざい会
- ⑦体力測定体験 ⑧食育講座
- ⑨健康講座 ⑩ことぶき学園
- ⑪ふれあい五荘まちづくり学習会
- ⑫世代交流グラウンドゴルフ大会
- ⑬早朝歩キング ⑭五荘地区体育祭
- ⑮ラジオ体操講習会
- ⑯なつやすみ統一ラジオ体操デー
- ⑰五荘地区公民館文化祭

## コミュニティの取組み



平成 28 年度は、公民館から地域コミュニティ組織に移行した後も、うまく区長会と連携をとれるような体制の構築と、現在行っている事業内容の見直し作業を行ってきました。

人口の多い行政区と少ない行政区の差が激しい五荘地区は、従来から地域防災や地域福祉などの地域づくり事業を行ってきました。

なかでも地域防災に力を入れており、地域防災活動の一環として、各区の自主防災活動を他の区に披露する防災研修会を7年前から行っています。発表する行政区はもちろん、聞く人へも地域防災の意識を持ってもらうために有効な取り組みです。

今後も地域コミュニティ組織と区長会で連携し「スマイル五荘」をキャッチフレーズに地区の課題へ対処していきます。

## はじめの第一歩計画

◆キャッチフレーズ 「スマイル五荘」

◆地域コミュニティの目指すもの

「共に助け合い、みんなでつくる活力ある地域コミュニティ」

# コミュニティ新田



## 地区の概況

人口	3,471 人	小学校	新田小学校（児童数189人）
世帯数	1,323 世帯	中学校	なし（豊岡南中学校区）
高齢化率	25.5 %	幼稚園	新田幼稚園（園児数24人）
集落数	8	保育所	アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園（園児数148人）
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 27	10	第1回検討会	設立準備会委員の検討
		第2回検討会	第1回設立準備会の打合せ
	11	第1回設立準備会	説明「新しい地域コミュニティについて」、規約の承認、役員選任
		第3回検討会	アドバイザーとの協議「設立のプロセスについて」
	12	第2回設立準備会	アドバイザーによる講演
		第4回検討会	第3回設立準備会の打合せ
H 28	1	第3回設立準備会	行政区・団体の行事集約、意見交換
		第5回検討会	第4回設立準備会の打合せ
	2	第4回設立準備会	委員によるプチワークショップ
	3	第5回設立準備会	今後の活動について、地区住民参加の第1回ワークショップ
	4	第6回設立準備会	規約(案)及び組織図(案)の意見交換
	5	第7回設立準備会	今後の活動について意見交換
	6	第8回設立準備会	地区住民参加の第2回ワークショップ
	7	第9回設立準備会	規約(案)及び組織図(案)の意見交換
	8	第10回設立準備会	設立総会までのスケジュール確認
	9	第11回設立準備会	規約(案)及び組織図(案)の意見交換
	10	ふくし部会、あんぜん部会	設立に向けての協議
11		コミュニティ新田 設立	

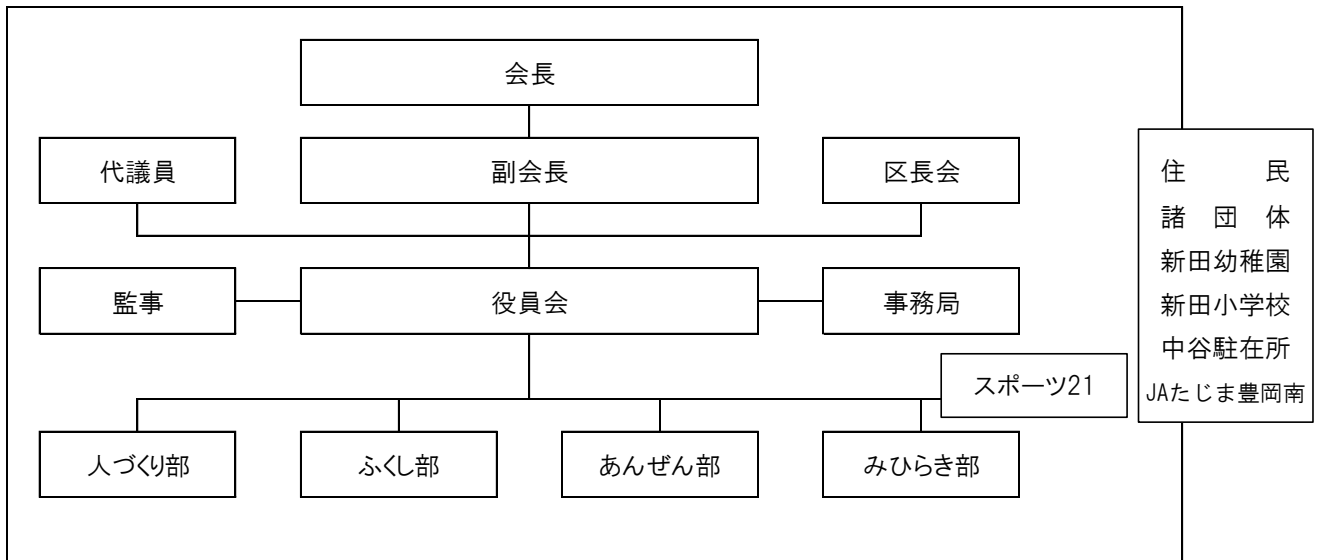
## 組織の状況

代表者名 堀名喜郎

設立年月日 H28.11.27

役員体制 会長1名、副会長2名、事務局長1名、所管部長4名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①六方川探検隊
- ②六方川桜並木の草刈り・整備
- ③子どもの見守り活動
- ④防犯活動
- ⑤コミュニティ新聞発行

### 地域防災

- ①ふれあいマップ作成
- ②救急法講習会
- ③防火・防災訓練
- ④消防団による活動

### 地域福祉

- ①敬老会
- ②ふれあいサロン
- ③ふれあいマップ作成
- ④高齢者と新田小学校子ども福祉委員交流会

### 人づくり

- ①文化祭
- ②運動会
- ③ソフトボール大会
- ④グラウンドゴルフ大会
- ⑤みひらき健康マラソン大会
- ⑥新田地区みんなでラジオ体操
- ⑦囲碁大会
- ⑧ちびっこクラブ
- ⑨幼児教育学級
- ⑩高齢者教室
- ⑪公民館各種教室

## コミュニティの取組み



コミュニティ新田は、約1年間の準備期間を経て平成28年11月に設立しました。

設立準備会では、アドバイザーの指導により、各区・団体の行事棚卸し作業や地域住民による2回のワークショップを行い、地域の魅力と課題を認識し、活動の方向性を見出すことができました。

「六方川探検隊&夏の生き物観察会」には108人が参加し、川に入って生き物を採ったり、川舟に揺られながら景色を眺めたりしました。また、専門家の講義も受け、多くの生き物が住める環境の大切さを学びました。観察会終了後には、そうめんとコウノトリ米のおにぎりを食べながら交流会を行いました。

また、新田地区文化祭への出演、コミュニティ新聞やフェイスブックにより、住民への広報にも力を入れました。

今後もさらに、住民みんなで盛り上げていくコミュニティ組織にしたいと思っています。

## はじめの第一歩計画

### みんなで わっしょい！ コミュニティ新田

#### 人づくり部

- ・歴史と伝統があり地区住民の交流の場でもある従来の公民館活動を継承する。
- ・新たに青年部設立をめざし、若い世代の活動を促進する。

#### ふくし部

- ・子どもから高齢者までが安心して暮らせる地域づくりをめざす。
- ・各区の取組み状況把握と情報交換から始める。
- ・民生委員・児童委員、民生・児童協力委員、福祉委員で構成する。

#### あんぜん部

- ・安心、安全に暮らせる地域をめざす。
- ・平成16年の台風23号により甚大な被害を受けた経験を活かすとともに、近年の異常気象にも備える。
- ・各区の取組み状況把握と情報交換により、地域全体における防災力の底上げを図る。
- ・各区の自主防災組織代表者で構成する。

#### みひらき部

- ・六方川、三開山、六方たんぼ等の美しい自然を守り、地域の環境保全活動に努める。
- ・地域振興を目的とした活動を行う。
- ・従来の活動団体「六方川を考える会」が構成員として活動する。

# コミュニティなかすじ



## 地区の概況

人口	1,915 人	小学校	中筋小学校（児童数98人）
世帯数	661 世帯	中学校	なし（豊岡南中学校区）
高齢化率	34.0 %	幼稚園	中筋幼稚園（園児数16人）
集落数	9	保育所	なし
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H25	12	中筋の未来をつくるワークショップ	まちあるき
H26	1	中筋の未来をつくるワークショップ	自慢マップ作成
	2	中筋の未来をつくるワークショップ	事例紹介
	7	団体長会議	準備委員の選出
	8	第1回準備委員会	地域の魅力と課題
	9	第2回準備委員会	組織体制
H27	10	第3回準備委員会	組織の目的と役割
	11	第4回準備委員会	各部会の目的と役割
	2	第5回準備委員会	部員の選出方法
	3	第6回準備委員会	組織図について
H28	5	第7回準備委員会	規約、組織図について
	6	第8回準備委員会	正式名称、愛称、ロゴについて
	7	団体長会議	規約、組織図、名称、愛称、ロゴについて
	1	第1回設立評議員会準備委員会	設立評議員会について
H28	2	第2回設立評議員会準備委員会	設立評議員会について
	3	コミュニティなかすじ 設立	



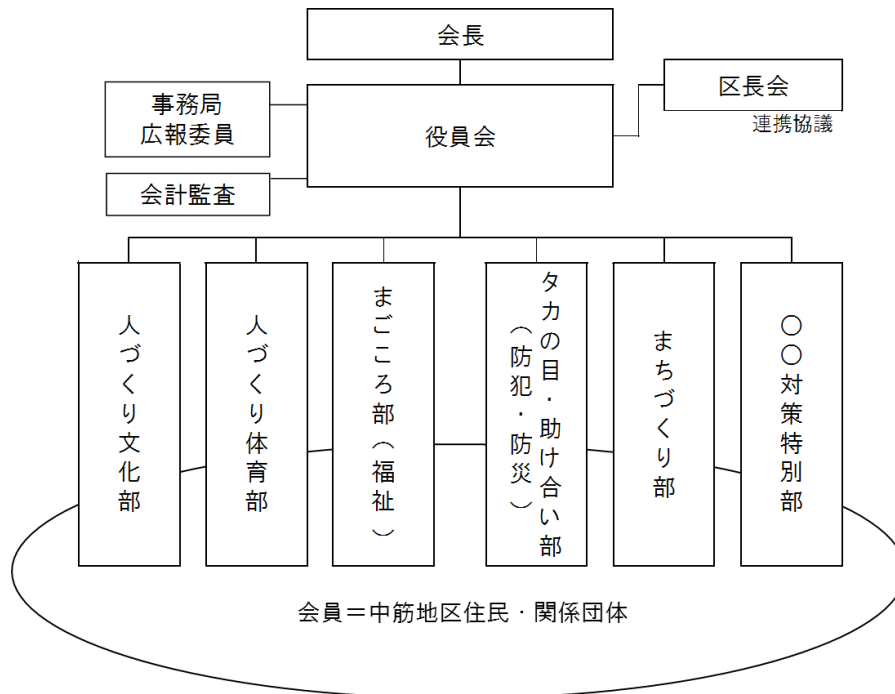
## 組織の状況

代表者名 太田 洋治

設立年月日 H28.3.23

役員体制 会長1名、副会長1名、事務局長1名、部長若干名、会計監査2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①大師山まつり・中山丘陵ハイキング
- ②新川の歴史探訪
- ③ホタル観察会
- ④カブトムシ・クワガタ探検隊
- ⑤野菜即売会
- ⑥中筋の旬を楽しむ会（夏・秋）
- ⑦尼崎エコツアーの開催
- ⑧尼崎市民祭りへの出店

### 地域福祉

- ①中筋地区敬老会
- ②お元気ですか訪問
- ③福祉講演会
- ④福祉連絡協議会議
- ⑤支え合いマップづくり

### 地域防災

- ①心肺蘇生法講習会
- ②炊き出し訓練・α米試食会
- ③長期防災計画の作成
- ④防災マップづくり
- ⑤消火訓練
- ⑥消防団による活動
- ⑦子どもの見守り活動

### 人づくり

- ①中筋地区運動会
- ②ソフトバレーボール大会
- ③ソフトボール大会
- ④グラウンドゴルフ大会
- ⑤文化祭
- ⑥三世代早起きラジオ体操
- ⑦乳幼児親子サークル「わんぱクラブ」
- ⑧幼児学級
- ⑨公民館各種教室

## コミュニティの取組み



平成 28 年 3 月「コミュニティなかすじ」の設立評議員会を開催し、4 月 1 日より試行運用を始めました。

各部に分かれ、部員の方の意見を尊重した事業を行い、コミュニティの第 1 歩を踏み出しました。

人づくりでは、事業の見直しをしながら既存の事業を行いました。

まごころ部では、一人暮らしの高齢者宅への元氣ですか訪問、地区毎の安全マップ作りをしました。

タカ目・助け合い部では、防犯・防災について会議を重ね、今後目指す方向性を検討しました。

まちづくり部では、既存の事業展開、平成 29 年度の方向性を検討しました。

また、豊岡有数の野菜の産地である中筋地区は、子どもから大人まで交流を深めながら中筋で採れた“旬”の野菜を味わう「中筋の旬を楽しむ会」を平成 26 年から年 2～4 回開催しています。「朝露の会」や中筋でとれる旬の農産物展示なども行いました。

また、市外との連携も 2 年目を迎え、尼崎市エコツアー、尼崎市民祭りでの中筋地区の PR などを実施しています。

## はじめの第一歩計画

### 『コウノトリの現風景の里中筋』

#### 明るい地域づくりを目指します！

～中筋地区の課題解決・今後予想される諸問題に対応できる地域づくり～

#### 中筋地区の文化の伝承と発展（人づくり文化部）

- ・子どもからお年寄りが文化祭などの行事によって交流を深める。
- ・伝統文化の伝承・継続を目指す。
- ・中筋地区の文化の創造～「中筋小唄」「中筋の里」を唄い・踊り新しい中筋の文化を創造する。
- ・絵画などの作品の発表の場を作る。

#### スポーツを通して健康増進・地域の交流を深める

##### （人づくり体育部）

- ・スポーツ大会を通して地区住民の交流を深める。
- ・スポーツを通して、一人一人の健康増進を図る。

#### 支え合い・楽しく暮らせる地区を目指す

##### （まごころ部）

- ・社会的弱者を地域で把握し、サポートできる地域づくり。
- ・子どもから大人までが地域内で助け合える関係

- ・「お元気ですか」訪問の実施
- ・「助け合いマップ」の作成・メンテナンスと活用
- ・高齢者世帯の普段からの見守り・声掛け運動
- ・高齢者世帯、社会的弱者世帯の支援活動の実施（除雪・通院・買い物・除草など）

#### 安全安心な街づくり・助け合いのできる

##### まちづくり（タカ目・助け合い部）

- ・災害避難マニュアルの作成（各区）
- ・子どもの通学・下校時の見守り活動
- ・災害時の避難所開設運営マニュアルの作成
- ・空家の把握〈防犯面〉
- ・昔ながらのご近所付き合いの再生

#### 中筋地区の活性化をはかる（まちづくり部）

- ・地域ブランドの発掘・創造
- ・中筋「まちづくり計画」「マップ」の作成
- ・空家の利活用の検討

#### 地域の新たな課題や事項について検討し、明るい地域づくりを進める。（特別部）

- ・課題発生時に合った「部」を設け協議・検討し解決をする。

# 奈佐地区コミュニティ なぎさの会



## 地区の概況

人口	1,120 人	小学校	奈佐小学校（児童数59人）
世帯数	382 世帯	中学校	なし（豊岡北中学校区）
高齢化率	37.3 %	幼稚園	なし
集落数	12	保育所	なし
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H26	10	第1回設立準備委員会	
	11	第2回設立準備委員会	
	1	第3回設立準備委員会	
H27	4	観桜の会	地域コミュニティづくりの推進及び親睦
	4	第4回設立準備委員会	組織構成、部会構成の検討
	7	第5回設立準備委員会	部会構成にむけてのワークショップ(1回目)
	10	第6回設立準備委員会	部会構成にむけてのワークショップ(2回目)
	11	先進地視察	温泉町海上区&うみがみ元気村
H28	2	第7回設立準備委員会	組織体制とスローガンの検討
	4	観桜の会	地域コミュニティづくりの推進及び親睦
	5	第9回設立準備委員会	はじめの第一歩計画の検討
	7	第10回設立準備委員会	はじめの第一歩計画の進め方、規約について
	8	第11回設立準備委員会	規約の検討
	10	奈佐地区コミュニティ組織の規約説明会	代議員へ規約、組織体制、はじめの第一歩計画説明
	11	第12回設立準備委員会	設立総会、新役員について
H29	1	第13回設立準備委員会 奈佐地区コミュニティ なぎさの会 設立	設立総会について

## 組織の状況

代表者名 岡下 修

設立年月日 H29.1.29

役員体制 会長1名、副会長2名、会計1名、監事2名、部長3名、副部長3名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ① 奈佐森林公園まつり
- ② 子どもの登下校安全見守り活動
- ③ 防犯活動
- ④ 観桜の会

### 地域防災

- ① 消防訓練
- ② 防火・防災訓練
- ③ 消防団による活動

### 地域福祉

- ① 敬老会
- ② 長寿会一泊研修

### 人づくり

- ① 文化祭
- ② 小学校公民館合同運動会
- ③ 三世代交流そば打ち大会
- ④ ソフトボール大会
- ⑤ バレーボール大会
- ⑥ At.奈佐ウォークラリー大会
- ⑦ 夏休みラジオ体操
- ⑧ 奈佐節継承
- ⑨ 乳幼児親子サークル
- ⑩ 幼児教育学級

## コミュニティの取組み



平成29年1月29日、「奈佐地区コミュニティ なぎさの会」を設立しました。設立に向けての準備委員会では、毎回、委員に宿題を提示してきたのが特徴的で、次回の準備委員会までに宿題を提出してもらい、それをもとに準備委員会を進めてきました。

しかし、「いつも座って会議しているばかりでは楽しくない!」という意見もあり、楽しく桜を愛でる「観桜の会」を平成27年度から行っています。

「観桜の会」では、コントラバスと箏、キーボードとがコラボしたコンサートやサルサダンス、住職による揮毫(きごう)などが行われました。また、しし鍋汁の無料振る舞いのほか、各区によるたこ焼きや焼きそばなどの出店もありました。

田畑が忙しくなる時期を前に住民に元気を与える活動になっているのではないかと思います。また、懐かしい人との再会や新しい人との出会いの場となり、新たなコミュニティの絆が生まれています。このことから次回は広報・PRを増やし、より多くの人に来場してもらえるようにしたいです。

## はじめの第一歩計画

スローガン 「人が輝く・地域が輝く」 みんなでつくる奈佐

取組み事業名		H28	H29	H30	H31	H32
観桜の会		◎	◎	◎	◎	◎
健康環境ポイント制度に参加	ウォーキングで地域の見廻り等もできコミュニケーションもとれる。ポイントをためて小学校にも寄付できる。豪華景品と交換できる。	▲	◎	◎	◎	◎
県民交流広場の設備を充実	コーヒーにお菓子やサンドイッチ等を添えてはどうか。手洗い場の設置		◇	▲	▲	◎
公民館事業の見直し、検討	ソフトバレーボールがPTAと地区対抗と重なっている		◇	◇	◇	◎
マラソン大会	地区外のひとを呼び込む					◇

◎ 取組み

▲ 準備

◇ 検討

# コミュニティみなと未来



## 地区の概況

人口	2,786 人	小学校	港東小学校（児童数57人） 港西小学校（児童数57人）
世帯数	1,061 世帯	中学校	港中学校（生徒数69人）
高齢化率	37.5 %	幼稚園	なし
集落数	7	保育所	なし
		こども園	港認定こども園（園児数43人）

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 27	3	港地域コミュニティセンター(仮称)検討委員会	設立準備準備委員の選出、準備委員会の日程決定
	4	第1回港地区コミュニティ設立準備委員会	設立準備委員会の規約の承認、役員を選任
	6	第2回港地区コミュニティ設立準備委員会	愛称決定、予算案の承認
	9	第3回港地区コミュニティ設立準備委員会	組織の検討、スケジュールの検討
	11	第4回港地区コミュニティ設立準備委員会	設立総会の日程決定、組織の検討、スケジュールの検討
H 28	2	第5回港地区コミュニティ設立準備委員会	部会名の決定、ワークショップ、地区説明会、委員の検討
	3	福祉部会ワークショップ 出前講座、防災・防犯部会ワークショップ	地区の状況及び問題点の検討
	4	第6回設立準備委員会	平成28年度準備委員案、組織図案の承認、各地区説明会の日程検討
	6	第7回設立準備委員会	組織、役員、部員数の検討、各地区説明会日程決定
	7	各地区説明会	設立準備委員会経過報告、平成29年度からの取り組み説明など
	8	第8回設立準備委員会	組織の役割及び主な活動、規約案、運営審議委員会設置要綱案の検討
	9	第1回規約検討委員会	規約案の検討
	9	第2回規約検討委員会	運営審議委員会設置要綱案の検討
	10	第9回設立準備委員会	規約案、運営審議委員会設置要綱案の検討、新部会員の選出方法の検討
	11	第10回設立準備委員会	規約案、運営審議委員会設置要綱案の検討、愛称「コミュニティみなと未来」の決定
H 29	1	民生委員児童委員ワークショップ 第11回設立準備委員会	各地区の活動及び問題点などについて 規約案、運営審議委員会設置要綱案の決定
	2	第12回設立準備委員会	設立総会に係わる事項の決定
		コミュニティみなと未来 設立	

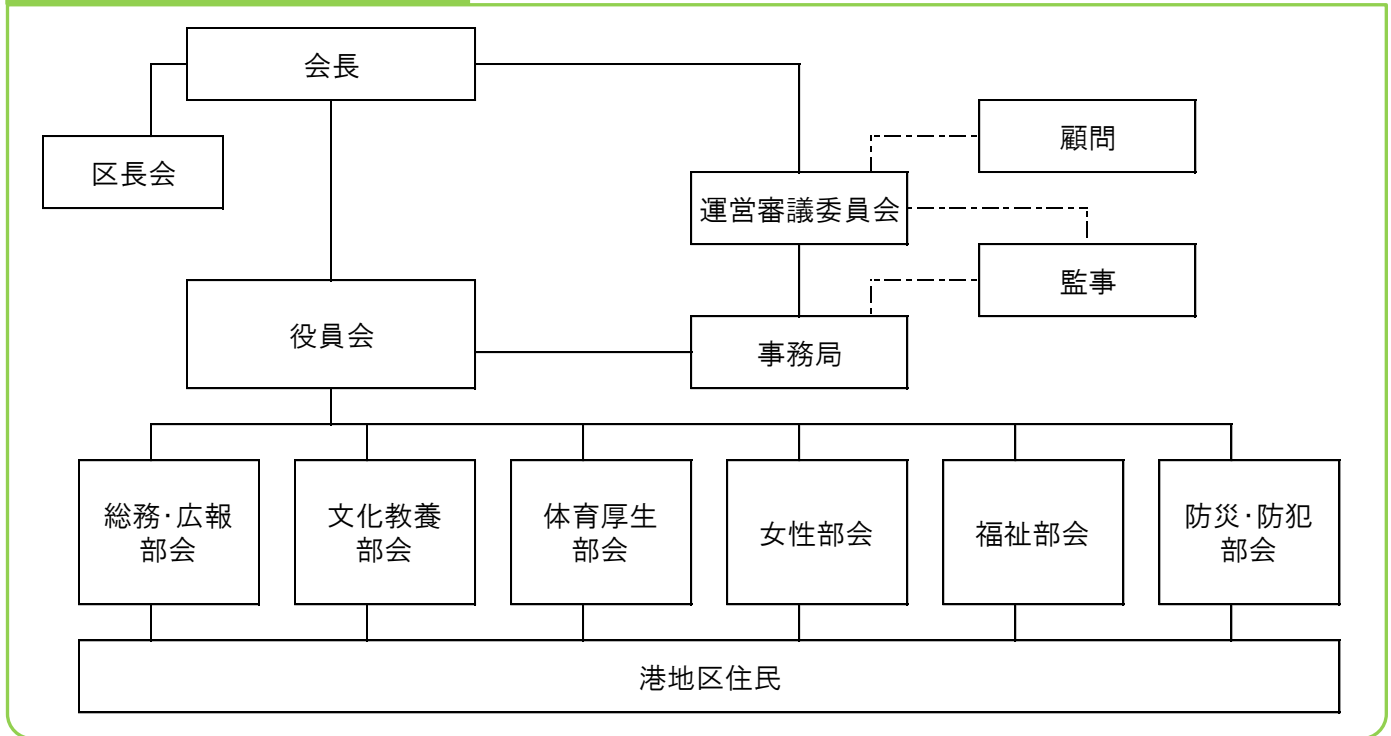
## 組織の状況

代表者名 脇 茂

設立年月日 H29.2.24

役員体制 会長1名、副会長1名、部会長5名、副部会長若干名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①子ども見守り活動
- ②あいさつ運動
- ③夜間パトロール
- ④浜清掃（気比の浜・田結の浜）
- ⑤カニまつり
- ⑥わかめまつり
- ⑦絹巻神社奉納相撲大会
- ⑧機関紙の発行

### 地域福祉

- ①敬老会
- ②いきいきサロン
- ③玄さん体操
- ④健康講座

### 地域防災

- ①自主防災訓練
- ②大津波訓練
- ③春・秋の火災予防運動
- ④消防団による活動

### 人づくり

- ①港西大運動会
- ②港東地区体育祭
- ③文化祭
- ④乳幼児サークル
- ⑤幼児教育学級
- ⑥公民館各種教室

## コミュニティの取組み

モデル地区の取組みも2年目に入りました。

平成28年度の大きな取組みは、港地区の皆様へ「地域コミュニティ」を広く知っていただくため、7行政区すべてを回り『地区説明会』を開催した事です。普段、寄り合いなどに参加する機会が少ない女性や高齢者からの意見や要望を聞くことができ、生活していくうえでの不安や港地区特有の課題が明らかになりました。

また、設立に向けた準備委員会、新しく取り組むことになる福祉、防災・防犯に対するワークショップ、規約や運営審議委員会設置要綱作成のための検討委員会などを開催、住民への情報提供としてコミュニティだよりの発行などを行いました。



地区説明会

ワークショップ



## はじめの第一歩計画

### 総務・広報部会

地域の素晴らしい歴史、文化、産業など、広く内外に情報発信するとともに、地域活性化及び組織全般の運営促進を図ることを目的とする。

### 文化教養部会

地域住民の協働による、文化創造や地域住民の演芸、作品発表の場を提供し、地域文化の推進を図ることを目的とする。

### 体育厚生部会

スポーツ活動を通し、体力、健康の増進と地域住民の交流促進を図ることを目的とする。

### 女性部会

地域住民の女性活動を通し、お互い協力しながら生活の場を共有し、地域間の交流を図ることを目的とする。

### 福祉部会

児童、高齢者、障がい者など、社会的弱者を地域全体でサポートし、少子高齢化社会に対応した地域福祉の推進を図ることを目的とする。

### 防災・防犯部会

災害から地域の財産や生命を守り地域住民による防災活動を展開し、地域住民の安全と安心を確保することを目的とする。



# 神美コミュニティ



## 地区の概況

人口	2,154 人	小学校	神美小学校（児童数129人）
世帯数	728 世帯	中学校	なし（豊岡南中学校区）
高齢化率	28.0 %	幼稚園	神美幼稚園（園児数21人）
集落数	10	保育所	なし
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H26	8	コミュニティ研修会	地区住民を対象とした研修会(区長会主催)
H 27	2	コミュニティ研修会	区長会及び地区内団体長対象の研修会
	4	設立準備委員会設置	4/1 規約制定
		第1回準備委員会	規約及び委員、役員の承認
	7	第2回準備委員会	地区カルテの作成(現状と課題等)
	10	防災集会開催	地区、学校、民生委員等総合防災訓練
		ふれあい座談会	住民自由参加によるグループワーク
H 28	12	第3回準備委員会	委員会の経過確認と組織づくりを検討
	5	第1回振興、福祉、防災・防犯部会	部会構成と事業計画について
	6	第2回振興、防災・防犯部会	事業概要の検討
	9	第5回準備委員会	規約(案)の作成、はじめの第1歩計画の策定
	11	コミュニティスタッフ(ボランティア)説明会	コミュニティ活動に関する説明
	12	第6回準備委員会	部会構成と設立総会の日程について
H29	2	第2回福祉部会	部会構成について
		神美コミュニティ 設立	

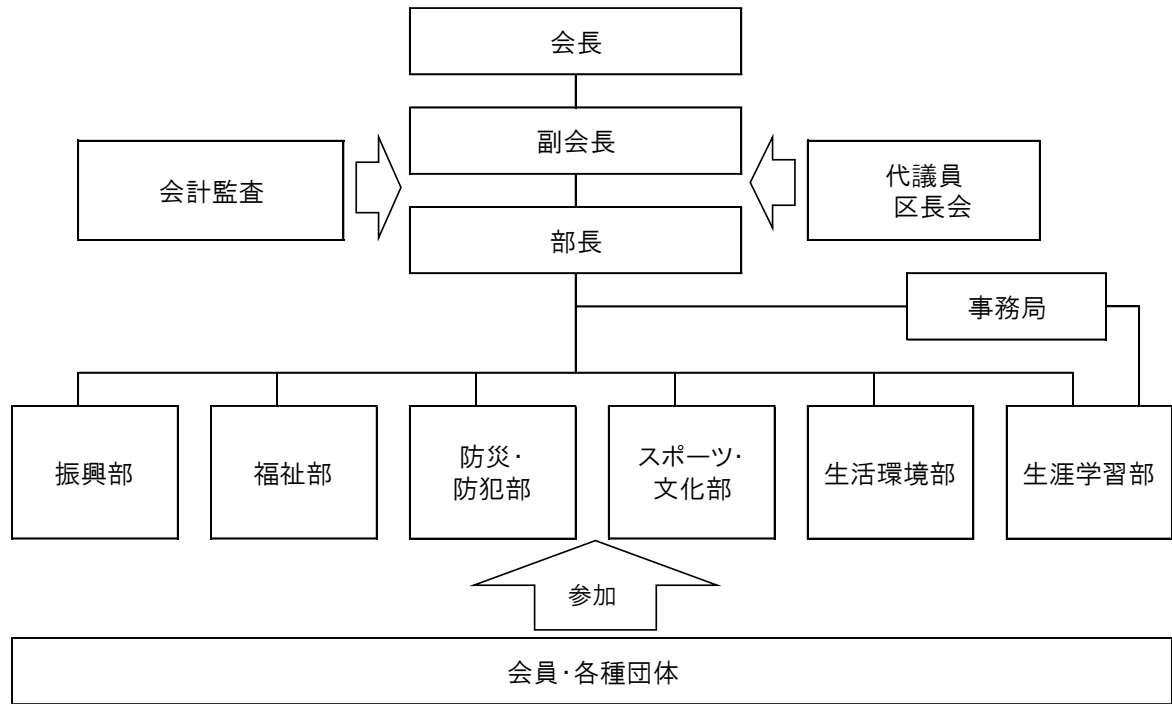
## 組織の状況

代表者名 秋和 光男

設立年月日 H29.2.5

役員体制 会長1名、副会長1名、会計1名、監事2名、各部長6名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①登校児童の見守り、あいさつ運動
- ②青少年健全育成活動（卓球大会、ラジオ体操等）
- ③三開山の山道整備
- ④各種団体長の懇親会

### 地域福祉

- ①神美長寿会の活動・事業
- ②民生委員児童委員による相談、支援、見守り活動
- ③公民館における月イチつながるカフェ

### 地域防災

- ①神美地域防災集会
- ②消防団第11分団による活動
- ③防犯協会神美支部による活動
- ④防災行政無線による非常時放送

### スポーツ文化・生活環境・生涯学習

- ①神美地区運動会
- ②バレーボール大会
- ③グラウンドゴルフ大会（長寿会、児童、住民）
- ④文化祭
- ⑤幼児教育学級
- ⑥公民館各種教室
- ⑦たちばなトレーニングルーム

## コミュニティの取組み



準備会において2年間の検討を重ね、2月5日、「神美コミュニティ」を設立しました。古くからの慣例や慣習が残っている当地区において、新たな組織を作ることとは容易ではないものの、準備会では、良い伝統は残しつつ、地区住民が求める新たな活動の模索といった自治運営の大改革に努めました。

中でも準備会は、地区住民同士が交流を深めていくことを重要視し、組織設立に先立って「つながるカフェ」を平成28年4月から月1回ペースで始めました。このカフェは、県民交流広場で行っており、1杯100円のコーヒーを来場者へ提供しています。今では交流広場が満席になるほどに来場いただき、交流の輪が少しずつ広がっている様子がうかがえます。

設立した神美コミュニティは、6つの部で構成しており、準備会で検討した基本方針や「つながるカフェ」など新しい活動での成果も踏まえて平成29年度の事業計画や中長期計画の策定を進めているところです。

地区の皆さんの声をくみ上げながら、“最初は無理なく軽く”を合言葉に、試行錯誤を重ねながら進めていきます。

## はじめの第一歩計画

### 基本方針

私たちが暮らしている……

- ① 神美の魅力や課題を発見し、住民全てが常に挑戦する気持ちをもって、地区の活性化とふるさとづくりを進めます。
- ② 神美の子どもや高齢者などを地区ぐるみで支援し、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めます。
- ③ 神美の防災対策や防犯対策を各区が連携して計画し、災害に強い体制づくりを進めます。
- ④ 神美の全住民参加のスポーツや文化事業を展開し、心身の健康づくりや伝統文化の伝承を進めます。
- ⑤ 神美の人づくりを旨として賛同者を募り、コミュニティを拠点に相互に学習し、交流し、地区内外のネットワークづくりを進めます。

振興	まちあるきマップ作成
	事業ボランティア募集
	ホームページ開設
	三開山登山道整備
	祭り・イベントの協力
	農業施策検討
	空き家対策検討
	飲食店誘致
福祉	要援護者などの見守り
	研修会開催
	担当者の情報連絡会
	福祉施設との交流会
	高齢者の行事に協力

防災防犯	全神美防災訓練実施
	防災マップ作成
	自主防災連絡会開催
	防災防犯研修会開催
	防犯協会委託事業
	交通安全協会委託事業
	青少健・子ども育成会委託
生活環境	生活課題研修会開催
	ふれあい・フリーマーケット
	運動会・文化祭の協力

スポーツ文化	地区運動会開催
	バレーボール大会開催
	地区文化祭開催
	歴史探訪
	健康づくり教室(ジム)開催
生涯学習	料理・手芸・工作教室開催
	つながるカフェ 1/月開店
	子ども生活学習会開催

# コミュニティ城崎



## 地区の概況

人口	3,516 人	小学校	城崎小学校（児童数149人）
世帯数	1,559 世帯	中学校	城崎中学校（生徒数75人）
高齢化率	37.7 %	幼稚園	なし
集落数	31	保育所	なし
		こども園	城崎こども園（園児数146人）

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H26	11	城崎地域コミュニティ検討会 3月まで5回開催	モデル地区の考え方、準備委員会・支援員の候補
H27	6	第1回設立準備委員会開催 各町内訪問説明会開始	委員会の規約、役員の決定、事業計画の策定 城崎31町内中、19町内を訪問(H29.3月現在)
	7	第2回設立準備委員会開催	意見交換、グループ協議
	9	第3回設立準備委員会開催	健康ポイント制度の説明、地域に関するグループ協議
	10	第4回設立準備委員会開催	地域づくりの進め方(浅見アドバイザー)
	11	城崎中学校訪問説明会 第5回設立準備委員会開催	小中学生へのミニ講座と意見交換 城崎の資源×課題 解決のアイデア出し
	12	第6回設立準備委員会	課題解決のワークショップ(浅見アドバイザー進行)
H28	1	第7回設立準備委員会開催	女性視点、町内を越えた連携実習、委員交流会
	2	第8回設立準備委員会開催	活動報告とこれからの展開
	3	城崎地域コミュニティのあり方研修 第9回設立準備委員会開催	主に新加入委員と振興局職員対象(16日～18日 3日間) 組織構成などテーマ別協議
	4	第10回設立準備委員会開催	コミュニティ設立に向けての検討、地域ビジョンづくり
	5	第11回設立準備委員会開催	コミュニティの名称、キャッチフレーズの検討
	6	第12回設立準備委員会開催	会の名称決定 規約原案、公民館行事の棚卸し
	7	与布土地区コミュニティ先進視察研修 第13回設立準備委員会開催	移動スーパーとくし丸も見学(参加者17名) 組織の枠組み、構成、名称、キャッチフレーズの決定
	8	町内4年生以上全員アンケート発行配布 城崎中学3年生豊岡市内企業見学	学校、町内会配布 中学3年生10人参加 市内2企業と市役所訪問
	9	公民館事業見直し検討会(体育部/文化部) 第14回設立準備委員会開催	事業仕分け 組織づくり、はじめの第一歩計画について
	10	第15回設立準備委員会開催	はじめの第一歩計画グループ協議、新組織の内容
	11	第16回設立準備委員会開催	組織構成・規約の最終協議 まちむら探検グループ協議
	12	コミュニティ城崎 設立	

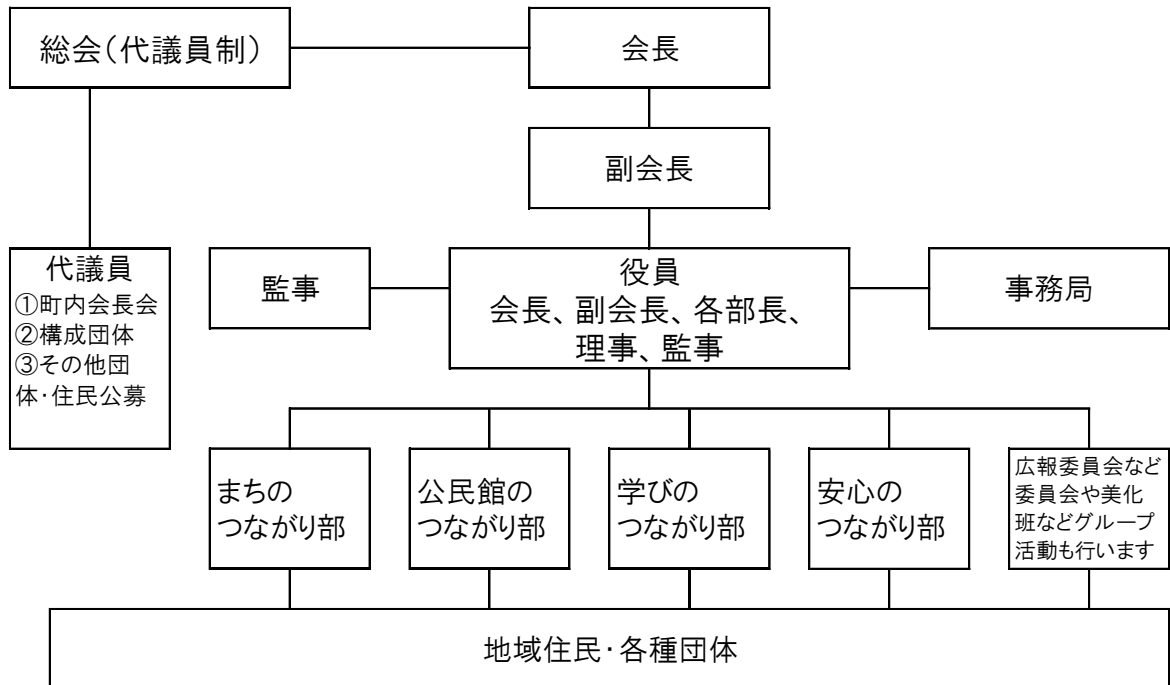
## 組織の状況

代表者名 宮下 隆司

設立年月日 H28.12.16

役員体制 会長1名、副会長2名以内、理事3名、部長4名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①機関紙「KINO コミュ通信」発行
- ②防犯パトロール
- ③あいさつ立ち番
- ④歴史探訪の旅
- ⑤城崎見て歩き
- ⑥プロジェクトC
- ⑦ふるさと祭りにて特産品PR活動
- ⑧KAKEHASHI 収穫祭参加協力

### 地域福祉

- ①福祉祭りへの参加
- ②城崎楽々むらまつり参加
- ③健康・環境ポイント制度の取り組み

### 地域防災

- ①防犯パトロール
- ②防災活動用品の整備
- ③見守り隊

### 人づくり

- ①城崎地域運動会
- ②バレーボール大会
- ③野球大会
- ④グラウンドゴルフ大会
- ⑤城崎文化のつどい
- ⑥顔見知りラジオ体操
- ⑦城崎中学校へコミュニティ訪問説明会
- ⑧公民館各種教室

## コミュニティの取組み



精密機械の工場見学する城崎中学生



買い物支援の方策を学ぶ(朝来市)

平成 27 年度は町内会への出前講座を柱に、「KINO コミュ通信」発行など広報活動が中心でした。平成 28 年度は小学 4 年生以上の町民アンケートを実施。準備委員会のワークショップやまちむら探検とともにはじめの第一歩計画の基となりました。7 月、モデル事業として、コミュニティ先進地である朝来市与布土での研修。8 月、中学 3 年生対象の豊岡市内の企業訪問を行いました。中学生らは(株)北星社で印刷物が出来る早さに驚き、市役所や議場で説明を受け、昼食時は市長との会食が実現しました。午後には(株)東豊精工でスプリングの製造工程を見学し、中学生と一緒に企業の魅力を再発見しました。10 月には小中学生対象の「城崎の秋祭りを 10 倍楽しむ」と銘打つ講座を実施。大人も参加して、伝統ある祭りへの意識を高めることができました。

準備委員会の最終目的である新しい組織「コミュニティ城崎」の設立総会を 12 月 16 日に開催。90 人の出席者で審議を行い新役員、規約、ビジョン等が承認され新しくスタートをすることになりました。

## はじめの第一歩計画

キャッチフレーズ 共に思いやり共に助け合い共に暮らそう

ビジョン[コミュニティ城崎が目指す「城崎の将来像」]

あいさつが生む、つながりを大切にすまち城崎

コンパクトなサイズのまちだからできる、人々のつながりを大切に、  
住む人も、訪れる人も、帰ってくる人も気持ちよく暮らせる町にしたい  
いつでもあいさつが響き、誰でも受け入れ助け合えて、  
生きがいを持って楽しく暮らせる町をめざしたい

- ・ミッション 1 【つながりを維持し、あいさつとにぎわいのあふれるまちをつくる】
- ・ミッション 2 【公民館活動を継続し、体育や文化でつながりをつくる】
- ・ミッション 3 【助け合い教え合うつながりを生きがいや成長につなげる】
- ・ミッション 4 【安全・安心で、お年寄りが暮らしやすいつながりをつくる】

◆は事業実施、◇は検討開始

事業計画	H29	H30	H31以降
町民運動会の見直し(工夫と盛り上げ)	◆	◆	◆
町内(行政区)の連携と負担軽減	◆	◆	◆
城崎まち中美化運動	◆	◆	◆
つどい場作り(カフェ→子ども食堂)	◆	◆	◆
ふれあいクッキング	◆	◆	◆
ふれあい運動遊び(ゲーム遊び)	◆	◆	◆
公園遊び場計画(秘密基地、花、PR)	◇	◆	◆
地域を動かす「プレイヤー」人材掘出し	◇	◇	◆
ふるさと城崎(豊岡)を知る事業	◆	◆	◆
居酒屋『さんかい(三階)』運営		◇	◇
移動交通システムの構築(内川-城崎、販売)		◇	◇
そのほかこんな計画も▼地元イベントへの出展/環境エコポイント推進/温泉研修/雲南市研修/農産物の収穫体験/ネットの活用/演劇交流			

# 竹野南地区コミュニティ わいわいみ・な・み



## 地区の概況

人口	1,058 人	小学校	竹野南小学校（児童数26人）
世帯数	392 世帯	中学校	なし（竹野中学校区）
高齢化率	38.8 %	幼稚園	なし
集落数	17	保育所	森本へき地保育園（園児数9人）
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H27	5	第1回検討委員会	検討委員会の目的・設立準備会設置計画
	6	第2回検討委員会	設立準備会のメンバー・規約について
		第3回検討委員会	区長協議会への提案内容について、準備会委員への依頼について
	7	第4回検討委員会	設立準備会の開催日程について
		第1回設立準備会	設立準備会規約承認・役員選出、今後のスケジュールについて
	10	第1回ワークショップ(第2回設立準備会)	地区の良いところ・課題の洗い出し
	11	まち・むら探検	地区内探検、報告会
H28	12	第3回設立準備会	ワークショップ、まち・むら探検の実施状況について
	12	鍋を囲んで年末大放談会	竹野南地区のコミュニティづくりについて
	2	第2回ワークショップ	地区の良さを生かし、課題を解決するための具体策を考える
	3	第4回設立準備会	28年度事業計画・予算・組織・計画のスケジュール
	3	第3回ワークショップ	地域づくりプロジェクトについて考えよう
	4	第4回ワークショップ	地域づくりプロジェクトについて実現の順番と方法を考えよう
		交流広場わいわいみ・な・みオープン	オープニング・喫茶よつば開店
	6	第5回設立準備会	27年度事業報告・決算、新組織の名称決定、組織体制(案)・規約(案)、地域づくり計画素案について
	7	第5回ワークショップ	来年度行う取り組みとその具体策を考えよう
	9	第6回設立準備会	組織体制(案)・規約(案)・はじめの第一歩計画(案)の決定、役員の選任方法について
11	第7回設立準備会	新組織の28年度事業計画(案)・予算(案)について、設立総会の日程等について	
12		竹野南地区コミュニティわいわいみ・な・み設立	

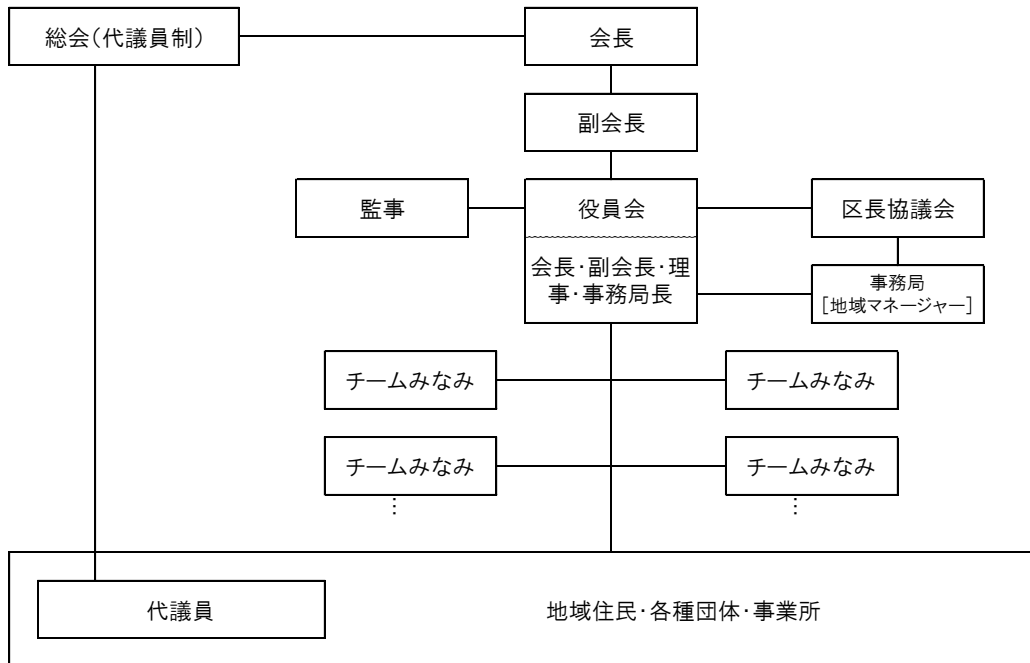
## 組織の状況

代表者名 岡田 隆男

設立年月日 H28.12.7

役員体制 会長1名、副会長3名、理事若干名、事務局長1名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ① 変装踊り
- ② 狗留尊佛祭り
- ③ 三原谷の川の風まつり
- ④ 設立準備会だよりの発行
- ⑤ 交流広場わいわいみ・な・みの運営
- ⑥ 集落営農・農地活性化

### 地域福祉

- ① 竹野南地区敬老会
- ② イナカーウォーキング

### 地域防災

- ① 消防団による活動

### 人づくり

- ① 森本保育園・竹野南小学校・竹野南地区合同運動会
- ② 竹野南地区文化祭
- ③ 公民館各種教室



## コミュニティの取組み



地域の皆様や訪れる人の気軽な交流場所となるよう平成 28 年 4 月に、JA の旧店舗を借用して「交流広場わいわいみ・な・み」を開設しました。

さらに、交流広場では、毎週木曜日、地域のボランティアグループよつばの会による「喫茶よつば」が開かれ、手作りスイーツとコーヒー、お茶を楽しんでいただくことができます。「喫茶よつば」には、毎回 40 人ほどの来場者があり、コーヒーを飲みながら、わいわいと、とても賑やかな雰囲気が出来上がり、地区住民の交流と情報発信の場所になっています。また、木曜日だけでなく、その他の曜日にもセルフ喫茶として、コーヒー、お茶を飲んでいただくこともできます（火曜日の休館日、日曜日の職員が不在の日を除く）。

竹野南地区では、高齢化、過疎化の進行とともに、農地の荒廃が目立ってきました。高齢者ゆえの体力の衰えや病気による離農は、受け皿が無ければ即農地の荒廃につながります。このため、受け皿となる営農組織の設立に向け、竹野南地区全体で集落営農に取り組むことにし、コミュニティが事務局になって「竹野南集落営農研究会」が設置されました。研究会では、組織づくりの検討に合わせ、全戸を対象に「竹野南集落の営農に関するアンケート」を実施し、農業に対する意向を把握しました。今後、研究会を準備会に改組してさらに検討を進め、平成 30 年の稲作に間に合うよう営農組織の設立を目指しています。



## はじめの第一歩計画

### ◆キャッチフレーズ わいわい み・な・み

—みんな 仲良く 未来に向けて—

### ◆基本方針

住んでいる人や訪れる人に温かで楽しい竹野南地区を目指して

事業計画	H29	H30	H31	H32以降
集落営農と農地の活性化	◆	◆	◆	◆
しゃべり場づくり・買い物場所づくり	◇	◆	◆	◆
小銭が稼げる地場産品づくり	◇	◆	◆	◆
イナカーウォーキングの実施	◆	◆	◆	◆
玄さん体操の実施	◆	◆	◆	◆
支え合い生活支援制度	◇	◆	◆	◆
消火器を使えるように	◆	◆	◆	◆
災害時の避難支援体制づくり	◇	◆	◆	◆
防災士の育成	◇	◆	◆	◆
人づくり	◆	◆	◆	◆
敬老会の開催	◆	◆	◆	◆
合同大運動会の開催	◆	◆	◆	◆
変装おどりの開催	◆	◆	◆	◆
南地区の情報発信	◆	◆	◆	◆

◆は事業実施、◇は検討開始

# 中竹野地区コミュニティ



中竹野地区

## 地区の概況

人口	674 人	小学校	中竹野小学校（児童数32人）
世帯数	226 世帯	中学校	なし（竹野中学校区）
高齢化率	37.4 %	幼稚園	なし
集落数	9	保育所	なし
		こども園	竹野認定こども園（園児数81人）

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H26	5~H27.3	第1回～第9回準備委員会	第5回に作野先生との意見交換会
	7	ワークショップ	
	11	まちむら探検	
H27	4	第10回準備委員会&ワークショップ	お宝の活用方法と課題の具体化
	5~8	第11回～第14回準備委員会	地域づくり構想のスケジュールほか
	5	視察研修	与布土地域と神河町空き家再生事例視察
	9	第15回準備委員会&ワークショップ	地域づくりプロジェクト検討
	10	第16回準備委員会	地域づくり構想スケジュール
	11	第17回準備委員会&ワークショップ	プロジェクトの絞り込み、具体化
	12	第18回準備委員会	地域づくり構想協議
H28	1	第19回準備委員会&ワークショップ	地域づくり構想たたき台について検討
	2~H29.1	第20回～第31回準備委員会	規約案検討、はじめの第一歩計画討議、事業計画・予算案の検討ほか
	4	こんにやく芋栽培農家意見交換会	さしみこんにやく試食会
	10	第8回福祉まつり出店さしみこんにやく販売	社会福祉協議会主催、多目的屋内運動広場にて
	12	ふれあい喫茶スタッフ候補者交流会	スタッフのシフト計画など検討
H29	1	中竹野地区コミュニティ 設立	

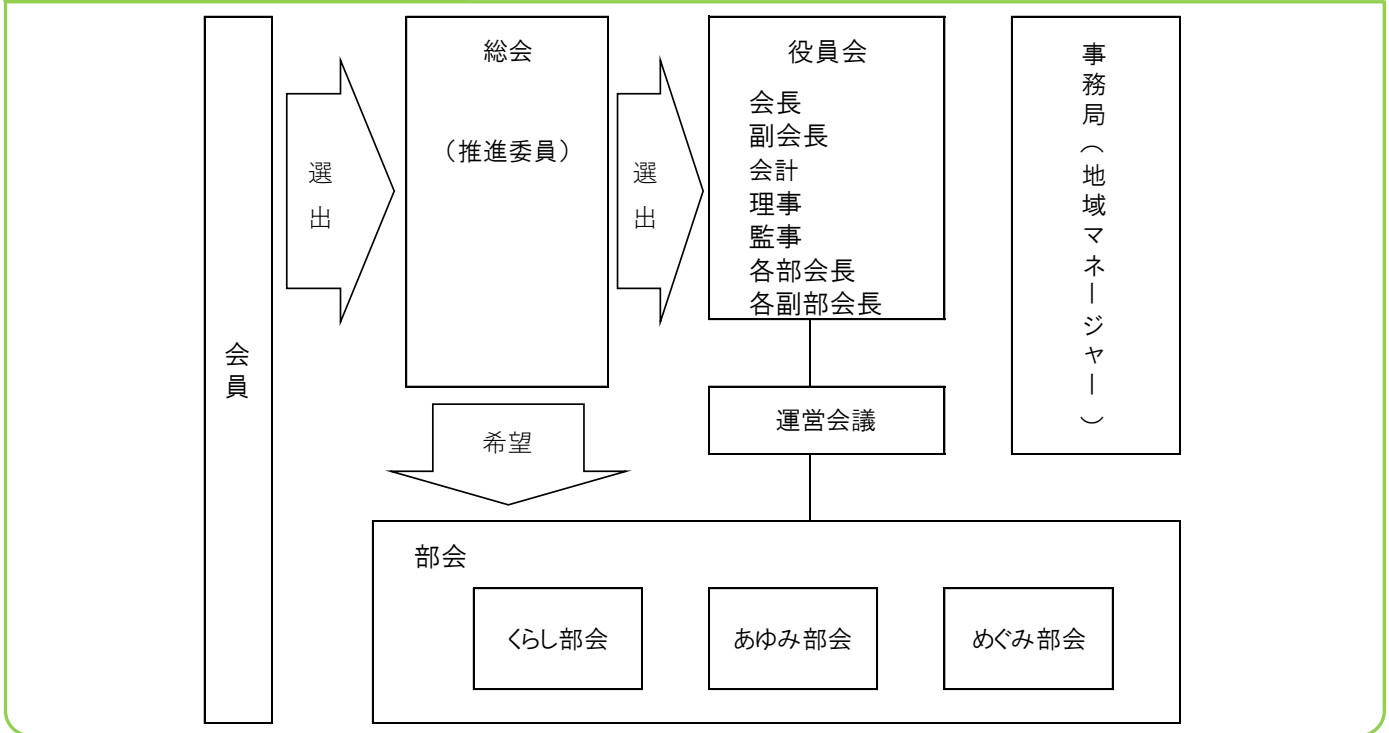
## 組織の状況

代表者名 木瀬 堯后

設立年月日 H29.1.22

役員体制 会長1名、副会長2名、理事若干名、正副部会長6名、会計1名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①河川愛護活動
- ②じゃんぼ巻きずし大会
- ③子どもの見守り活動
- ④まちむら探検
- ⑤コミュニティだよりの発行
- ⑥特産「さしみこんにやく」の製造販売
- ⑦ガイドマップ作り(案内板設置)
- ⑧懐かしの写真展

### 地域福祉

- ①敬老会
- ②サロン活動
- ③ふれあい喫茶「元気かえ～」の運営

### 地域防災

- ①消防団による活動
- ②自主防災組織の推進

### 人づくり

- ①中地区総合体育大会
- ②文化祭
- ③三世代交流グラウンドゴルフ大会
- ④早起きラジオ体操
- ⑤子ども110番の家の整備
- ⑥定期パトロール
- ⑦各種教室
- ⑧たけのこ村なつまつり

## コミュニティの取組み



モデル地区の取組みをどのように進めていけばよいのか悩んでいたところ、「まずは地域の皆さんが中竹野地区のことをどのように思っているか意見を聞いてみては？」というアドバイザーの勧めもあり、ワークショップを開催しました。ワークショップでは49人の参加者が中竹野地区の「良いところ」と「改善が必要なところ」について意見を出し合い、発表することで参加者が相互に想いを共有し、最初の一歩を踏み出すことができたと感じました。

また、ワークショップで出された意見について、実際に目で見て、肌で感じてもらうために「まちむら探検」を実施しました。小学生からお年寄りまで36人が参加し、6班に分かれて地区内を探検しました。

探検後は班ごとに結果を地図にまとめ、撮った写真をスクリーンに映しながら見てきた内容を発表しました。地区の名所やお宝などを住民で再発見する良い機会となりました。今後は、この結果を地域づくりにどう生かしていくかを検討していきます。

## はじめの第一歩計画

### ■キャッチフレーズ

### みんなでアクション・中竹野

### ■基本方針

～人と人が交わり楽しく暮らす～

#### くらし部会

事業計画	H29	H30	H31	H32以降
ふれあい喫茶「元気かえ～」の運営	○	○	○	○
自主防災活動の推進	△	○	○	○
敬老会	○	○	○	○
三世代交流グラウンドゴルフ大会	○	○	○	○
総合体育大会	○	○	○	○

#### めぐみ部会

事業計画	H29	H30	H31	H32以降
こんにやくプロジェクト	○	○	○	○
たけのこ村の活用（なつまつり）	○	○	○	○
安心・安全な野菜づくりと販売	○	○	○	○
ジャンボ巻きすし大会	○	○	○	○
もちつき大会	○	○	○	○

#### あゆみ部会

事業計画	H29	H30	H31	H32以降
ガイドマップづくり	○	○	○	○
案内板の設置	-	-	○	-
スタンプラリー（城山への散策など）	○	○	○	○
懐かしの写真展（鉱山跡など）	○	○	○	○
中竹野学園	○	○	○	○
文化祭	○	○	○	○

○は事業実施、△は検討開始

## コミュニティのための



竹野地区

### 地区の概況

人口	2,834 人	小学校	竹野小学校（児童数114人）
世帯数	1,047 世帯	中学校	竹野中学校（生徒数105人）
高齢化率	36.2 %	幼稚園	なし
集落数	17	保育所	なし
		認定こども園	なし

### 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H27	2	第1回検討会	モデル地区取組協議(公民館・振興局)
	4	研修会	区長対象に「むらづくり」について研修
		研修、ワークショップ	地域づくりについて
	7	第2回検討会	地域コミュニティ概要、空き家調査等
	8	第1回区長協議会	空き家調査、区の現状・課題洗い出し
9	意見交換会	女性団体、地域プロデューサー等による意見交換会	
H28	11	第2回区長協議会	空き家調査、区の現状・課題結果報告
	2	第1回設立準備会	組織立ち上げ
		第2回設立準備会	準備会役員の決定、スケジュール確認
	3	第3回設立準備会	取組内容の検討、団体意見交換会
		分野別団体意見交換会	新しい地域コミュニティの説明と各団体と意見交換
	4	第4回設立準備会	団体意見交換会結果、団体調査票依頼
		第5回設立準備会	団体調査票回収、団体意見交換会の検討
	6	団体意見交換会	各分野ごとにワークショップ形式で意見交換
		第6回設立準備会	団体意見交換会結果
	7	第7回設立準備会	組織図案、分野別取組内容の検討
		第8回設立準備会	組織図案、規約案の検討、団体説明会に向けて
	8	団体説明会	規約案、組織案等準備会の活動状況報告と意見交換
	9	第10回設立準備会	団体事業検討会の検討
10	団体事業検討会の開催	意見交換会の意見をもとにワークショップで意見交換	
	第11回設立準備会	団体事業検討会結果、スケジュールの検討	
11	第12回設立準備会	規約、組織名称の検討	
12	第13回設立準備会	設立総会準備	
		コミュニティのための 設立	

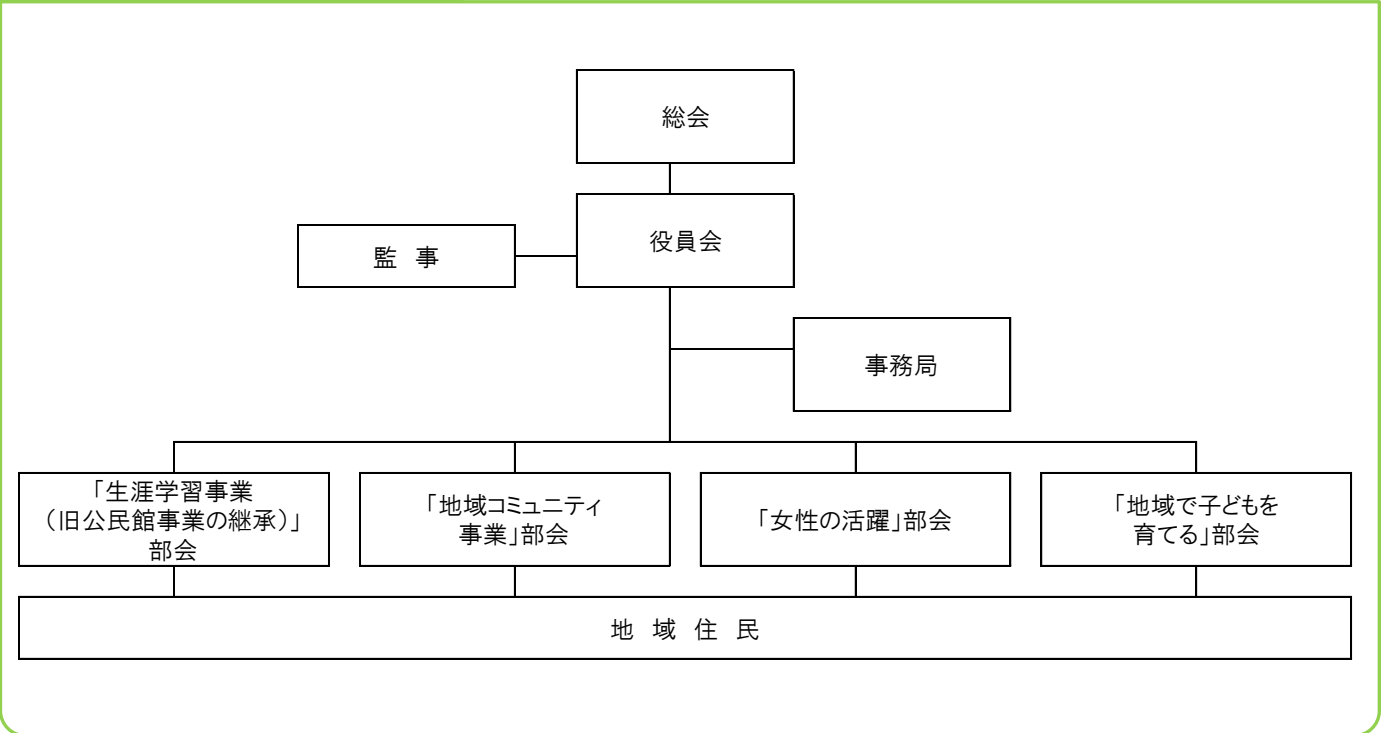
## 組織の状況

代表者名 小高 與志美

設立年月日 H28.12.19

役員体制 会長1名、副会長2名、幹事4名、会計1名、監事2名、部会長各部会1名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①公共交通利用促進事業
  - ・イナカー乗車事業活動
  - ・JR乗車事業活動
- ②子どもの見守り活動
- ③なごみの灯り作り・点灯

### 地域防災

- ①消防団による活動
- ②自主防災組織による活動
- ③支え合いマップ作り
- ④普通救命講習会

### 地域福祉

- ①竹野学園（高齢者学級）
- ②敬老会
- ③サロン活動
- ④健康体操教室

### 人づくり

- ①竹野地区体育まつり
- ②竹野地区文化まつり
- ③乳幼児教育学級
  - 「竹野ヨチヨチランド」
  - 「竹野元気っ子ランド」
- ④公民館各種教室
- ⑤土曜チャレンジ活動

## コミュニティの取組み



平成 28 年 2 月に竹野地区コミュニティ設立準備会が立ち上がり、平成 28 年 12 月の設立総会にて無事「コミュニティたけの」が設立されました。準備会内では、特に「団体の課題は何か」「何のために活動しているのか」などを話し合い、関係団体同士の相互理解を図ることに注力しました。お互い存在は知っているけれども、どんな活動をしているかは分からず、うまく連携が取れていない部分があるのが現状です。

また、コミュニティたけのの目標である「誇りと夢あるまちづくり」を行うため、事業をどう展開していくのかの検討を一進一退の中で進めています。

まだまだ課題は多くありますが、ひとつずつ議論と活動を重ねて、竹野の未来につないでいこうと取り組んでいます。

## はじめの第一歩計画

キャッチフレーズ

「地域に自信を

誇りと夢ある竹野地区」

事業計画	H29	H30	H31	H32以降
「力を合わせて」体育まつり	●	●	●	●
「来て見てわくわく」文化まつり	●	●	●	●
「生涯学習！」竹野学園	●	●	●	●
「乗って守ろう」公共交通	●	●	●	●
「灯りをともそう」なごみの灯り	●	●	●	●
「自然で遊ぼう！」鋳物師辰峠の大岩からじゃじゃ山まで歩こう	●	●	●	●
「空き家も財産！」空き家実態把握	○	●	●	●
「有事の際の命綱」地域防災	○/●	●	●	●
「みんなで楽しく」バザーで協賛	●	●	●	●
「おいしく食べよう」地産の料理教室	●	●	●	●
「探検しよう」こどものふるさと学習	○	●	●	●

○→事業検討 ●→事業実施

※旧公民館教室事業、共催事業については必要に応じて随時開催

# コミュニティこくふ



国府地区

## 地区の概況

人口	3,257 人	小学校	府中小学校（児童数204人）
世帯数	1,169 世帯	中学校	なし（日高東中学校区）
高齢化率	29.1 %	幼稚園	なし
集落数	13	保育所	なし
		認定こども園	こくふこども園（園児数129人）

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 27	5	第1回検討会	新しいコミュニティについて
	11	第2回検討会	準備委員会の選考と今後のスケジュールについて
H 28	2	第3回検討会	準備委員会団体の確定
	3	新しい地域コミュニティ説明会	「新しい地域コミュニティ」について
	4	第1回設立準備委員会	規約・役員・事業案・予算案について
	5	第2回設立準備委員会	ワークショップ「国府地区を考えよう」
	6	第3回設立準備委員会	ワークショップ「国府地区のこれから」、名称について
	7	第4回設立準備委員会	組織図、各部の活動内容の検討
	8	第5回設立準備委員会	各部の部員構成の検討、規約の検討
	9	第6回設立準備委員会	各部の部員構成の決定、規約の検討
	10	第7回設立準備委員会	規約の確定、設立総会の日程決定
	11	第8回設立準備委員会	28年度事業報告、決算報告、設立総会について
	12	コミュニティこくふ 設立	



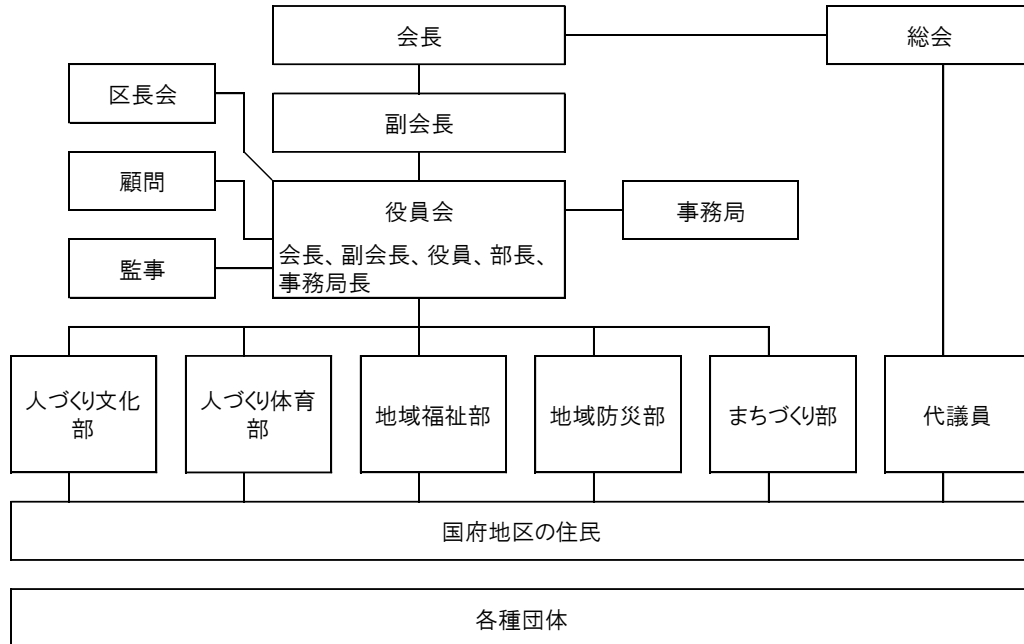
## 組織の状況

代表者名 林 秀喜

設立年月日 H28.12.14

役員体制 会長1名、副会長1名、役員3名、部長4名、事務局長1名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①国府ふれあい観桜会
- ②植村直己冒険賞受賞者を囲む会

### 地域防災

- ①避難訓練
- ②消火訓練
- ③救命講習会

### 地域福祉

- ①独居老人の見守り・声かけ
- ②認知症予防の取り組み
- ③健康教室
- ④空き家対策

### 人づくり

- ①ふるさと探訪
- ②まちづくり人づくり講演会
- ③国府ふるさとまつり
- ④国府ふれあい運動会
- ⑤ソフトバレーボール大会
- ⑥ソフトボール大会
- ⑦乳幼児親子学習サークル
- ⑧公民館各種教室

## コミュニティの取組み



国府ふれあい観桜会の様子



ワークショップの様子

平成 28 年4月からモデルを開始しました。8回の準備会を経て同年 12 月に設立総会を開催しました。各準備会の前段には、会長副会長をはじめ会計・監事・顧問で構成される役員会を2～3回以上開催し、綿密な打ち合わせや意見の擦り合わせを行いました。定例の役員会と合わせて、細かい部分まで調整することで、スムーズな組織設立ができるよう心がけました。

地区の課題を洗い出し、地域コミュニティで何をすべきかを準備会委員全員で考えるためにワークショップを行いました。そこで出された意見を「魅力・自慢」と「困っていること」に分け、良いところを活かし、課題を解決するために何ができるかということをはじめの第一歩計画に落とし込みました。参加者からは「これまで知らなかった国府地区の現状を知ることができてよかった」「地元の良さを再確認できた」といった感想が寄せられました。

今後はワークショップで出た意見を踏まえて具体的な活動に向けて議論を深めていきます。

## はじめの第一歩計画

### みんなで支え合い、助け合いのできる、国府地区

#### ○今後の計画

##### < 継続 >

- ①ふれあい観桜会
- ②ふれあい運動会
- ③ふるさとまつり
- ④ふるさと探訪
- ⑤かるた大会
- ⑥植村直己冒険賞受賞者を囲む会
- ⑦ソフトボール大会
- ⑧ソフトバレーボール大会
- ⑨まちづくりひとづくり講演会

##### < 短期(1～4年) >

- ①歩キングコースでのウォーキング
- ②ハザードマップの活用
- ③コミュニティセンターに異世代交流の場(サロン)の開設

##### < 中期(5～9年) >

- ①文化的作品の作品展の開催  
(絵画、写真、書道、俳句、短歌等)
- ②区対抗グラウンド・ゴルフ大会の開催

##### < 長期(10年以上) >

- ①高齢者への車代行(病院、買い物等)
- ②空き地、耕作放棄地、空き家対策

# 八代おもいやりネット



## 地区の概況

人口	730 人	小学校	八代小学校（児童数36人）
世帯数	234 世帯	中学校	なし（日高東中学校区）
高齢化率	35.2 %	幼稚園	なし
集落数	9	保育所	八代保育園（園児数75人）
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 27	5	第1回検討委員会	モデル地区の取組みを開始時期の検討
	6	第2回検討委員会	モデル地区開始10月に向けての計画
	7	第3回検討委員会	区まわり説明会開催決定
	9	第4回検討委員会 第5回検討委員会	区まわり説明会日程調整と名称について 区まわり説明会実施計画次第と名称募集について
	10	区まわり説明会① 朝来市与布土自治協議会視察 第6回検討委員会	小河江区を川きりに26日、11/1、8、15、22 与布土自治協議会の取組みを聞く 区まわり説明会のまとめ反省会
	H 28	1	第7回検討委員会
2		第1回座談会	八代の未来を考える座談会
3		第2回座談会	八代の未来を考える座談会、名称決定「八代おもいやりネット」
4		第3回目座談会 鍋を囲んで座談会	八代の未来を考える座談会 鍋を囲んで意見交換会
6		第1回準備委員会 区回り説明会②	組織、規約と今後の取組みについて、はじめの第1歩計画作成 9区。組織、規約、はじめの第1歩計画説明
9		第2回準備委員会	委員の選出状況と規約等の見直し、今後の取組み
11		第1回コミュニティ委員研修会 第3回準備委員会	市より説明、今までの取組、今後の取組みについて 組織、規約・総会と今後の取組みについて
12		第2回コミュニティ委員研修会 準備委員会総会・懇親会	各部に分かれてワークショップと部長・副部長選出 役員選出と今後の取組みについて
H 29	1	第3回コミュニティ委員研修会	事業の見直しと計画について
	2	第4回コミュニティ委員研修会	事業計画と内容について
	3	八代おもいやりネット 設立	

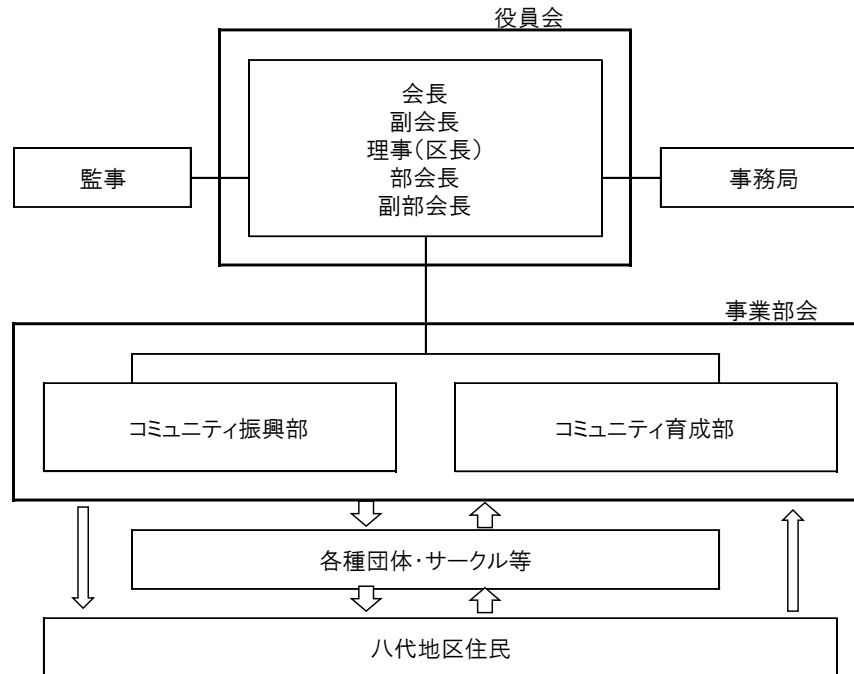
## 組織の状況

代表者名 赤坂 健司

設立年月日 H29.3.22

役員体制 会長1名、副会長（会計）1名、理事（区長）9名、監事2名、部長2名、副部長2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①三世代ふれあい夏まつり
- ②やしろオクラ
- ③か行庵
- ④木曜カフェ

### 地域防災

- ①普通救命講習会
- ②消防避難訓練
- ③消防団による活動

### 地域福祉

- ①一人暮らしの集い
- ②サロン活動
- ③敬老会
- ④防犯活動

### 人づくり

- ①運動会
- ②グラウンドゴルフ大会
- ③ゴルフ大会
- ④作品展・菊花展
- ⑤一斉ラジオ体操
- ⑥八代っ子自然ひろば
- ⑦菊づくり交流
- ⑧放課後子ども教室
- ⑨門松づくり
- ⑩中学生の集い
- ⑪八代家庭読書の日（毎月23日）
- ⑫歩こう会
- ⑬公民館各種教室

## コミュニティの取組み



平成 27 年 5 月より検討委員会として開始し、10 月からモデル地区として活動を行っています。平成 28 年 4 月からは準備委員会として活動を行い、第 3 回目のワークショップの終了後、名称募集参加者とワークショップ参加者を集め「鍋を囲んで座談会」を行いました。その後、「はじめの第一歩計画」をまとめ上げ、組織・規約案をまとめ、6 月から 7 月にかけて第 2 回目の区回りをを行い、コミュニティ委員は 9 月末、代議員は平成 29 年 1 月末までに選出していただくよう依頼をしました。

11 月からコミュニティ委員を招集し、今までの流れ・これからの取り組みなど説明しながら研修会を行い、事業の見直しと検討、4 月からの計画・予算について話し合いながら行っています。会長、副会長、部長・副部長を決め、3 月の設立総会に向けて内規、予算についても検討を行いました。

平成 28 年 3 月に木曜カフェをはじめ、1 年間で 1,900 人以上の来客があり、地域の交流の場となっており、広報の役割にも大きく貢献をしています。八代小学校との菊作り交流も行い、地域の方の協力もときれいな花が咲きました。

## はじめの第一歩計画

「助け合い、つないで守る、わが地域」を合言葉に、各集落の弱まった部分を補い合い、地域の団結による支えあいや助け合いのしくみづくりと、活気あふれる地域づくりに向けて計画を策定しました。

		事業内容	短期計画	中期計画	長期計画	
コミュニティ振興部	地域振興分野	夏祭りのフリーマーケット	○			
		カブトムシの養殖販売	○			
		100円喫茶で地元食材・作品の展示販売	○			
		カサノフタ峠の埋立地の利用計画の検討	○			
		空家、空地の調査		○		
		保育園の人気を活用した地域づくり		○		
		都市との交流による地域の活性化		○		
		住宅用地確保の推進、人口増加をめざす			○	
		特産物への取り組み			○	
		高速道路ガード下地利用、グラウンドゴルフ場設置			○	
	地域福祉分野	八代地区全体で敬老会を開催する	○			
		交流ひろばで100円喫茶をする	○			
		イナカーの乗車率向上	○			
		八代お助けクラブ	○			
		中高年の集いの場所づくり		○		
		高齢者のための必需品の販売		○		
人づくり分野	介護関連の相談窓口の設置		○			
	八代タクシー		○			
	特養等の介護施設の誘致または設置			○		
コミュニティ育成部	地域防災分野	防災のための住民の住所氏名の名簿作成	○			
		各区の自主防災会の連絡会の設置	○			
		消防署と緊急時の勉強会を持つ	○			
		街灯新設工事	○			
		防災マップの作成		○		
		緊急時用のボランティア部隊の組織化		○		
		八代地区民用の緊急用物資の保管場所の確保			○	
		区内道路拡幅整備			○	
		人づくり分野	大岡山ハイキングの再復活を検討する	○		
			A L T（外国語指導助手）との交流会を考える	○		
	子ども教室で英語教室を検討する		○			
	八代地区内の区民駅伝大会を開催する			○		
	地域カルタの作成			○		
	学校卒業後一時的に離れた若者にUターンさせる魅力を研究する				○	

短期計画：1～2年後、中期計画：5年後、  
長期計画：10年後

# 日高地区コミュニティ 「きらめき日高」



日高地区

## 地区の概況

人口	7,849 人	小学校	日高小学校（児童数453人） 静修小学校（児童数45人）
世帯数	3,000 世帯	中学校	日高東中学校（生徒数348人）
高齢化率	28.0 %	幼稚園	日高幼稚園（園児数38人）
集落数	18	保育所	蓼川保育園（園児数151人）、蓼川第二保育園（園児数85人）、静修保育園（園児数55人）
		認定こども園	なし

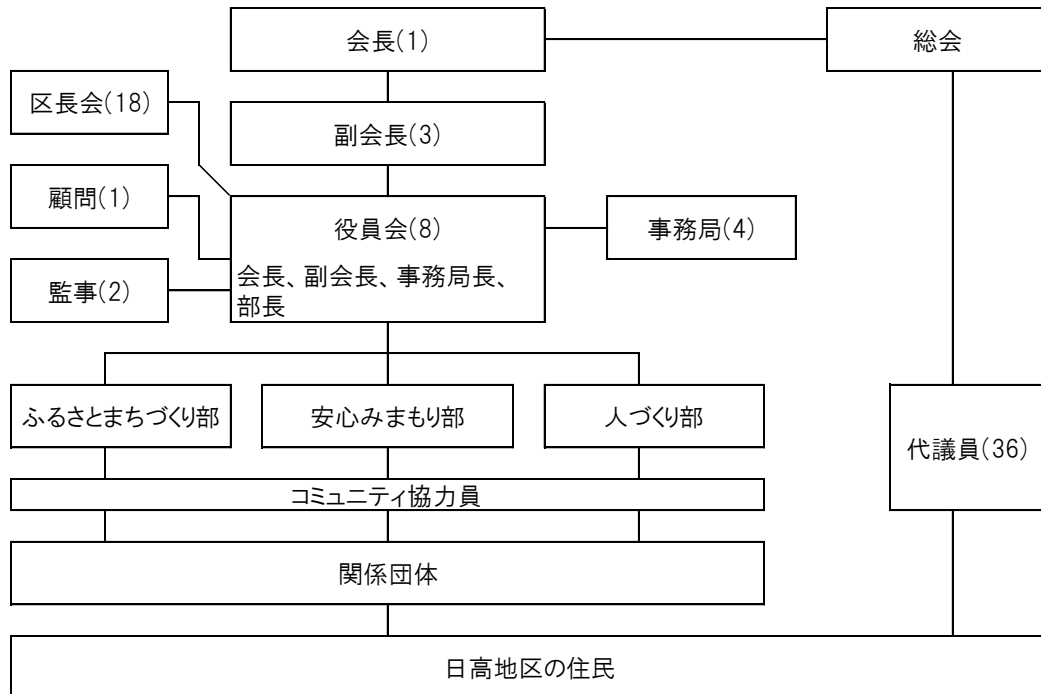
## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 27	4	日高地区区長会	新しい地域コミュニティの説明、検討委員会メンバーの承認
	4~11	第1回～第9回コミュニティ検討委員会	状況報告、検討委員会の役員選出、組織・地域づくりの方向性検討ほか
	8	第1回「新しい日高地区をつくろう会」	「新しいコミュニティ」説明、ワークショップ「お宝と課題」
	10	第2回「新しい日高地区をつくろう会」	「新しい日高地区コミュニティ」の講演会、今後のスケジュール
	12	第1回設立準備委員会	経過報告と準備委員の役割、規約の制定、役員の承認
H 28	1	第2回設立準備委員会	ワークショップ「どんな町に暮らしたいか」
	2	第3回設立準備委員会	新コミュニティに向けてすべきこと、12月までのスケジュール
	3	第4回設立準備委員会	ワークショップ「まちづくりの目標と課題」
	3	第5回設立準備委員会	「まちづくりの課題」の現状把握
	4	第6回設立準備委員会	ワークショップのまとめ、部会の名称、防災イベントについて
	5	第7回設立準備委員会	コミュニティ組織のあり方について
	5	第8回設立準備委員会	部会数と名称、組織の検討①
	6	第9回設立準備委員会	組織の検討②
	6	第10回設立準備委員会	組織の検討③
	7	第11回設立準備委員会	規約について①、組織の検討④
	7	第12回設立準備委員会	規約について②、組織の検討⑤
	8	第13回設立準備委員会	防災イベント「みんなで防災、はじめの一歩」、今後の進め方について
	8	防災イベント「みんなで防災、はじめの一歩」	
	9	第14回設立準備委員会	名称とキャッチフレーズの決定、住民への概要説明の時期と方法
	9	第15回設立準備委員会	規約について③、新組織の人選
9	第16回設立準備委員会	新組織構成の検討	
10	第3回「新しい日高地区をつくろう会」	住民と各種団体代表への説明、コミュニティ落語	
10	第17回設立準備委員会	設立総会までの取り組みの検討	
11	第18回設立準備委員会	規約と組織の改正について	
11	第19回設立準備委員会	設立総会について	
12		日高地区コミュニティ「きらめき日高」設立	

## 組織の状況

代表者名 小西 康夫  
 設立年月日 H28.12.7  
 役員体制 会長1名、副会長3名、部長3名、事務局長1名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①きらめき交流グラウンドゴルフ大会
- ②日高ふれあい運動会
- ③日高ふるさとまつり
- ④日高地区区長会長杯 大縄とび大会

### 地域防災

- ①防災研修  
(防災マップの活用、出前講座、普通救命講習、消防訓練)
- ②防災イベント

### 地域福祉

- ①人権研修
- ②福祉情報収集と共有

### 人づくり

- ①年少リーダー研修会
- ②生涯学習講座
- ③子ども体験学習
- ④地域人材バンク
- ⑤りんごクラブ(乳幼児サークル)
- ⑥日高老人学園
- ⑦異世代交流会

## コミュニティの取組み



平成 28 年 12 月 7 日、日高地区コミュニティ「きらめき日高」を設立。『みとめ合い、ささえ合い、みんなでつくる日高地区』をキャッチフレーズに、5 つの基本方針を推進します。昨年 1 年間の準備委員会では「まちづくりの課題」のワークショップを始め、規約・組織図を作成しました。8 月には防災イベント「みんなで防災、はじめの一步」を開催し、約 400 人の方に参加していただき、防災の取り組みを試みました。

また、地区課題について検討委員会メンバーや関係団体の皆さんで学ぶ「新しい日高をつくろう会」を計 3 回開催しました。10 月に開催した「第 3 回新しい日高地区をつくろう会」では、地域住民と各種団体へ経過報告と新組織「きらめき日高」の概要を説明しました。今後は、ふるさとまちづくり部・安心みまもり部・人づくり部の 3 部で、はじめの第一歩計画づくりを推進し、自主的な地域づくりを進めていきます。

## はじめの第一歩計画

### ◇地域づくりのキャッチフレーズと基本方針

『みとめ合い、ささえ合い、みんなでつくる日高地区』をキャッチフレーズに、次の 5 項目を「目ざすまちづくりの基本方針」とし、地道に持続的に地域づくりを推進します。

- |                           |                             |
|---------------------------|-----------------------------|
| (1) 資源や伝統を活かし、活気のあるまち     | (2) みんなが健康で支え合い、いきいきと暮らせるまち |
| (3) 人がつながり、いざという時の備えのあるまち | (4) 人が育ち、地域の課題に柔軟に立ち向かうまち   |
| (5) 情報が整理され、見通しのよいまち      |                             |

### ◇3つの部の連携による計画推進

新しい日高地区コミュニティ「きらめき日高」は、次の 3 つの部により組織し、3 部は相互に連携協力し合いながら、事業計画の推進に努めます。

#### ふるさとまちづくり部

◎ 体育祭や文化祭や伝統行事を通して地域の活性化を図るとともに、住環境の整備や町おこしなども推進する

#### 安心みまもり部

◎ 介護支援、福祉人権啓発、防災減災、交通安全、防犯などを推進する

#### 人づくり部

◎ 地域への愛着醸成、担い手育成、青少年健全育成、子育て支援、健康推進、人権啓発、生涯学習、人材バンクづくりなどを推進する



# コミュニティ三方



## 地区の概況

人口	2,690 人	小学校	三方小学校（児童数123人）
世帯数	943 世帯	中学校	日高西中学校（生徒数106人）
高齢化率	36.7 %	幼稚園	なし
集落数	16	保育所	なし
		こども園	みかたの森こども園（園児数86人）

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容	
H 27	3~7	第1回～第6回地域コミュニティ三方検討委員会	検討課題の整理・確認、組織構成、設立準備会検討ほか	
	4	区長アンケート、区民アンケート	各区の世帯・組織・行事、三方地区の自慢・課題等の把握	
	5	事業所調査	地区内各事業所の規模・事業所内容等の把握	
	6	コミュニティ組織設立に向けた説明会	モデル地区としての取組、アンケートについて	
	7	小中学生向けアンケート	地域への思い、地域のためにできること等	
		第1回地域コミュニティ三方準備会	構成、組織、規約、事業計画	
	8	三方地区BBQまつり	バザー、ステージイベント、アンケート	
	11	第1回地域コミュニティ三方写真コンテスト	文化作品展にて展示、来館者による投票	
	H 28	2	第2回地域コミュニティ三方準備会	ワークショップについて
		3	第1回ワークショップ	地域の課題
5		第4回地域コミュニティ三方準備会	H27年度決算報告、H28年度事業計画	
6		第5回地域コミュニティ三方準備会	コミュニティ説明会の報告、第2回ワークショップ	
		第2回ワークショップ	三方地区の将来像	
7		第6回地域コミュニティ三方準備会	第3回ワークショップ、写真展	
		第3回ワークショップ	取り組むべき事業・行事等具体的に検討	
8		第7回地域コミュニティ三方準備会	第4回ワークショップの主な内容、備品購入報告、写真展	
9		第8回地域コミュニティ三方準備会	みかた祭り、部会の構成	
		第4回ワークショップ	コミュニティで取り組むべき事	
		みかた祭り	模擬店、ステージ	
11	コミュニティ準備会役員会	みかた祭り、写真展振り返り、設立総会について		
	第9回地域コミュニティ三方準備会	みかた祭りの振り返り、設立総会について		
12	第10回地域コミュニティ三方準備会	コミュニティ三方設立総会について		
		コミュニティ三方 設立		

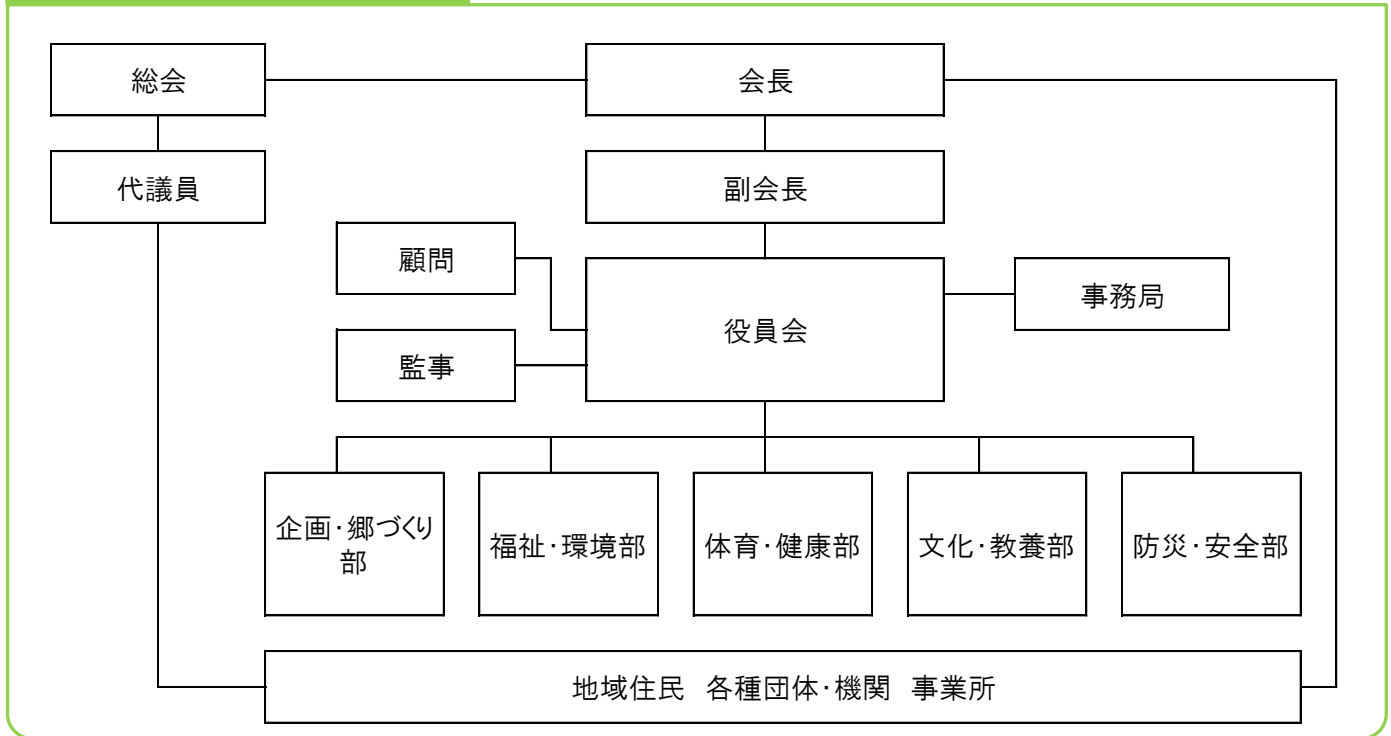
## 組織の状況

代表者名 中西 正博

設立年月日 H28.12.21

役員体制 会長1名、副会長2名、事務局長（会計）1名、監事2名、部長5名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①子どもの登下校見守り活動
- ②子ども放課後児童クラブ
- ③防犯活動
- ④三方ウォッチング
- ⑤三方写真コンテスト
- ⑥コミュニティだよりの発行
- ⑦みかた祭り

### 地域福祉

- ①敬老会
- ②人権講演会
- ③人権部部員研修会
- ④サロン活動

### 地域防災

- ①消防訓練
- ②防災訓練
- ③普通救命講習
- ④消防団による活動

### 人づくり

- ①球技大会
- ②綱引き大会
- ③運動会
- ④駅伝大会
- ⑤文化作品展
- ⑥研修旅行
- ⑦キックベースボール大会
- ⑧ちびっ子カーニバル
- ⑨新春子ども大会
- ⑩夏休みラジオ体操
- ⑪公民館各種教室

## コミュニティの取組み



平成 27 年度に引き続き、平成 28 年度もコミュニティ三方の機運を高めるべく「みかた祭り」を開催しました。

今回は、秋の文化作品展と写真コンテストを同時開催したところ、雨模様にもかかわらず 600 人を超える来場者がありました。

実行委員会を立ち上げたことで、送迎バスの手配やチラシ作成・模擬店の調整など全体の運営をスムーズに行うことができました。また出展ブースを区ごとに設け、それぞれの区が主体的に運営を担いました。

その他に、地区内外の事業者の皆さまにご支援をお願いして、イベントの目玉となる「景品付きもちまき大会」を行い、ステージでは、「みかたの森こども園」園児の可愛い演技や三方小唄保存会の皆さんの踊り等、三方地区のあれこれぎゅっと詰まった祭りとなり、大いに盛り上がり、有意義な催しになりました。

## はじめの第一歩計画（抜粋）

### みんなでかんがえたのしい郷づくり「できることから一歩ずつ」

#### ■コミュニティ三方の目指すこと(三方の郷づくり)■

- ★阿瀬川、稲葉川などのきれいな清流と、桜並木や紅葉など四季折々の自然の豊かさを大事にする地域をめざします。
- ★子どもたちが元気で遊び、お年寄りが頑張って生きがいを持って働くことができ、子どもからお年寄りまで皆で集い支え合って暮らせる安全安心な地域をめざします。
- ★若い人たちの働く機会があり、買い物や交通の不便さや空き家問題が解消されていく地域をめざします。
- ★豊かで魅力と活力があって、住民みんなの笑顔があふれ、三方に住みたいと思う人が多くなる地域をめざします。

#### <これからの主な取組イメージ>

(これまでの活動やみかた祭りを除く)

#### 1 短期(1~2年)で取組開始が可能な活動

空き家調査、防犯パトロール、防災マップの作成・配付 など

#### 2 中期(3~5年)で取組開始が可能な活動

オープンガーデン、観光案内や情報発信の機能化、フリーマーケット、各種ギネス大会

#### 3 長期(6~10年)で取組開始が可能な活動

沿道花いっぱい運動、歴史や文化をまとめ残す活動、ハイキングコースやウォーキングコースの設置とマップ作成、耕作放棄地の調査

#### 4 長期(10年以上)で取組開始が可能な活動

特産品等の商品化、農業振興、三方ステーションの設置

# 桜・清流の郷 きよたき



## 地区の概況

人口	1,554 人	小学校	清滝小学校（児童数100人）
世帯数	576 世帯	中学校	なし（日高西中学校区）
高齢化率	35.8 %	幼稚園	なし
集落数	7	保育所	なし
		こども園	きよたき認定こども園（園児数53人）

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H27	7	第1回検討委員会	準備委員会設立の検討
	8	第1回準備委員会	役員・規約・アドバイザー・関係団体説明会開催の検討
	10	第2回準備委員会	関係団体説明会について・スケジュールの検討
	11	関係団体説明会	説明「新しい地域コミュニティについて」
	12	第3回準備委員会	今後のスケジュール・区長アンケートの実施
H28	1	第4回準備委員会	基本となる取り組み(組織図)・規約の検討
	1	第5回準備委員会	組織図・規約・組織の名称決定方法の検討
	3	第6回準備委員会	座談会(ワークショップ)、今後の取組みについて
	3	第1回清滝の明日を語る座談会	地区の良いところ、困っているところ、昔は良かったところについて
	4	第7回準備委員会	H27年度決算見込み、H28年度予算案について
	4	第2回清滝の明日を語る座談会	地域の魅力や問題点、今後の対策や方向性、組織の名称について
	4	第8回準備委員会	27年度決算、監査報告、28年度予算
	5	第3回清滝の明日を語る座談会	今後の対策や方向性についての具体的な検討
	5	第9回準備委員会	交流・啓発イベント、組織の名称について
	6	第10回準備委員会	はじめの第一歩計画、組織の名称について
	7	第11回準備委員会	交流・啓発イベントの詳細、組織図、部の構成について
	7	溶岩流ウォークとそうめん流し	交流・啓発イベント
	8	第12回準備委員会	今後の事業、組織図、部の構成、規約案について
	9	第13回準備委員会	はじめの第一歩計画、役員選考、視察について
	11	第14回準備委員会	役員選考、設立総会、役員任期について
12	第15回準備委員会	役員選考、総会日程、部員の選出等について	
H29	3	桜・清流の郷 きよたき 設立	

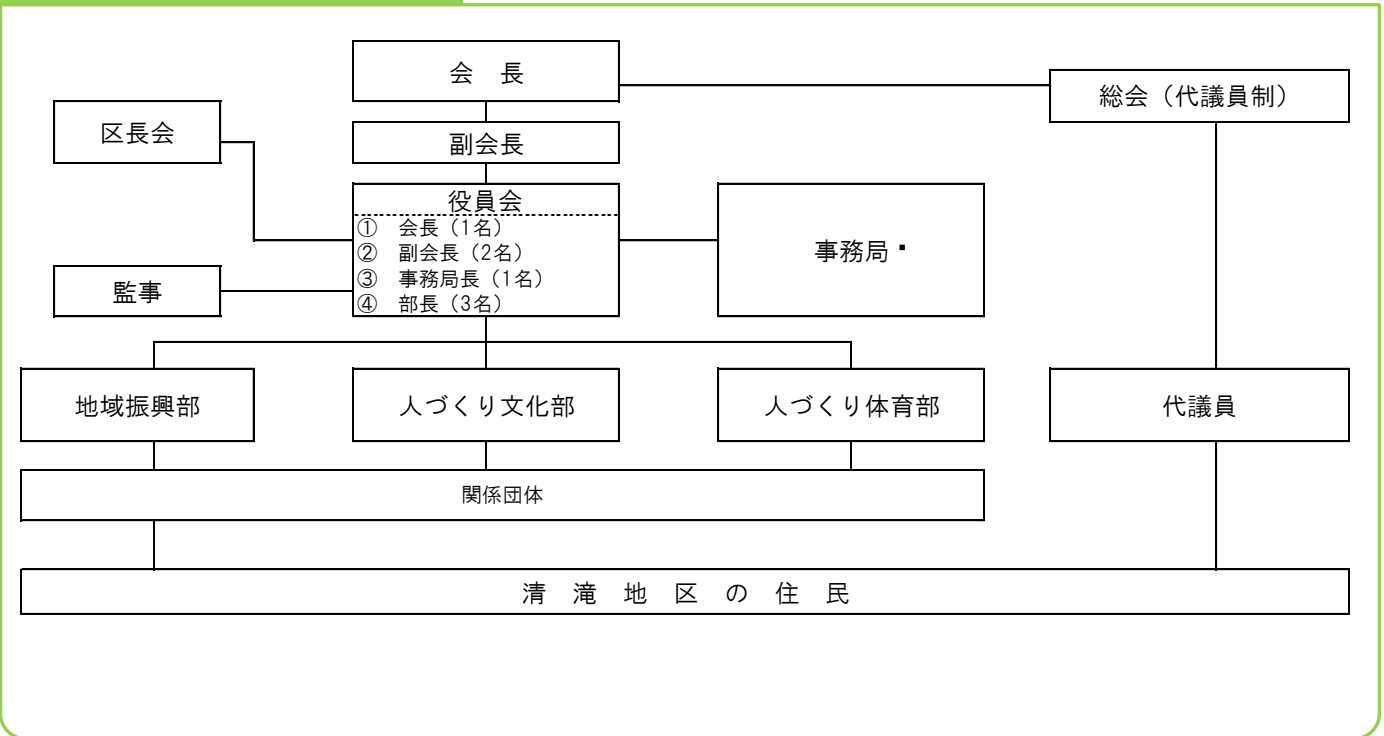
## 組織の状況

代表者名 野口 逸敏

設立年月日 H29.3.15

役員体制 会長1名、副会長2名、部長3名、事務局長（会計）1名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ① 準備委員会だより発行
- ② 清滝桜まつり
- ③ 清滝溶岩流まつり
- ④ 子どもの見守り活動
- ⑤ 神鍋高原線 200円バス利用促進

### 地域防災

- ① 消防団による活動
- ② 防災訓練
- ③ 救命講習会

### 地域福祉

- ① 敬老会
- ② サロン活動
- ③ おひとり住まいの高齢者交流会

### 人づくり

- ① 文化作品展
- ② ソフトバレーボール大会
- ③ 体育祭
- ④ 少年少女キックベースボール大会
- ⑤ ちびっこカーニバル
- ⑥ 夏休みラジオ体操
- ⑦ 乳幼児親子サークル
- ⑧ 公民館各種教室

## コミュニティの取組み



清滝地区の現状や住民の皆さんが感じている課題について意見を出し合い、今後の対策や具体的な検討を行うため、平成28年3月から3回に渡り「清滝の明日を語る座談会」と題したワークショップを開催しました。その結果を踏まえて「はじめての第一歩計画」を策定するとともに、地域の皆さんにコミュニティに対する関心を持ってもらうために、新しい地域コミュニティ組織の名称を募集しました。座談会や準備委員会で協議を重ねた結果、清滝のシンボルである樹齢90年の桜と、神鍋山の麓から湧き出る清流を由来とする「桜・清流の郷きよたき」に決まりました。準備会の意見も踏まえ、7月には交流と地域コミュニティのPRを兼ねて「溶岩流ウォークとそうめん流し」を開催し、子供から大人まで100名を超える参加で大いに盛り上がりました。

準備委員会はこれまで15回実施し、平成29年4月に向けて役員体制を整え、組織図や規約をまとめました。

## はじめての第一歩計画

### 策定手法

アドバイザー協力のもと、計3回のワークショップを経て、地区住民から意見を集め、今後の計画や6つのシナリオを定めた。

### 具体的な方向性 ～6つのシナリオ例～

具体的な事業の方向性を示すため、開催時期や場所など詳細に定めた。

【神鍋溶岩流、桜、雲海等名所をPR】

～溶岩流まつり・ジオパークまつり～

【お年寄りに優しい地区づくり】

～敬老会、古民家カフェの実施～

【空き家の利用】

～移住者、企業、大学を誘致～

【神鍋線バスを守る】

～200円バスに乗って火山まつりへ～

【いつでも楽しいイベントの実施】

～お見合い・婚活イベント～

【地域資源の存続・再発見】

～スタンプラリー・営農を続け獣害を防ぐ～

# 西気明日のいしずえ会



## 地区の概況

人口	791 人	小学校	なし（清滝小学校区）
世帯数	287 世帯	中学校	なし（日高西中学校区）
高齢化率	36.2 %	幼稚園	なし
集落数	7	保育所	なし
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 25	6	活性化委員会設立	委員の選任
	7	ワークショップ	ガイドツアー企画会議
	8	トナリの村ガイドツアー	まちむらたんけん
	10	ワークショップ	西気の「幸せ」と「お悩み」
	11	ワークショップ	悩みを解決するアイデア会議
	12	第2回活性化委員会 ワークショップ	今後の活動の検討 チーム発表会、計画のまとめ
H 26	2	第3回活性化委員会 視察	県との協議 三田市(ふれあい居酒屋)
	3	第4回活性化委員会 地域づくり講演会 西気がっせえ化計画の策定	平成27年度の活動について 橋本祥宏氏(資母地区)
	4	第5回活性化委員会	活動計画の検討
	5	第6回活性化委員会	コミュニティ委員の選出
	6	第7回活性化委員会 第8回活性化委員会	規約・組織の検討 事業計画・予算案の検討
	7	西気明日のいしずえ会 設立	

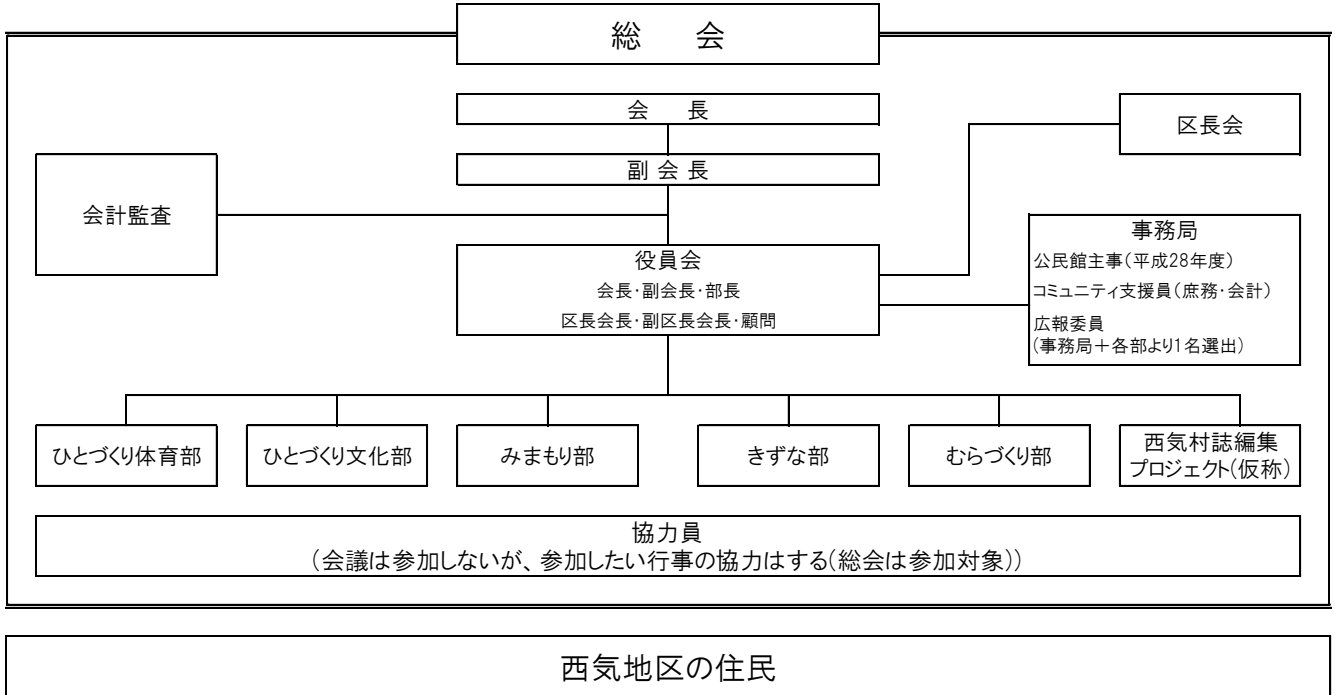
## 組織の状況

代表者名 田中 昭一

設立年月日 H26.7.18

役員体制 会長1名、副会長2名、役員若干名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①西気地区写真コンテスト
- ②神鍋高原線 200 円バス利用促進
- ③広報紙「西気明日のいしずえ」発行
- ④西気明日のいしずえ会だより発行
- ⑤地域資源の再確認勉強会
- ⑥神鍋大根プロジェクト
- ⑦にしっぴーポイント

### 地域防災

- ①普通救命講習
- ②消防訓練
- ③消防団による活動
- ④防災出前講座

### 地域福祉

- ①西気地区敬老会
- ②お助け隊「まごの手」

### 人づくり

- ①西気地区親睦交流会
- ②西気ふれあいの集い
- ③グラウンドゴルフ大会
- ④西気地区運動会
- ⑤西気地区作品展
- ⑥アジャタ大会
- ⑦顔見知りラジオ体操
- ⑧キックベースボール大会
- ⑨ちびっこカーニバル
- ⑩水曜・土曜教室
- ⑪人権講演会
- ⑫公民館各種教室



## コミュニティの取組み



公民館からコミュニティ組織へ移行される平成29年度を見据えて、平成28年度から公民館と一体となった組織として再編成しました。これにより、これまでコミュニティが行ってきた事業に加えて、運動会や作品展等の様々な公民館事業を、コミュニティの活動として行いました。

平成27年度に引き続き行った「神鍋大根プロジェクト」では、種まきや収穫体験をこども園や老人会等と一緒に実施したことで、世代間交流に繋がりました。これ以外にも、収穫体験即売会を開催したところ、地区内外から多くの方に来ていただき、大盛況となりました。

新たな取り組みとして、豊岡市が行っている健康・環境ポイント制度に倣った「にしっぴーポイント」を実施しています。その仕組みは、ポイント対象事業に参加することでポイントが貯まり、貯まったポイントを地区内の協賛店で地域通貨として使えるというものです。これにより、地区内での購買・消費の促進と、事業参加による健康増進を図ります。

## はじめの第一歩計画

### 西気がっせえ化計画

おかえり、ただいま。

西気の風景や人に、そんな声をかけあえるような”帰りたくなる”地域を目指して

#### 策定経緯

「人口減少、高齢化による地域力の低下」、「少子化による学校統合」、「生活基盤施設の減少」、「日常生活に支障」など地区の厳しい現実を打開するため、兵庫県の「ふるさと自立計画推進モデル事業」に取り組み、県の派遣アドバイザー（若狭健作氏）の指導のもと、平成26年3月に策定。

#### 策定手法

「いいところ探し ガイドツアー企画会議」、「トナリの村ガイドツアー（まちむらたんけん）」、「西気で感じる幸せとお悩み会議」、「お悩みを解決するアイデア会議」、「チーム発表会＋計画のまとめ」を主題とした計5回のワークショップを開催し、計画としてまとめた。

#### 計画概要

「ヒトプロジェクト（人のつながり演出する）」、「暮らしプロジェクト（これからの暮らし支える）」、「自然プロジェクト（自然の恵み活かす）」の3部門で、「今すぐできそうな事業」、「1年後の実現を目指す事業」、「2年後の実現を目指す事業」、「いつかはやってみたい事業」を盛り込んだ計画となっている。

# 弘道コミュニティ協議会



## 地区の概況

人口	4,001 人	小学校	弘道小学校（児童数221人）
世帯数	1,603 世帯	中学校	出石中学校（生徒数259人）
高齢化率	31.4 %	幼稚園	出石幼稚園（園児数 62人）
集落数	16	保育所	出石愛育園（園児数131人）
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 26	2	第1回設立検討会	設立検討会の設置、役員体制
	4	第2回設立検討会	設立検討会規約の可決
	5	第3回設立検討会	協議会設立のプログラム
	6	第4回設立検討会	アドバイザーとの懇談会
	7	第5回設立検討会	組織図の検討
		第6回設立検討会	協議会設立のプロセス
	8	第7回設立検討会	組織図、会則の検討
		第8回設立検討会	構成員選出方法の検討
	9	第9回設立検討会	各種団体への説明会計画
	10	第10回設立検討会	作野先生との意見交換会
		第11回設立検討会	ワークショッププログラム検討
		11	第1回ワークショップ
	12	第2回ワークショップ	地区の将来像設定
H 27	1	第12回設立検討会	地域づくりの意見交換
		第3回ワークショップ	まちづくり活動の体系整理
	2	第4回ワークショップ	まちづくり活動の企画①
		第13回設立検討会	地域づくり計画の内容確認
		第5回ワークショップ	まちづくり活動の企画②
	3	第14回設立検討会	地域づくり計画説明会の検討
		第15回設立検討会	体系・組織構成の検討
	4	第6回ワークショップ	地域づくり計画の確認と合意形成
	6	第16回設立検討会	組織構成の検討
		第17回設立検討会	体系・組織構成の検討
	7	第18回設立検討会	組織構成と人選
8	第19回設立検討会	組織づくりと構成員	
	第20回設立検討会	設立総会までの取組みの検討	
9	第21回設立検討会	各種団体代表への説明	
10	第22回設立検討会	設立総会について	
	11	弘道コミュニティ協議会 設立	

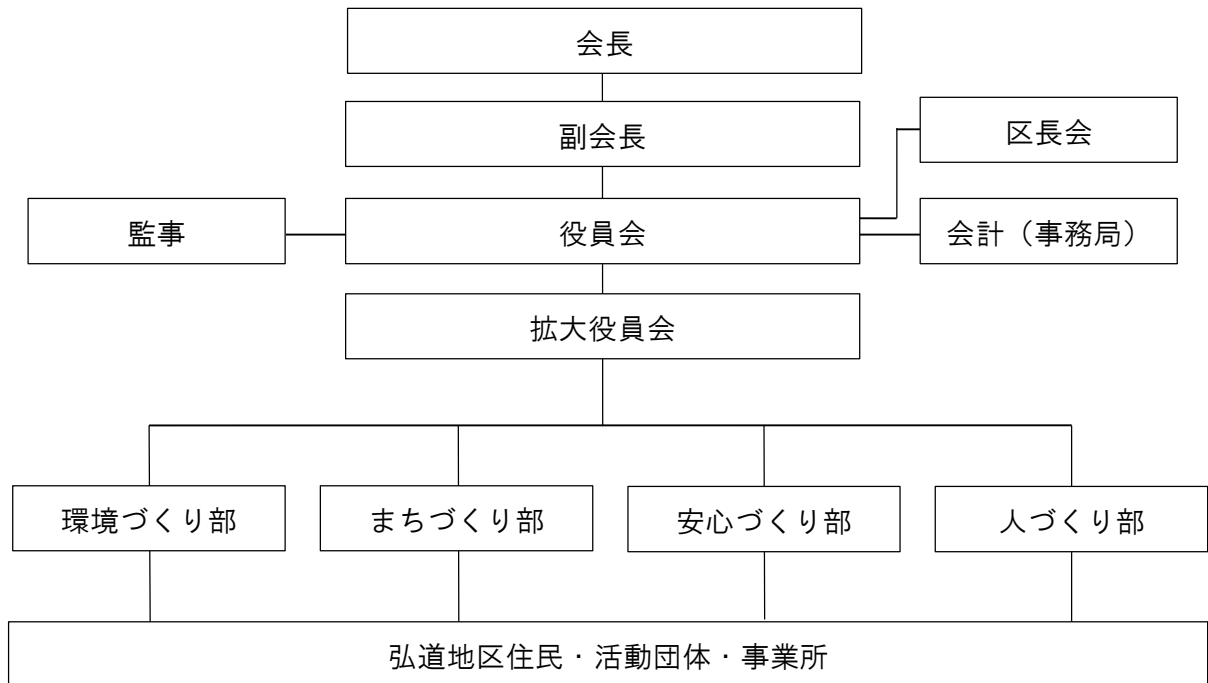
## 組織の状況

代表者名 片山 正之

設立年月日 H27.11.19

役員体制 会長1名、副会長2名、会計1名、部会長4名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①城下町歴史探訪
- ②谷山川の清掃活動、谷山川ウォッチング
- ③子ども見守り隊
- ④区民芸能祭
- ⑤入佐山公園の整備活動
- ⑥有子山登頂ツアー

### 地域防災

- ①普通救命講習
- ②支え合いマップづくり
- ③消防団による活動
- ④防災学習会

### 地域福祉

- ①敬老会
- ②サロン活動
- ③元気体操
- ④学校修理ボランティア活動
- ⑤カフェの開催

### 人づくり

- ①町民運動会
- ②ソフトバレーボール大会
- ③ソフトボール大会
- ④グラウンドゴルフ大会
- ⑤親善ゴルフ大会
- ⑥ふれあいコンサート
- ⑦土曜チャレンジ学習
- ⑧読み聞かせボランティア活動
- ⑨乳幼児の親子学習サークル
- ⑩公民館各種教室
- ⑪ふれあい作品展
- ⑫サークル活動発表会

## コミュニティの取組み



弘道地区では、平成 27 年 11 月に「弘道コミュニティ協議会」を設立し、新しい地域コミュニティ活動がスタートしました。環境づくり部・まちづくり部・安心づくり部・人づくり部それぞれの部会で実行計画・事業企画・予算等を作成し取組んでいます。

平成 28 年度の事業について、環境づくり部では、入佐山公園の整備活動・谷山川の清掃活動・自然の魅力を再発見『こうどうてくてくまっぷ』を作成しました。

まちづくり部では、地区住民の優れた芸能文化の発表と交流『弘道地区区民芸能祭』を出石永楽館で開催しました。

安心づくり部では、いざという時のための防災学習会を実施し、誰もが気軽に集まりゲームやおしゃべりで楽しく過ごせる『すまいるカフェ』を毎月開催しています。

人づくり部では、従来の公民館事業の継続など「地域づくり計画」に基づいた活動に取組みました。

このように今後も継続して、より一層充実したコミュニティ活動に繋げていきます。

## はじめの第一歩計画

### 目標とする将来像

#### ①自然環境

- ・谷山川の清流、有子山の緑、四季折々の豊かな自然、美しい空気と水に恵まれた、彩りのある弘道

#### ②歴史・文化環境

- ・出石城下の高い歴史性と弘道館精神に代表される文化性に育まれた、美しく趣のある弘道

#### ③生活環境

- ・水害や火災等の災害に強く、子どもからお年寄りまで楽しく安心して暮らせる弘道

#### ④生業・地域振興

- ・歴史的街並み、永楽館等の貴重で多様な地域資産を上手く活用し、賑わい活気（ビジネス）あふれる弘道

#### ⑤教育・福祉環境

- ・充実した学びやふれあいの中で、心も体も元気に（生涯）過ごせる弘道

#### ⑥人づくり、コミュニティづくり

- ・優しい気持ちとお互いを尊重した繋がりで支え合える弘道

### 環境づくり部

- ◎豊かで安全な山と川を子どもたちに（自然環境）
  - ・谷山川の清掃活動（谷山川を育む会への協力）
  - ・谷山川での水遊びの実施
  - ・16 区借用山林の保全活用（手入れと広葉樹の植樹）

### まちづくり部

- ◎弘道館の精神に学ぼう歴史・文化環境
- ◎観光と地域の生活を支える生業・地域振興
  - ・出石藩 弘道館精神の学習会の実施
  - ・城下町の歴史学習会の実施
  - ・有子山城跡・出石城跡の保存と活用
  - ・永楽館での芸能祭の開催
  - ・空き家活用の推進協力
  - ・出石盆おどりの継承
  - ・秋祭りだんじりの継承

### 安心づくり部

- ◎安全で安心して暮らせる生活環境
- ◎子どもからお年寄りまで楽しく暮らせる生活環境
  - ・高齢者の集える場所づくりの提供
  - ・独居高齢者の安全確認協力（民生児童委員との連携）
  - ・弘道地区合同避難訓練の実施
  - ・防災学習会の実施
  - ・見守りネットワークの構築（高齢者・子ども・障がい者）

### 人づくり部

- ◎生涯健やかに暮らすための教育・福祉環境
- ◎将来の弘道を担う人づくり、コミュニティづくり
  - ・従来の公民館活動の継続
  - ・世代間交流のできる場づくりの提供
  - ・子どもの体験学習の協力
  - ・人権学習会の実施

# はにの里菅谷協議会



菅谷地区

## 地区の概況

人口	667 人	小学校	なし（福住小学校区）
世帯数	236 世帯	中学校	なし（出石中学校区）
高齢化率	33.7 %	幼稚園	なし
集落数	5	保育所	なし
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 27	7	第1回コミュニティ設立準備会	規約、役員、提出資料の検討
		第2回コミュニティ設立準備会	準備会開催打合せ
		第3回コミュニティ設立準備会	規約、役員選出、活動計画、予算の協議
	8	地域アドバイザーとの打合せ	井原アドバイザーとの打合せ
		アドバイザーと関係者の勉強会	『地域コミュニティとは』についての勉強会
	10	第1回地域コミュニティ役員会	運営方法について
	11	第2回地域コミュニティ役員会	運営方針、事業展開について
12	第3回地域コミュニティ役員会	ワークショップについて	
H 28	1	第4回地域コミュニティ役員会	ワークショップの運営について
		第1回ワークショップ	地区の課題・現状の洗出し、未来について
	3	第2回ワークショップ	女性を対象にしたWS。女性目線での地区の課題を出し合う。
		第3回ワークショップ	にぎわい創出の場づくりについて
	4	コミュニティ総会	予算、事業計画の審議
7	視察研修会	京都府美山町へ	
	各部会(4部会)の開催	正副部長の選出、活動方針について	
H29	1	はにの里菅谷協議会 設立	

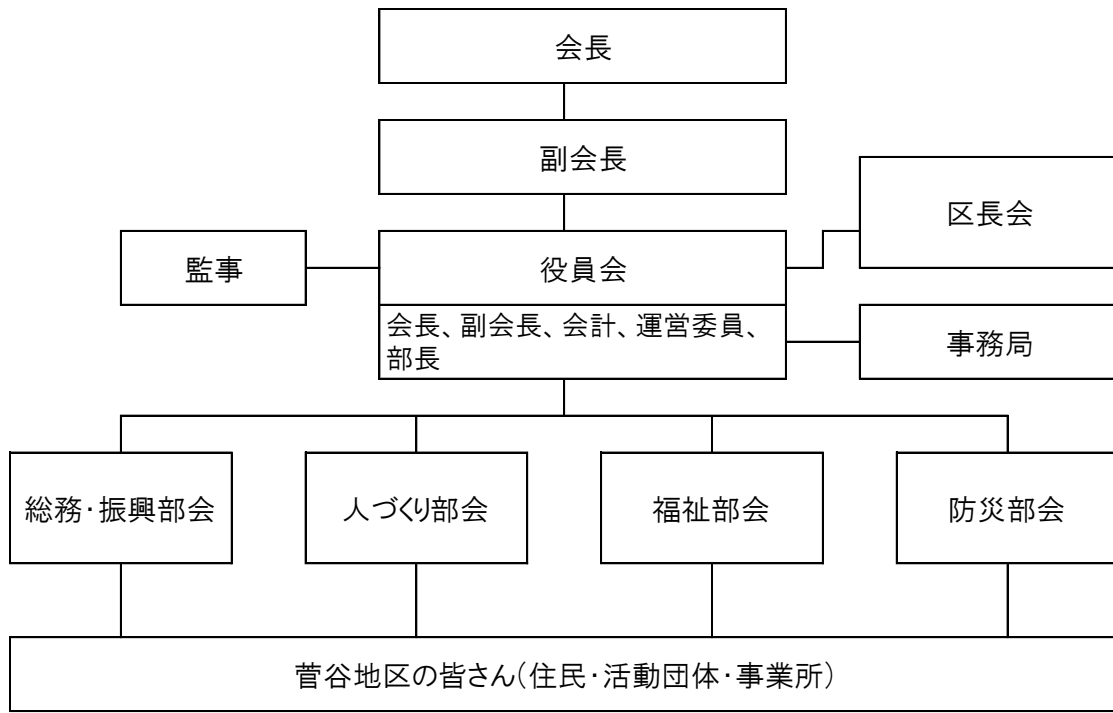
## 組織の状況

代表者名 國谷 吉三郎

設立年月日 H29.1.29

役員体制 会長1名、副会長2名、会計1名、運営委員9名、部会長4名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①子ども見守り活動
- ②放課後子ども教室

### 地域福祉

- ①敬老会
- ②サロン活動

### 地域防災

- ①救命、救急講習
- ②消防団による活動

### 人づくり

- ①運動会
- ②文化祭
- ③グランドゴルフ大会
- ④公民館各種教室

## コミュニティの取組み



平成 27 年 4 月からモデル地区に取り組んでいます。設立準備会には区長会をはじめ、公民館の部会長、民生委員、消防団、子ども会など各種団体から委員を選出し、新しい地域コミュニティ組織の検討や意識の高揚に努めています。子ども会からも委員を出すことで、若い人にも参加してもらいやすい体制にしています。3 月には女性対象のワークショップも実施しました。

今後はワークショップやアンケートを通じて地域の現状と課題の把握を行い、菅谷地区の目指すべき方向性を探っていきます。

また、住民へのさらなる周知のため、コミュニティだよりを発行しているほか、サロンなどで出前講座を行うことも検討しています。

さらに、地区内には誇れる地域資源がたくさんあるので、まち・むら探検もやっていきたいと考えています。

平成 29 年 1 月 29 日に、『はにの里菅谷協議会』の設立総会を開催し、本格的な活動を開始すべく、体制の確立と年度内の事業計画、予算・規約等の審議を行いました。新会長が就任され、新しい体制による菅谷地区のコミュニティがスタートしました。

## はじめの第一歩計画

# 福住ふれあい協議会



## 地区の概況

人口	1,476 人	小学校	福住小学校（児童数129人）
世帯数	535 世帯	中学校	なし（出石中学校区）
高齢化率	31.2 %	幼稚園	福住幼稚園（園児数28人）
集落数	9	保育所	なし
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H27	4~6	第1回～第6回協議会 区長会にて	新しいコミュニティについて検討、会長等、役員選出
	7	第1回設立準備会	規約、活動計画、役員、予算案等議案提示、承認
		第2回設立準備会	アドバイザー、井原友建氏初顔合わせと現状と課題
	8	第3回設立準備会	コミュニティとはなんぞえ?? 講義、コミュニティ推進横断幕・タイトル協議・決定
	9	第4回設立準備会	意見交換会(WS)の区民参加動員内容の検討
	10	第5回設立準備会	コミュニティとは? 座学 意見交換会50名参加
H28	11	第6回設立準備会	意見交換会の総括、コミュニティ組織の名称募集について
	1	第7回設立準備会	新会員紹介、取組経緯報告、組織、取組の役割検討
	4	第10回設立準備会	平成27年度の決算報告、役員変更について協議と承認
	5	第11回設立準備会	新しいコミュニティ組織設立工程表進捗確認、各組織の名称検討
	6	新しいコミュニティ出前講座開催	議題:自分たちの地域を自分たちで守るために!! 48名参加
	7	第12回設立準備会	新しいコミュニティ組織の名称選考—「福住ふれあい協議会」に決定
	8	名称作品記念品贈呈	「福住ふれあい協議会」の応募者に商品贈呈
	9	新しいコミュニティの区民説明会	名称、目的、事業、組織案説明と井原アドバイザーの講演82名参加
	12	第13回設立準備会	設立総会に関する協議 議案と議案内容について
H29	1	第14回設立準備会	設立総会に関する規約、予算修正協議
	2	第15回設立準備会	設立総会に関する次第進行の打合わせ(全体の流れ)
		福住ふれあい協議会 設立	



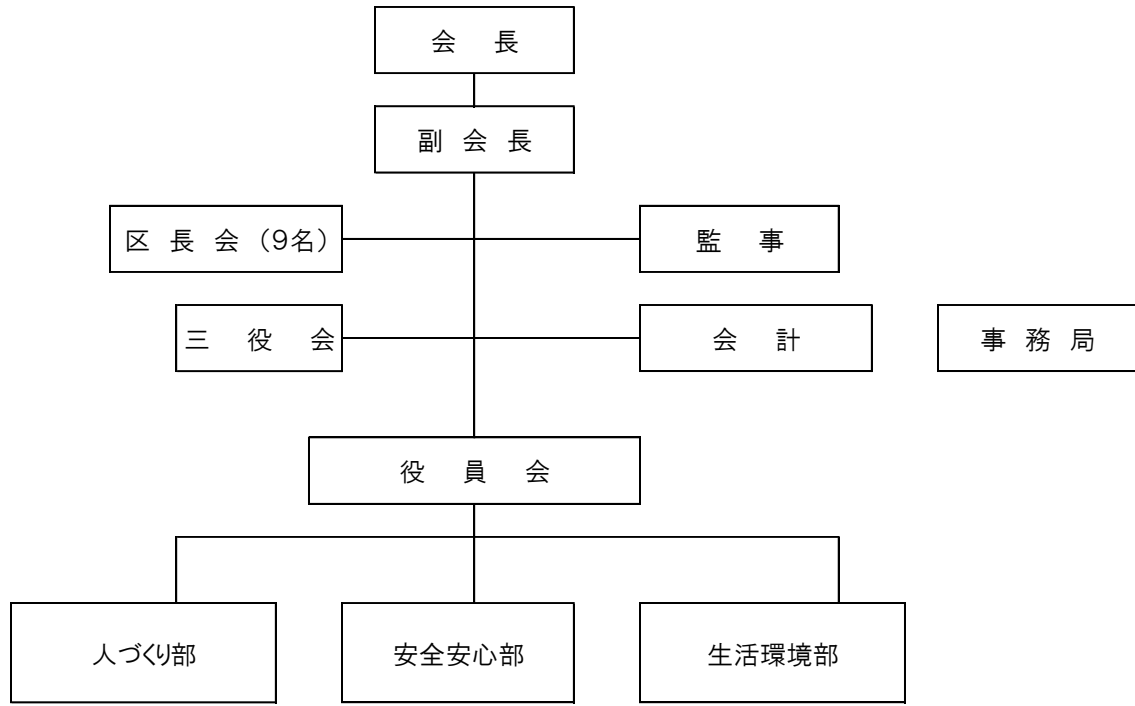
## 組織の状況

代表者名 齋藤 義規

設立年月日 H29.2.10

役員体制 会長1名、副会長1名、区長各区1名、監事2名、会計1名、部長3名、副部長5名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①ほたる祭り
- ②静桜宴
- ③愛宕の火祭り
- ④福住ふれあいつうしん発行

### 地域防災

- ①消防に関する話と消防訓練
- ②救急救命訓練講習、非常食の作り方と試食
- ③空き家に関すること
- ④新たな防災マップに関すること

### 地域福祉

- ①生活公共交通に関する取組み
- ②ひな祭り交流イベント開催
- ③社会福祉協議会との連携
- ④みんなでたのしく歩こう会

### 人づくり

- ①福住ふれあい運動会
- ②福住ふれあい卓球大会
- ③福住ふれあいソフトバレーボール大会
- ④福住ふれあい文化祭
- ⑤公民館各種教室

## コミュニティの取組み



平成 28 年度は福住の良いところと課題を拾いあげ、意見交換会の振り返りや出前講座「自分たちの地域を自分たちで守るために」も行いながら、分野別の取組みの検討を行いました。

コミュニティの組織名称は、地区内から応募のあった 29 点の中から、「福住ふれあい協議会」に決定し、設立準備会にて協議していた目的、事業、組織等の区民説明会も行い、61 名が参加しました。

平成 29 年 2 月 10 日の設立総会には、大雪にも関わらず 71 名の参加があり、各議案の承認を得ました。より良い取組が継続できるよう、身の丈にあった事業を行い、必要な時には思い切って事業の棚卸しを実施し、事業全体を検証しながら活動していきます。

今後は「人づくり部」「安全安心部」「生活環境部」の 3 本柱の事業で取組内容の協議を行っていきます。

## はじめの第一歩計画

### 【キャッチフレーズ】

**夢と希望 あふれるまちづくり いつまでも住み続けたい福住地区**

### 人づくり部

#### 【基本方針】

人情と優しさがあり地区民が、世代を超えて交流、親睦を深め心ふれあう地区づくりをめざす、福住地区

将来地区を担えるリーダーの人材の発掘や、人づくりの出来る福住地区

#### 【はじめの取組】

- ・地区の課題を解決し、活性化を図る
- ・自然環境に関する取り組み
- ・伝統行事の継承、維持に関する事
- ・広報に関する事
- ・将来地区を担える人材、コミュニティづくり
- ・会員相互の情報交換並びに地区、世代、男女をこえての交流事業
- ・従来からの公民館活動の継続

#### 【事業内容】

	H29年
静校宴(校見)	(継続)
ほたる祭り	(継続)
福住ふれあいソフトバレーボール	(継続)
愛宕の火まつり	(継続)
福住ふれあい運動会	(継続)
福住ふれあい文化祭	(継続)
福住ふれあい卓球大会	(継続)
従来の公民館活動の維持	(継続)
広報体制	実施
福住ふれあいうたごえ喫茶	検討

### 安全安心部

#### 【基本方針】

安心して暮らせ土砂災害、水害、犯罪、のない福住地区

避難訓練、消火訓練、防災マップ、避難ルートの作成により安心して暮らせる福住地区

#### 【はじめの取組】

- ・安全安心して暮らせる生活環境に関する事
- ・地区の防災に関する活動
- ・救急救命に関する事
- ・消火訓練
- ・空き家、古民家に関する事

#### 【事業内容】

	H29年
公民館施設での消防消火訓練	(継続)
救急救命訓練の実施と受講	(継続)
空き家に関する事	実施
みんなで防災・非常食の作り方 試食体験	実施
人と防災未来センター視察	実施
グランドゴルフ防災公園にて	実施

### 生活環境部

#### 【基本方針】

困りごと、生活のしづらさ、交通弱者、高齢者にも環境に優しく気楽に集まれる場所のある福住地区

豊かな自然を残し、維持管理を行い、自然の集落の良さを知り福住ファミリーで郷土愛を育む福住地区

#### 【はじめの取組】

- ・高齢者を支援する方法を考える
- ・健康を体感し満足感を味わう
- ・福祉委員との連携活動
- ・民生委員・児童委員との連携活動
- ・交通弱者に関する取り組み
- ・高齢者の生きがいと児童との交流

#### 【事業内容】

	H29年
交流イベントお雛様展示	実施
みんなであのしく歩こう会	実施
研修会の開催	実施
生活公共交通の推進	検討

# 床尾の里てらさか



## 地区の概況

人口	595 人	小学校	寺坂小学校（児童数26人）
世帯数	200 世帯	中学校	なし（出石中学校区）
高齢化率	31.4 %	幼稚園	寺坂幼稚園（園児数7人）
集落数	4	保育所	なし
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 27	4	第1回設立準備委員会(設立総会)	設立準備会規約(案)の可決、コミュニティ組織の目的と役割
	5	役員検討会	アドバイザー紹介、今後の進め方について
	7	第2回設立準備委員会	コミュニティ組織への移行について、今後のスケジュールについて
	9	第3回設立準備委員会	合橋地域づくりの会による講演、先進地出前講座について
H 28	10	各区出前講座(桐野区)～11月までに全集落 先進地視察(佐用町石井地区)	「新しい地域コミュニティとは？」について 実態及び課題について
	1	役員検討会	組織、名称募集、規約について
	12	第4回設立準備役員会	視察、出前講座報告、コミュニティの支援制度について
	1	設立準備検討会①	名称、基本方針、規約の作成、組織の概要、役員を選出について
	2	第4回設立準備委員会	名称、基本方針、規約の作成、組織の概要について
	4	第5回設立準備委員会	27年度事業報告・収支決算、28年度事業計画・収支予算(案)などの承認
	6	第6回設立準備委員会	先進地視察、ワークショップについて
	7	設立準備検討会② 先進地視察(美山町 鶴ヶ岡振興会)	組織での雇用について 先進地事例について研修
	8	設立準備検討会③	新協議会の規約、組織について
	9	第2回ワークショップ	今後、寺坂校区に必要な活動内容について
	10	設立準備検討会④	各部会の名称、事務局体制について
	H29	1	床尾の里てらさか 設立

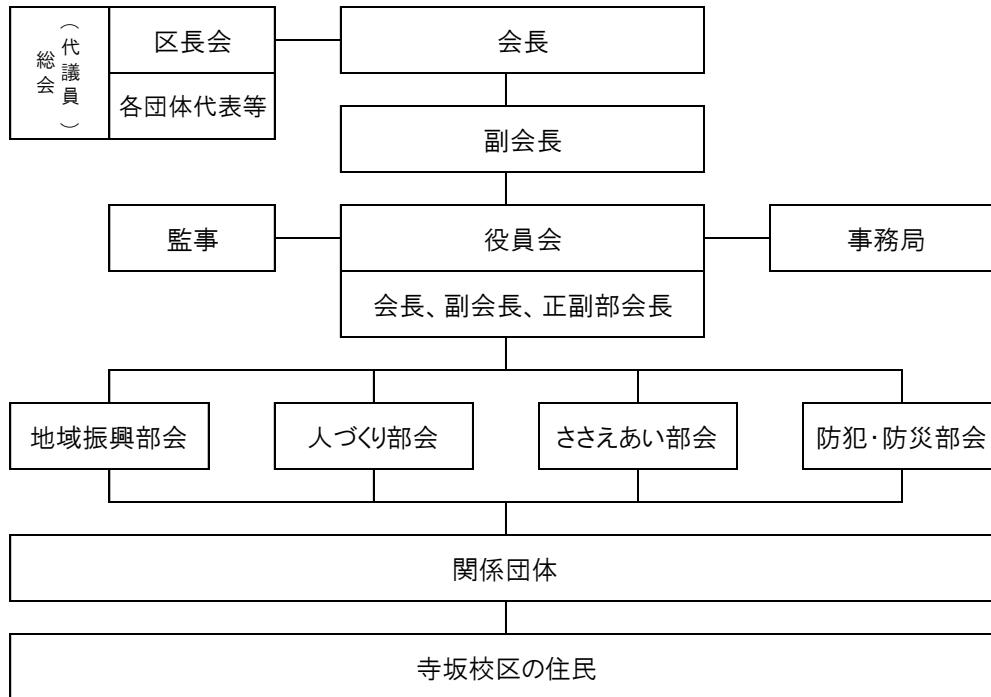
## 組織の状況

代表者名 下川 諭

設立年月日 H29.1.27

役員体制 会長1名、副会長2名、部会長4名、副部会長4名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①御出石神社秋祭り
- ②納涼大会
- ③伝統行事の継承

### 地域防災

- ①園児・児童登下校見守り
- ②消防訓練
- ③救急救命訓練・講習会
- ④避難訓練
- ⑤消防団による活動

### 地域福祉

- ①高齢者アンケート調査
- ②サロン活動
- ③独居高齢世帯の見回り
- ④交通対策
- ⑤ささえあい事業

### 人づくり

- ①総合運動会
- ②文化祭
- ③グラウンドゴルフ大会
- ④バレーボール大会
- ⑤卓球大会
- ⑥床尾山に登ろう
- ⑦そば打ち大会
- ⑧PTAとの協賛事業  
(もちつき大会、講演会等)

## コミュニティの取組み



平成 29 年 1 月 27 日に設立総会を開催いたしました。具体的な活動内容は今後も議論していきます。

平成 27～28 年度にかけて 3 回のワークショップを行ったところ、国道 462 号に面している地理的条件を活かした東床尾山の PR 活動や花いっぱい運動の展開、高齢者の支援体制、特産品の開発・販売などたくさんの意見が出されました。特に東床尾山は御出石神社や出石糸井県立自然公園の中核をなす山で、毎年登山イベントを行っています。今後も地域の皆さんの意見を聞きながら、一歩ずつ取り組んでまいります。



## はじめの第一歩計画

はじめの第一歩計画 ※キャッチフレーズ・・・「ありがとう」心ゆたかな床尾の里てらさか

名 称	基本方針	事業内容 (事業名)	計画の期間 (◎実施 ○検討 ▲中止)			
			H29	H30	H31	H32
地域振興部会	伝統行事の継承	御出石神社秋祭り	◎	◎	◎	◎
		環境整備	床尾山登山道整備	○		
	地域振興	交流センター隣接地整備	○			
		御出石神社敷地内に桜を植樹	○			
		野菜の販売促進	○			
		しいたけ作り	○			
食ツアー	◎	◎	◎	◎		
人づくり部会	地域住民の交流・生涯学習の推進	校区総合運動会	◎	◎	◎	◎
		校区文化祭	◎	○	◎	○
		餅つき大会	◎	◎	◎	◎
		スポーツ事業	○			
		床尾山に登ろう又はハイキング	○			
		そば打ち大会	○			
ささえあい部会	福祉に役立つ活動を進める	アンケート調査の実施	◎			
		ささえあい事業の検討	○			
		擁護・支援マップ作り	○	○	◎	
防犯・防災部会	防犯・防災の体制を整える	寺坂幼小登下校見守り	◎	○	○	○
		消防訓練の開催(年2回実施)	○	○	○	○
		救急救命講習会の開催	◎	◎	◎	◎
		各区初期消火訓練の支援	○			
		校区の防災マップの整備	○			

※子育て支援(乳幼児サークル)・各教室(生涯学習)・スポーツクラブ21(スポーツ推進)については、事務局で管理運営する。

# 夢コミュニティ小坂



小坂地区

## 地区の概況

人口	1,997 人	小学校	小坂小学校（児童数103人）
世帯数	708 世帯	中学校	なし（出石中学校区）
高齢化率	33.9 %	幼稚園	小坂幼稚園（園児数28人）
集落数	13	保育所	小坂保育園（園児数89人）
		認定こども園	なし

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 27	2	コミュニティ設立準備会検討会(全6回)	活動計画、参加団体、組織等について
	4	第1回準備会 発足会	新しい地域コミュニティ概要説明
	4~H29.4	第1回~第21回役員会	
	5	第2回準備会	「地域づくりの取組」の講話(弘道地区、中筋地区)
	7	第1回拡大準備会 第1回ワークショップ	「地域づくりの進め」講話、小坂の魅力と課題を考える
	8	第2回拡大準備会 第2回ワークショップ	第1回ワークショップのまとめ、「紹介まち歩き」について
	10	第3回拡大準備会 第3回ワークショップ	「紹介まち歩き」実施、グループで紹介
H 28	2	新区長との顔合せ会	活動計画の説明
	2	第7回拡大準備会	地域づくり計画の必要度の検討
	4	第3回準備会 第7回ワークショップ	「地域づくり計画」をまとめる
	5	第4回準備会	地区説明会についての協議・規約・組織図の検討
	6	地区説明会(～7.29)	説明会(全13区)
	9	第5回準備会	キャッチフレーズの発表、新名称の選考・規約(案)、運営細則(案)
H29	11	区長説明会	規約、規程等について・コミュニティ委員選出について
	1	夢コミュニティ小坂 設立	

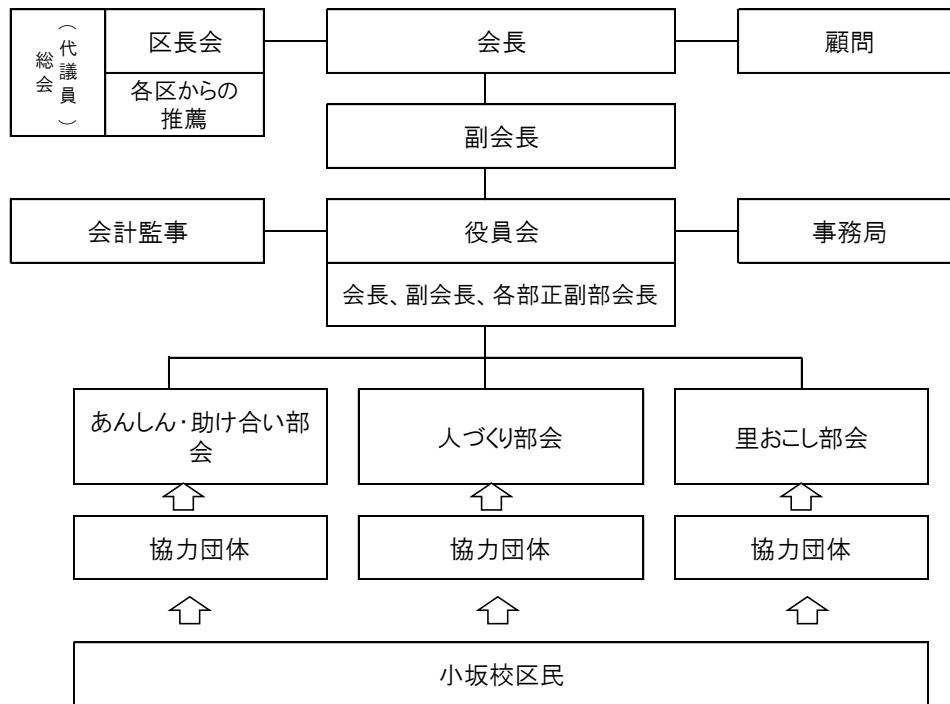
## 組織の状況

代表者名 中西 繁博

設立年月日 H29.1.28

役員体制 会長1名、副会長2名、事務局長1名、部会長3名、副部会長若干名、会計監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①子どもの見守り活動
- ②ふるさと巡りの実施
- ③小坂の歴史を学ぶ教室
- ④準備会だよりの発行

### 地域防災

- ①防犯パトロール隊の整備
- ②普通救命講習
- ③自主防災活動

### 地域福祉

- ①高齢者交流イベントの実施
- ②いきいきサロン活動
- ③子育て支援

### 人づくり

- ①小坂校区民運動会
- ②小坂校区民文化祭
- ③小坂校区民グラウンドゴルフ大会
- ④夏季ソフトボール大会
- ⑤親善ゴルフ大会
- ⑥夏休みラジオ体操
- ⑦幼児教育学級
- ⑧公民館各種教室

## コミュニティの取組み



平成 27 年度の主な取組は次の 2 点でした。1 点目は、56 名の拡大準備会によるワークショップです。まず、地区の魅力や課題を考え、まちむら探検を実施しました。次に、望ましい将来の姿やそれを実現するための活動アイデアを考え、最後に必要度に応じたスケジュールを考えました。

2 点目は、小・中・高校生（146 名）へのアンケートの実施です。この 2 点の取り組みで、今後の地域づくりの指針やヒントを得ました。

平成 28 年度は、年度当初から役員会で規約（案）や組織図（案）等について協議し、組織の大枠が固まった 6 月中旬から 7 月末にかけて、全 13 区で地区説明会を行ない、コミュニティ設立の意義や目的、これまでの取り組み、組織の内容や財源等を説明し、コミュニティの啓発に努めました。この説明会で出た意見を規約（案）やその他の規程（案）に反映させ、再度区長会に諮り、平成 29 年 1 月 28 日「夢コミュニティ小坂 設立総会」を開催しました。



## はじめの第一歩計画



# 小野コミュニティ



此隅山

小野地区

小野地区公民館

出石川防災センター

## 地区の概況

人口	1,247 人	小学校	小野小学校（児童数66人）
世帯数	427 世帯	中学校	なし（出石中学校区）
高齢化率	29.4 %	幼稚園	小野幼稚園（園児数14人）
集落数	4	保育所	なし
		認定こども園	なし

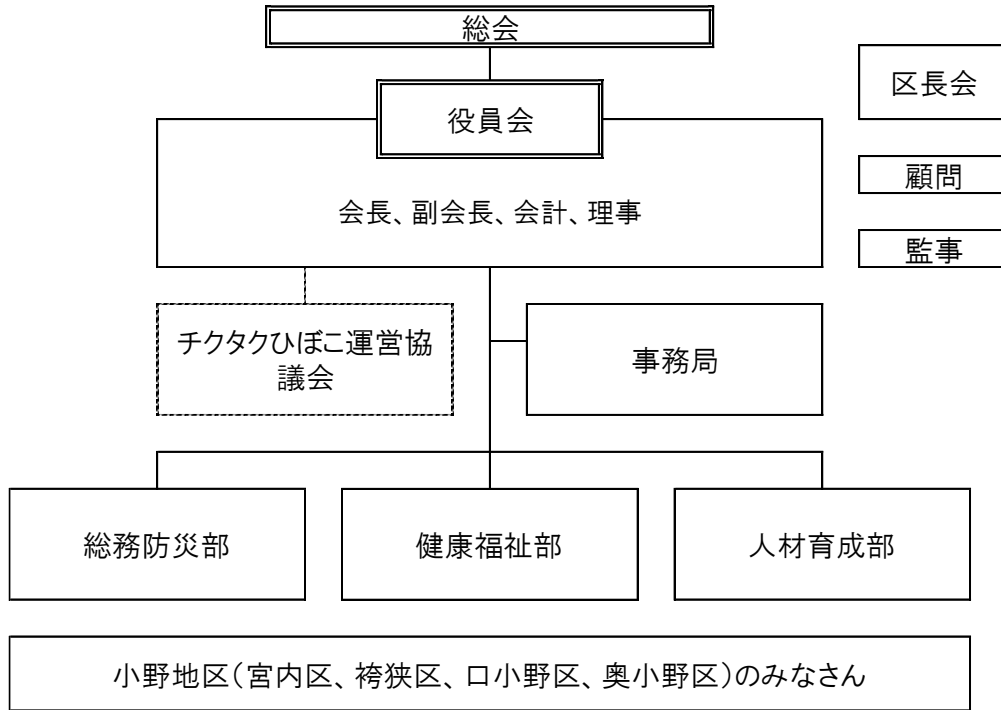
## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 26	10	第1回設立検討会	いずし古代学習館の指定管理について
	12	第2回設立検討会	いずし古代学習館の指定管理について
H 27	2	第3回設立検討会	規約および組織について
	3	第4回設立検討会	地域コミュニティの運営体制について
	8	第5回設立検討会(第1回地域づくりワークショップ)	地域づくりの進め方・地域の現状把握
	10	第7回設立検討会(第2回地域づくりワークショップ)	地域の解決すべき課題の抽出
	11	第8回設立検討会(視察研修)	与布土地域自治協議会 高柳地区自治協議会
	12	第9回設立検討会(第3回地域づくりワークショップ)	課題のアイデア・地域の将来像の描出
H 28		第10回設立検討会 小野地区区民説明会	規約および組織について、一括交付金について (袴狭区、口小野区、奥小野区、宮内区)
	1	第11回設立検討会	規約・組織について
	3	第12回設立検討会(第4回地域づくりワークショップ)	まとめ
	5	第2回検討会(第1回委員会)	「はじめの第1歩計画」について 名称審査について
	6	第3回検討会(第2回委員会)	「はじめの第1歩計画」について 組織・規約について
	7	第4回検討会(視察研修)	養父市大谷校区協議会に視察研修
	8	第5回検討会(第3回委員会)	「小野地域づくり計画」について 組織・規約について
	10	第8回検討会(第4回委員会)	「小野地域づくり計画」について
	11~12	区民説明会	宮内・袴狭・口小野・奥小野へコミュニティ移行にともなう説明
H 29	2	小野コミュニティ事業部会合同会議	部会長、副部会長の選出について
		小野コミュニティ 設立	

## 組織の状況

代表者名 柳澤 安喜夫  
 設立年月日 H29. 2.17  
 役員体制 会長1名、副会長1名、会計1名、理事8名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①チクタクひぼこの運営
- ②伝統文化・行事の継承
- ③小野フェスタ、農産物の品評・直売会
- ④田んぼや水路の生きもの調査
- ⑤てっせん街道を守る活動
- ⑥広報誌「お知らせ」の発行

### 地域防災

- ①防災ワークショップの開催
- ②防災・減災活動
- ③消防団による活動

### 地域福祉

- ①健康で長生きする活動
- ②サロン活動
- ③玄さん体操
- ④敬老会
- ⑤老人会活動
- ⑥高齢者の見守り活動

### 人づくり

- ①総合体育大会
- ②総合文化祭
- ③スポーツクラブ 21 小野活動
- ④グラウンドゴルフ大会
- ⑤ソフトバレーボール大会
- ⑥子どもの見守り活動
- ⑦乳幼児サークル「おのっこの森」
- ⑧公民館各種教室

## コミュニティの取組み



平成 23 年 3 月に市営バス「イナカー」が廃止となったため、小野地区は公共交通の空白地域となってしまいました。そこで、平成 23 年 5 月に住民で組織した「チクタクひぼこ運営協議会」を立ち上げ、地区の乗合タクシーである「チクタク」を運行を始めました。

運転や利用予約の対応等を協議会のメンバーで行っていて、週 3 日（月・水・金）運行しています。

一日当たりの平均利用者数は年々増加し、平成 26 年度は平均 11 人/日となり、年間では 1,577 人の利用がありました。現在は、40 代～70 代のドライバー 15 人で運行しています。

チクタクの運行により、買い物や通院が便利になったとお年寄りに喜んでもらえているようです。また、チクタクの車内も住民同士の貴重な交流の場となっていて、会話を楽しんでおられます。

チクタクの運行によってお年寄りが元気になったと感じられます。

## はじめの第一歩計画

### 策定経緯

小野地域は、古代から中世にかけて但馬地方の中心としての礎をなしてきた。

その伝統・文化を継承しつつ、神美村、出石町、豊岡市とその括りは広がった。

これまで、農業林業等を中心とした社会資本は整備されてきたが、生活環境の多様化に伴い人口減少、高齢化が進み、地域のつながりや共同活動に少しずつ難しい状況が生じてきた。このため、個人で取り組めることから始めその輪を広げて地域のことは地域を挙げて取り組むことにつながるようにこの計画を共に考え実行することとする。

### 基本方針

小野地区に暮らす住民自らが地域課題を明らかにし、地区住民相互の連携と協働のもとその解決に向けて取り組み、安心、安全で豊かな住みやすい地域づくりを進める。

- ①安心・安全な環境づくり
- ②子育て・元気で長生きする地域づくり
- ③歴史と伝統文化に育まれた人づくり

### 事業内容

- ① 地域づくりのための調査及び地域づくり計画の策定
- ② 地域の活性化の推進に関する事業
- ③ チクタクひぼこの運行事業
- ④ 地域の安全及び防災に関する事業
- ⑤ 地域の財産や人材を守り育てる事業
- ⑥ 地域の子育てや老人福祉に関する事業
- ⑦ その他

# 資母まちづくり協議会



## 地区の概況

人口	1,710 人	小学校	資母小学校（児童数59人）
世帯数	675 世帯	中学校	なし（但東中学校区）
高齢化率	43.5 %	幼稚園	なし
集落数	17	保育所	なし
		こども園	資母認定こども園（園児数37人）

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 23	11	検討会	地区の将来についての危機感の共有 検討会やまちむらたんけんを開催し、資母の魅力や課題、組織、規約等について検討
	12	地域づくりの会・しば設立	地域づくりの会・しばによる活動
H 26	7	振対協理事会	今後の振対協のあり方
	9	振対協理事会	組織設立に向けての検討
	10	振対協理事会	組織の構成について
	11	振対協理事会	特別委員会設置について
	12	振対協理事会	組織発足に向けた検討
H 27	1~3	各区役員対象意見交換会	
	5	特別委員会	組織構成、規約について
	6	特別委員会	役員について
	7	特別委員会	設立総会について
	8	資母まちづくり協議会 設立	

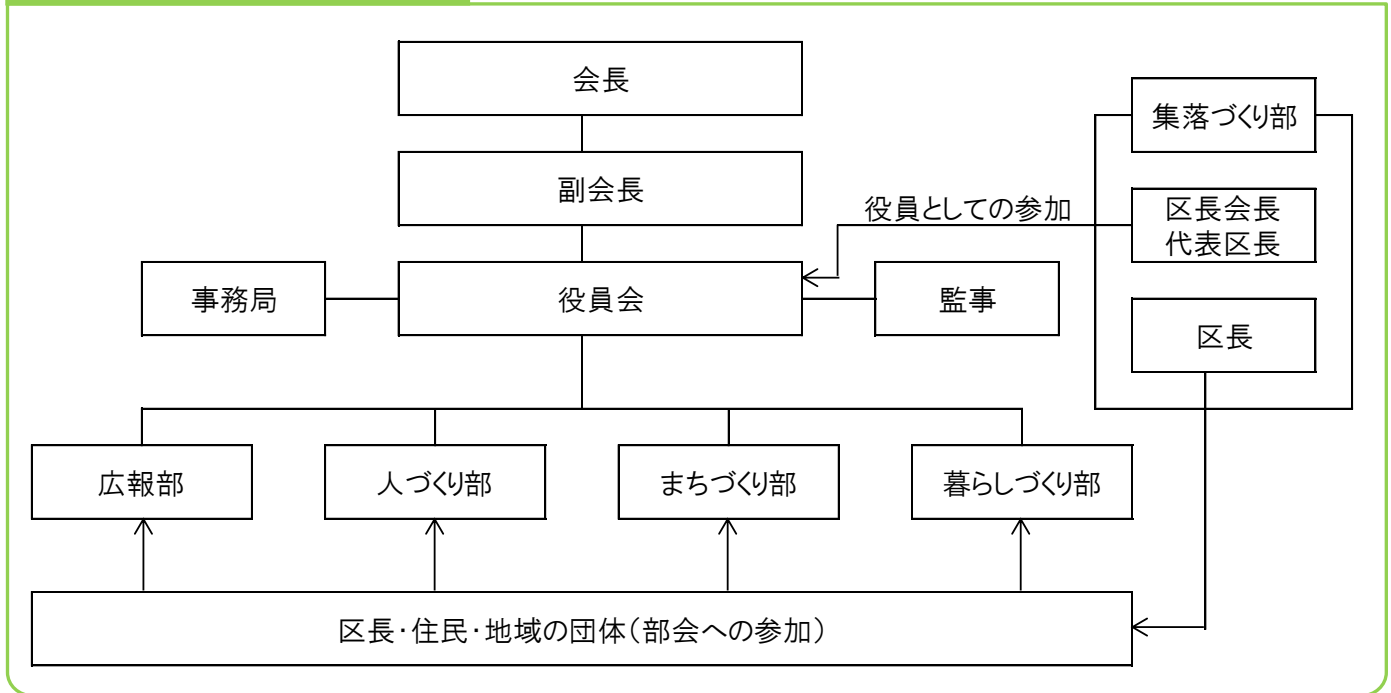
## 組織の状況

代表者名 柴原 重春

設立年月日 H27.8.30

役員体制 会長1名、副会長2名、理事8名（各部の正副部会長）、監事2名、事務局長1名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①空き家対策（空き家調査等）
- ②資母小学校の秋季運動会を地域で盛り上げる活動
- ③資母小学校を拠点とした活動（ラジオ体操）
- ④「きれいな資母に」（景観を美しくするための活動）
- ⑤子どもの見守り活動
- ⑥広報紙「しゃってもシボ」発行

### 地域福祉

- ①チクタク資母
- ②サロン活動
- ③歩キング体操の推進
- ④一人暮らし老人宅の除雪、見守り

### 地域防災

- ①安心・安全キット普及活動
- ②普通救命講習
- ③消防団による活動

### 人づくり

- ①宝まつり
- ②じゃがじゃがまつり
- ③宝市場
- ④歴史講座
- ⑤地域の人材の紹介、文化の継承
- ⑥乳幼児教室「ちゅうりっぷくらぶ」
- ⑦放課後子ども教室
- ⑧公民館各種教室

## コミュニティの取組み



「地域づくりの会・しほ」を平成27年8月に「資母まちづくり協議会」に改組し、地域の実情にあった活動に向けて歩んでいます。また、広報誌のタイトルを、平成28年4月から「しゃつてもシボ」に変更し発行、資母地区内への全戸配布にとどまらず、地区出身者の人々にも毎月郵送配布しています。また、土曜チャレンジ（ふれあい農園）を今年5月からスタートし、畑のマルチかけ、各種野菜・果樹の定植、種まき、草取り等を行い、農園でとれた農作物を使って8月と11月に収穫祭を行いました。

平成28年11月に開催した「資母の宝まつり」では、地元小中学生のコンサートや農産物販売など“地域の力の結集”を感じました。平成28年度は「日本・モンゴル民族博物館」の20周年ということもあり、「しほ・モンゴル宝まつり」と銘打って博物館と共同開催し、多くの方に参加頂き、大盛況で終わることができました。

《一人一人が大切にされ、安心して暮らせるまち、資母をめざして》

## はじめの第一歩計画

### スローガン ～人が集い、ともに考え、いきいきと働ける資母～

#### 広報部

- ・インターネットを使った資母地域の情報発信
- ・広報誌の発行

#### 人づくり部

- ・子育てがしやすいまち（子育て支援）
- ・人づくりマイスターを探せ（人材の発掘）
- ・若者・夢プロジェクト
- ・困ったことを受け止め、共に考える。

#### まちづくり部

- ・農地の活用促進、放棄田等の解消・美化（地区との連携）
- ・農産物生産と販売拡大（地域づくりの会との協働）
- ・農業教室の開設（PTA、学校、公民館等）
- ・観光の振興（イベントへの積極的な参加）

#### 暮らしづくり部

- ・地区と消防団との関係づくり（地域防災）
- ・安心して利用できるチクタクのシステムづくり
- ・危険な廃墟を増やしたくない（空家対策）
- ・安心と生きがいづくり(救急情報キットの設置)
- ・「まごの手しほ」の活動推進

#### 全体

- ・地域懇談会の実施
- ・地域情報の集約と発信
- ・地域内の各種団体及び事業への積極的な参加と協働
- ・研修及び協議の場づくり
- ・資母まちづくり計画の策定

# コミュニティあいはし



## 地区の概況

人口	1,778 人	小学校	合橋小学校（児童数74人）
世帯数	674 世帯	中学校	但東中学校（生徒数87人）
高齢化率	37.2 %	幼稚園	なし
集落数	16	保育所	なし
		認定こども園	合橋認定こども園（園児数51人）

## 設立までの経過

年	月	取組み(事業名、会議名等)	主な内容
H 25	1	全体会	作野先生講演
	2	全体会	今後の計画について
		視察	佐用町
	3	全体会	組織の名称、役員の決定
	4	全体会	まちむらたんけんに向けた意見交換
	5	全体会	まちむらたんけんコース確認
	6	まちむらたんけん	
	7	全体会	今後の活動について
		視察	島根県雲南市
	9	市との意見交換会	今後の進め方について
		全体会	組織、部会構成について
	10	役員会	規約・会員募集方法について
11	役員会	設立総会について	
12	役員会	設立総会、規約について	
H 26	1	役員会	設立総会、新役員について
	2	合橋地域づくりの会 設立	
H29	3	組織改編	コミュニティあいはし 設立

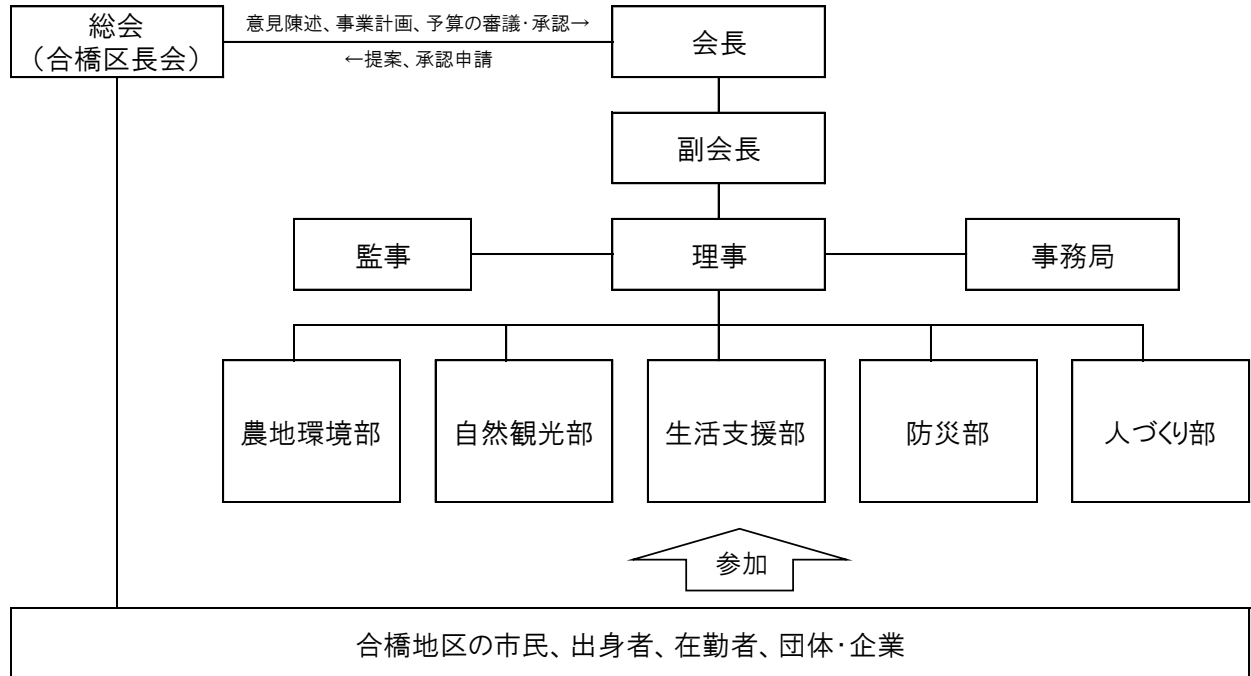
## 組織の状況

代表者名 大谷 均

設立年月日 H29.3.17 (合橋地域づくりの会から改組)

役員体制 会長1名、副会長2名、理事15名以内、部長5名、監事2名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①特産品開発 鮎のヘシコ、ウドの塩漬け、きな粉あめ、バラジャムの販売
- ②クリンソウの植栽
- ③各種イベント出店
- ④広報紙「ぼちぼち」の発行
- ⑤合橋「わくわく農場」運営
- ⑥空き家古民家対策
- ⑦大阪経済大学との交流

### 地域福祉

- ①チクタク合橋
- ②まごのて活動
- ③買い物ツアー
- ④一人暮らし高齢者お弁当配達
- ⑤小学校福祉授業
- ⑥施設利用者との交流
- ⑦サロン活動

### 地域防災

- ①普通救命講習
- ②各地区防災マップの確認
- ③各地区避難訓練
- ④消防団による活動

### 人づくり

- ①グラウンドゴルフ大会
- ②乳幼児親子学習サークル
- ③各種サークル活動
- ④公民館各種教室



## コミュニティの取組み



きな粉あめ、鮎のヘシコ、バラジャム等の特産品開発と販路拡大に力を入れています。また、高齢者の方のちょっとした困りごと（薬の受け取りや買い物代行、電球の取り換えなど）をお手伝いする『まごのて活動』、買い物に行きたくても行けないが、やっぱり商品を手に取って選びたいという声をサポートする『買い物ツアー』を継続して実施しています。

また、耕作放棄地対策のひとつとして取り組んでいる『合橋わくわく農場』の運営では、さつま芋3種類を植え付けし、イベントで焼き芋として販売しました。

そして、人と人とのつながりをキーワードに子どもから大人までが一緒になって元気な地域を作っていくきっかけを、公民館とのコラボ企画を通し、これらの活動を浸透させていきたいと思っています。

さらに、大阪経済大学のスタディツアーやボランティア概論実習、地域社会調査の受け入れを行い、大学生との交流を進めていきます。これらの動きをもとに協働の地域づくり活動にも力を入れていきたいと考えています。

## はじめの第一歩計画

### 合橋地域づくり計画

誇れること、自慢できることがある合橋。

住んでいてよかったと思える合橋をめざして！

#### 策定経緯

過疎化が進む中、合橋地区で起こる様々な課題に対し、地域自らが自分の課題と認識し、主体的に取り組むを展開するため、平成26年4月に策定。

#### 策定手法

役員が主体となり、地域の課題や魅力、また地域固有の伝統文化などを整理し、合橋地区の豊かな未来を実現するためにはどうすればよいのかなどの検討を行い策定した。

#### 将来の地域ビジョン

- ・自然の魅力が溢れる地域づくり
- ・みんなが安心して暮らせる地域づくり
- ・ふるさと合橋 誇りと豊かな心を育む地域づくり
- ・特性を活かした活気ある地域づくり
- ・訪れてみたくなる美しい地域づくり
- ・自分達の地域は自分達で守る地域づくり

# 高橋振興対策協議会



## 地区の概況

人口	848 人	小学校	高橋小学校（児童数32人）
世帯数	346 世帯	中学校	なし（但東中学校区）
高齢化率	44.2 %	幼稚園	なし
集落数	9	保育所	なし
		認定こども園	高橋認定こども園（園児数18人）

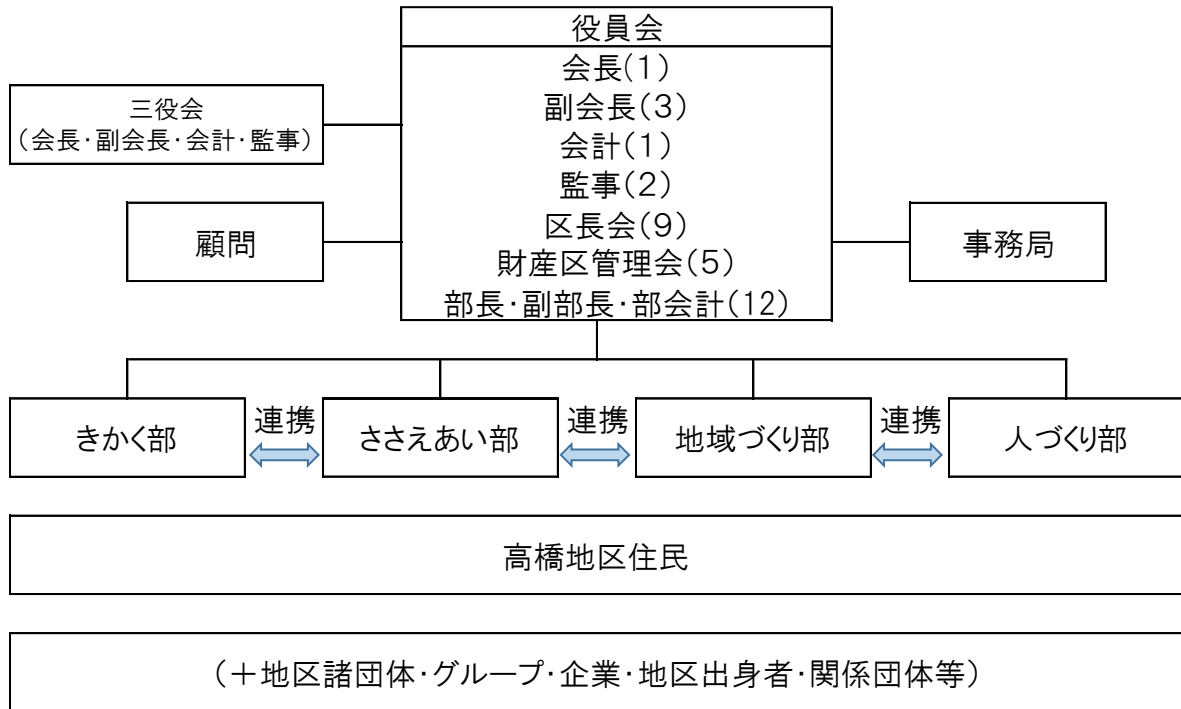
## 設立までの経過

年	月	取組み（事業名、会議名等）	主な内容
S53	1	高橋振興対策協議会	設立
H21	12	ふるさと自立計画推進モデル事業	ワークショップ10回
H22	3	ふるさと自立計画	策定
H24	11	地域づくり講演会	作野先生
H 25	5	小学校芝生化協力	実行委員会体制の導入
	7	視察	島根県雲南市
	10	ふるさと探訪	
H 26	10	地域づくりワークショップ(5回)	
	2	地域づくり計画2020	策定
H 27			リーディングプロジェクトの実施
	1	検討委員会の設置	組織等の見直し
	4	組織改編	部会制の導入

## 組織の状況

代表者名 田口 保  
 設立年月日 S 53.1.1 (H27.4 改組)  
 役員体制 会長1名、副会長3名、会計1名、監事2名、区長9名、財産区管理会5名、部長4名、副部長4名、部会計4名

## 組織図



## 分野別取組み内容

### 地域振興

- ①高橋ふれあい市
- ②空き家調査
- ③空き店舗の活用
- ④広報紙「高橋振興対策協議会だより」の発行
- ⑤古民家再生プロジェクト

### 地域防災

- ①消防避難訓練
- ②普通救命講習
- ③消防団による活動

### 地域福祉

- ①声からつくる高橋未来プロジェクト
- ②サロン活動
- ③ささえあい交流会
- ④通学支援

### 人づくり

- ①高橋校区民大運動会
- ②高橋ふるさと探訪
- ③English cafe
- ④校区民ラジオ体操
- ⑤そうめん流し&魚つかみ
- ⑥ジャンボ巻きずし
- ⑦乳幼児親子サークル「ひまわり広場」
- ⑧放課後子ども教室
- ⑨各種教室

## コミュニティの取組み



現在のグローバル社会の中で、自分たちのふるさとの魅力を英語で世界に伝えることができれば素敵！そんな想いで月に1～2回、中学生や高校生が中心となって、遊びや日常生活の場面を通して幼児や小学生に英語を教える「English cafe」を開催しています。

本事業は、認定子ども園、小学校、中学校、高校と連携し、中高生を含むスタッフ190人で運営しています。平成28年度は23回開催して、のべ247人（小学生以下）が参加しました。

また、ふるさとである高橋を知り、魅力を再発見するため、高橋地区内を巡る「ふるさと探訪」を実施しました。当日は、幅広い世代の参加により、魅力探しを通して、世代間交流が図ることができました。さらに、昔から住んでいる人も新たな発見があったようで、また開催してほしいと好評でした。

## はじめの第一歩計画

### 高橋地区地域づくり計画 2020

#### 策定経緯

平成22年3月に策定した「高橋地区ふるさと自立計画」に示された5年後、10年後の高橋の将来を見据え、自立し自律した地域づくりを進めるための指針が必要と考え、平成26年2月に策定。

#### 策定手法

アドバイザーの協力のもと、平成25年10月から計5回の地域づくりワークショップと説明会を開催し、計画としてまとめた。

#### 計画概要

- ① 少子・高齢化社会への対応
- ② 地域住民のふれあい、支え合いの意識の醸成と取組みの促進
- ③ 地域への愛着、ふるさとへの誇りの育み
- ④ 美しく安全で安心して暮らせる生活環境の維持、充実
- ⑤ 地域産業の活性化
- ⑥ 地域づくりの活動の財源確保と実行体制の早期確立
- ⑦ 地域づくりに対する住民の関心と参加意欲の向上



豊岡市新しい地域コミュニティ  
平成 28 年度 モデル地区事例集

発行：平成 29 年 4 月

発行者：豊岡市 地域コミュニティ振興部 コミュニティ政策課

〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町 2-4

電話 (0796) 21-9020 FAX (0796) 29-0054

Eメール [community@city.toyooka.lg.jp](mailto:community@city.toyooka.lg.jp)

問合せ：	■豊岡地域	コミュニティ政策課	21-9020 (総合窓口)
	■城崎地域	城崎振興局地域振興課	32-0001
	■竹野地域	竹野振興局地域振興課	47-1111
	■日高地域	日高振興局地域振興課	42-1111
	■出石地域	出石振興局地域振興課	52-3111
	■但東地域	但東振興局地域振興課	54-1000